



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「“あるある”になれば」

悪いことと知りながらやってしまうときは、小さければ小さいほど簡単(安心)にやっけてしまいます。たいていの人「あるある」と感じる、いわゆる大衆の心理です。大衆とは“社会を占める「大多数の・大勢を占める」とされる人々(ウィキペディア フリー百科事典)”とされています。ということは、気軽におこないやすいことは、大勢の人がおこなう可能性が高いということになります。

逆に良いことも、同じです。1日ひとつ良いことをする。小さいことですし、誰でも簡単におこなえます。ちょっと恥ずかしいかもしれませんが、みんなが心がけ、“あるある”になれば、きっと住みよい良い社会に近づけるとおもいます。

福祉くまのno.41もくじ

- ◆2ページ 特集) 平成23年度事業報告及び決算
- ◆3ページ 特集) 会員加入のお願い、連載) 地震に立ち向かえ!、第7回社協ふれあいフェスタ
- ◆4ページ いな
- ◆5ページ ふれあいレクリエーション大会 in 磯崎、連載) 知ってください、社協の事業、解けばスッキリ!クロスワードパズル
- ◆6ページ リサイクル登録制度、介護用品の寄贈、お知らせ、職員募集、熊野市の人口と高齢化率

平成23年度事業報告

東

北地方に大きな被害をもたらした東日本大震災。全国的に防災や減災について本格的に検討がすすめられ、昨今薄れつつあるといわれる人と人との絆や支えあい・助け合いというものが再考されつつある中で幕開けとなりました。災害に限らず、さまざまな課題を抱えている生活弱者に対する支援や、地域福祉活動を進めていくうえで、地域における支えあいや助け合いは必要不可欠なものであり、また、地域力を高めながら地域住民のみなさまとともに事業を展開していくことが重要であるという考え方が定着しつつあります。こうした中、熊野市社会福祉協議会では、法人運営において組織の基盤強化に努め、組織や実施事業に対する理解を深めるための広報活動に力を入れ、また風通しの良い組織を目指した取り組みを行いました。

また、この地方を襲った台風12号による豪雨災害時には、まちの復興の一助にと、はじめて「災害ボランティアセンター」を開設し、全国からお越しいただいたボランティアとともに被災者宅などの復旧作業に連日連夜奔走いたしました。東北（岩手県大槌町）へ災害ボランティアセンター運営支援のため職員3名を派遣していたとはいえ、迅速な復興への対応と在宅福祉サービスの提供を継続させることとの両立など、主体的に運営することの難しさを痛感いたしました。

飛鳥・五郷デイサービスセンターや障がい者自立支援施設あゆみ事業所、保健福祉センターの浸水や

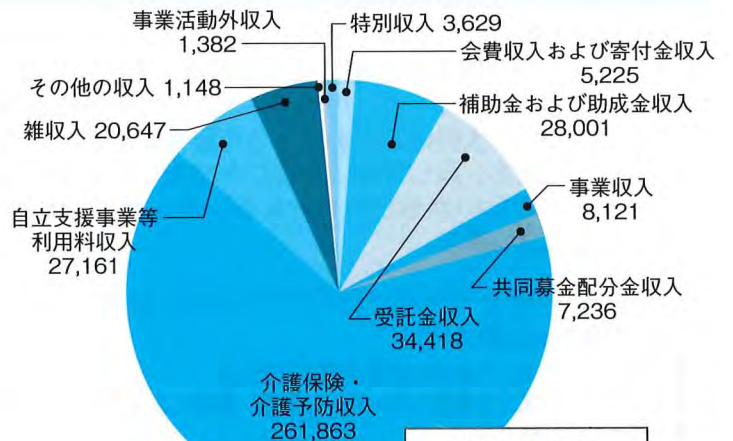
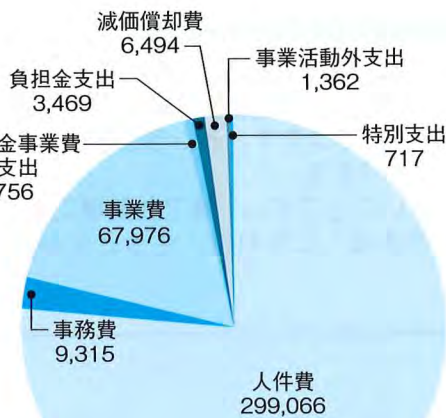
ライフラインの遮断により、サービスの提供の休止・縮小を余儀なくされるなど、介護サービスや障害者福祉サービスの事業経営にも大きな影響を受けることとはなりましたが、防災、減災に対する平時の取り組みやボランティアセンターのこれからの周知活動、職員の行動指針策定、今後の事業展開など、さまざまな面で得るものがあつたことも事実です。

災害ボランティアセンター運営を通じて学んだ人の力の大きさ、支えあいの大切さが福祉の原点であることを職員一人一人が再認識し、徹底検証していく中で今後の各種事業に反映させ、住民のみなさまをはじめ、関係機関と協議連携を図りながら、すみよい福祉のまちづくりと住民のみなさまの豊かで安心・安全な生活を支援していきたいと存じます。

平成23年度決算報告

事

業報告にもありますように、台風被害による介護部門のサービス提供の休止・縮小は、事業経営にも大きな影響（昨年比で10、154千円の減収）を与えることとなりましたが、徹底した事業費における経費削減など支出を可能な限り抑制させたことや被害を受けなかった事業所による収入の増などにより、結果的には7、676千円の収支差額（資金収支差額では5、308千円）を生み出すことができました。自助努力もさることながら、復興に向けさまざまな方々から賜りましたご厚情に感謝いたしますとともに、地域のみなさまに還元していけるよう検討してまいります。



特集2 会員加入のお願い

みなさまのご理解とご協力であたたい福祉のまちづくりを

社 会福祉協議会では、地域福祉の推進を目的にさまざまな事業に取り組んでいます。効果的かつ効果的な組織経営を心がけることは言うまでもなく、地域の皆様に親しまれ、地域社会の絆を大切にみなさまとともに、よりよい福祉のまちづくりを進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひとも組織と実施事業にご賛同いただき、会員加入をお願いいたします。

(平成23年度実績
141件 105万4千円)

また、現在会員にご加入いただいている方には、近々お願いにお伺いさせていただきますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

熊野市社会福祉協議会会費

一般会員	一口 1,000円
団体会員	一口 3,000円
賛助会員	一口 5,000円

連載 地震に立ち向かえ!

平成24年度災害ボランティアコーディネーター養成講座

本 講座は、災害時に多くのボランティアとニーズをコーディネーター出来る方の養成を行い、防災・減災に関する啓発や地域福祉ネットワーク推進の担い手となるべき人材を育成することを目的に開催します。

講演会「災害ボランティア組織のあり方」
講師 I-IHOE
代表 川北 秀人氏
自主防災活動組織活動紹介
尾鷲市 そばご会・熊野市 遊木町

第1回 7月15日(日) 13時30分～16時

第2回 7月28日(土) 9時30分～12時
各関係機関の体制
防災対策推進課・熊野警察署
熊野市消防本部

第3回 8月11日(土) 13時30分～16時
ハザードマップ作り
三重県防災対策本部地域支援課
地域支援グループ 西川指導員

第4回 8月25日(土) 9時30分～13時
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

●定員60名 ●参加費無料
●申込み締切7月10日(火)
詳しい内容については、地域福祉係までお問合せください。

第7回社協ふれあいフェスタ

「笑顔でいこらいつながるくまの」

6月24日(日)、保健福祉センターにおいて、今年で7回目となる社協ふれあいフェスタを開催しました。

当日は、小雨の降るあいにくのお天気でしたが、1,000人を超えるみなさんにご来場いただきました。会場内では多くの模擬店、楽しいステージイベント、ゲームコーナー、福祉団体のみなさんの作品展示・販売、福祉体験コーナーなど盛りだくさんの催しがおこなわれ、笑顔のあふれる楽しいイベントとなりました。



お越しいただいたみなさん、参加いただいた団体・ボランティアのみならず、ありがとうございました!





ボランティアセンター情報誌
みんな一緒に大きくな~れ!

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内) 担当 松田 あき絵
住 所 熊野市井戸町 1150 番地
電 話 0597-89-5000

ボランティアスクール開催!!

5月20日(日)、紀和町丸山千枚田で開催された「田植えの集い」にボランティアスクールのメンバーも参加しました!

田植えが初めてのメンバーばかりでしたが、田植えが終了すると「もう終わり?もっとやりたい!」との声。今後は「虫送り」や「案山子作り」、「稲刈り」と活動が続いていきます。皆で植えたお米は大きく育つか?(*^▽^*)



田んぼには
生き物が
いっぱい!

記事訂正のお詫び

5月号のいなえで紹介させていただいた「うさぎ文庫」の記事に一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

(誤) 代表の大久保さんは、小さい頃に近所のご夫婦によく本を読んでもらったそうで、「いつでも遊びにおいで」と言われ、「いつか私も、子ども達に遊び場を提供したい」と思ったのが「うさぎ文庫」設立へとつながったそうです。

(正) 代表の大久保さんは、小さい頃に近所のご夫婦に絵本を読んでもらったり、人形劇を見せてもらったそうで、「いつか自分も子ども達におはなしの世界の楽しさを伝える人になりたい」と思ったのが「うさぎ文庫」設立へとつながったそうです。

いなえの一言

今年は熊野市社協で災害ボランティアコーディネーター養成講座が開かれます。熊野市ボランティアセンターもしっかり連携していきたいと思ひます!



ボランティア紹介

保健福祉センターの川側の花壇と中庭は、ボランティアグループ「くまの」の方達が手入れをしてくれています。先日ふれあいフェスタに向けて、草を抜いて中庭をきれいにしてくれました。四季折々に咲く花は、訪れる人を笑顔にしてくれます。



ふれあいレクリエーション大会 in 磯崎



社 協磯崎支部にご協力いただき、6月2日(土)に子供からお年寄りまで誰もが参加できる「ふれあいレクリエーション大会」を開催しました。

当日は地元の方27名が参加され、スタッフと一緒に大笑いしながらレクリエーションを楽しみ、交流を深めてもらうことができました。

今年度はあと2地区で「ふれあいレクリエーション大会」を開催予定です。地域でのふれあいを大切に、できるだけ多くの方が参加できるように企画していきたいと思っておりますので、お住まいの地区で開催されたときには、ぜひ参加してください。

知ってください 社協の事業



家族介護者支援・交流事業
「おはなし会」へ参加しませんか？

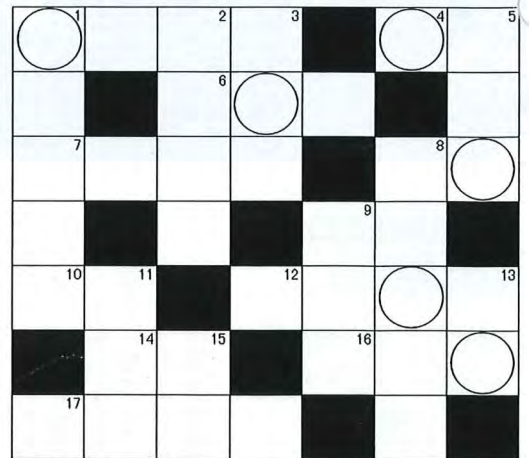
自 宅で家族を介護されているみなさんの交流の場として、また、気分転換をもらう場として、月に1回、「おはなし会」という集まりを開催しています。ゆつくりお茶を飲みながら世間話や日頃の介護の悩みを相談しあったり、時には楽しい話で大笑いがあったり、とても賑やかで元気になる集まりです。日頃の介護をちょっとひとやすみして参加してみませんか？興味のある方はぜひ一度、お問い合わせください。

梅雨のジメジメも
クロスワードでスッキリよ！
今回もかかってらっしゃい！（や）



解けばスッキリ！

クロスワードパズル



- 【タテのカギ】**
- ① 恥ずかしがり。
 - ② 水星、金星、土星など。
 - ③ 女の子が髪などにつけたりするもの。
 - ④ みるアジの干物。独特の臭いがある。
 - ⑤ 怠ける人。
 - ⑥ ホット。
 - ⑦ 手腕、技量。
 - ⑧ 精通していること。食。

【ヨコのカギ】

- ① 夏に咲く大輪の花。
 - ④ 食。
 - ⑥ 無。
 - ⑥ へこんだところ。
 - ⑦ 周囲がうるさいときに使う。
 - ⑧ 物置小屋。
 - ⑨ 海に潜って貝などを採る人。
 - ⑩ 木の実を食べる小動物。
 - ⑫ 病気の検査をします。
 - ⑭ ナイト
 - ⑮ 日本の国技。
- のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくってください。

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント！

挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324 熊野市井戸町1-150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行

挑戦期限 平成24年7月31日(火)

前回の答え 「きんぱん」でした。

当選者は次の方々です。
井上和子さま 峪口章さま
高畑友里さま 日浦田美江さま
平山尚美さま でした。
おめでとございます！



介護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。
【譲ります】 7月17日(火) 申込締切



①学習机なし(イス)

【譲ってください】

- ①乳幼児用おもちゃ
- ②ジュニアシート
- ③三輪車
- ④シャワーチェア
- ⑤ベビーカー

☆登録していただいたリサイクル用品は、希望者が現れるまでご自宅に保管していただきます。
 担当 地域福祉係 松田

このたび、山びこ歌謡愛好会(会長 須川雄次)様から車イス3台を寄贈いただきました。寄付者の意向に沿って、神川デイサービスセンター・紀和事業所・あゆみ事業所へそれぞれ配備し、有効に活用させていただいております。本当に有難うございました。



お知らせ

7・8月の無料法律相談

- ◆開催日 7月17日(火)
- 8月21日(火)
- ◆相談員 堂前美佐子 弁護士
- ◆会場 熊野市保健福祉センター 1階 第1会議室
- ◆時間 13時から
- ※相談は一人10分間で予約順です。
- ※事前に予約が必要です。
- 担当 地域福祉係 松田

熊野市老人クラブ連合会 事務局が移転しました

昨年度までくまのふれあいセンターに設置しておりました「熊野市老人クラブ連合会事務局」が、熊野市保健福祉センター(熊野市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係)に移転しました。今後ご用の際には、よろしく願います。
 ☎05977-89-5000

エクレール お菓子放浪記

東日本大震災の復興一助にと映画上映会「エクレール・お菓子放浪記」が開催されます。この上映会は三重県をあげての取組みとなり、県内各地で開催されています。原作の舞台は知多半島ですが、撮影は宮城県石巻市において行なわれました。しかし封切り直前にあの大震災が発生し、上映を断念したそうです。被災地の復興支援と撮影地の失われた美しい情景の復旧を祈り、市民の支えあう人の心のやさしさを被

災地への支援のころにつなげる市民活動として広く賛同を呼びかけるものです。
 なお、チケットの売上の一部は東日本大震災義捐金として被災地域に届けられます。

- ◆日時 平成24年7月22日(日)
- ①10時30分 ②14時
- ※会場は開演の30分前です。
- ◆前売券 一般1,000円 (当日1,500円)
- ◆お問い合わせ 熊野市役所(福祉事務所) ☎05977-89-4111



職員募集!

福社のお仕事してみませんか? あなたの笑顔がしあわせを運びます。

- 職種・登録ヘルパー
- 2級ヘルパー以上の介護資格所持者
- ※土日祝日勤務可能な方、大歓迎!
- 2〜3時間だけの勤務も可能。
- お問合せお待ちしております。
- 総務課/総務係



あとがき

東京スカイツリーがオープンしましたね。高さはなんと634メートルで、世界一高い塔だとか。人が登れる最高の高さは450メートルの天望回廊。高いですねえ。また、料金も半端なくお高く、いわば雲の上の金額です。(時間指定なら一番上まで登れば3,500円)でも、絶景大好き人間なので、いつかのぼってみたいですね。

パベルの塔という旧約聖書の「創世記」中に登場する巨大な塔のお話があります。神に挑戦するべく天にも届く塔を築きましたが、神の怒りに触れ壊されてしまったというお話です。

以前建設中のスカイツリーを下から見上げたことがあります。ただ、周辺の商店街や住居とのギャップも感じました。にわかには開発が進み、それにより潤う人たちや、観光客、逆に否応なくその渦中に立たされる地域住民。

高いものを立てるときは、土台をしっかりとつくるのが絶対条件です。ハード(施設面)だけでなくソフト(住民の生活、気持ち)面も継続して開発してほしいと思います。上を見上げながら地面も見つめ、誰の怒りにも触れないように。

熊野市の人口と高齢化率

世帯数	9,614世帯
人口	19,110人
(男8,749人/女10,361人)	
65歳以上	7,166人
(男2,850人/女4,316人)	

熊野市の高齢化率37.50%
 (平成24年6月1日現在)

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「頑張った事実は残る」

華やかな功績というものは、とかく大きく取り上げられ、人々の心にいつまでも残ります。どうせやるからには評価して欲しいし、有名になれば嬉しいものです。だから同じやるなら、できるだけ目立つように、人が見ているところで、なんて考えが浮かぶこともあります。

しかし、やったことには必ず成果が表れますし、人の心に残ります。また、それらが良いことなら、万が一表れなくとも一生懸命やることで、それは自分の記憶となり、経験となり、自信となり、いつか我が身や、周りの人を助ける結果になります。

頑張った事実は残る。そう信じて、「今やるべきこと」を真っ直ぐに一生懸命やるだけだと思います。

福祉くまのno.42もくじ

◆2ページ 特集) 赤い羽根共同募金運動

◆3ページ 連載) 地震に立ち向かえ!

◆4ページ いな

◆5ページ 社協ふれあいミニフェスタ in 五郷、連載) 知ってください社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、熊野市の人口と高齢化率

平成24年9月5日発行

No. 42

じぶんの町を良くするしくみ

誰

もが住み慣れた地域で安心して暮らす。そのためには、単に公的な社会福祉制度の充実を求めるだけでなく、多様な社会福祉の課題に対して、自らが主体的かつ積極的に取り組みながら、自ら地域をつくっていくことも必要ではないでしょうか。住民相互のたすけあいによる福祉のまちづくりをすすめたい、そんな願いのこもった『じぶんの町を良くするしくみ』を



掲げ、今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が開始されます。みなさまの温かいご理解とご協力をお願いいたします。



募金目標額と充当内容

平成24年度熊野市の目標額は、

- ◆一般募金 2,463,500円
- ◆歳末たすけあい募金 100,000円

皆様からお寄せいただいた募金は次の団体に配分され活用される予定です。

- ◆一般募金（25年度の事業に活用）
- ①熊野市社会福祉協議会 600,000円
- ふれあいいきいきサロン 800,000円
- 社協支部活動助成 300,000円
- ②NPO法人まんまんらい 障がい児・者の生活訓練用備品購入 300,000円

- ◆歳末たすけあい募金（24年度の事業に活用）
- ①熊野市社会福祉協議会 ひとり親世帯等へのランドセル購入助成 100,000円



共同募金として寄せられた浄財は、災害時にも役立てられています。

毎

年寄せられる募金は、いったん三重県共同募金会に送金され、申請のあった各市町の施設や団体に配分されることとなります。県内で発生する災害はもとより、昨年3月の東日本大震災などの大規模災害時には、全国を対象とした被災地への支援金として活用されることとなります。昨年9月に東紀州地域を襲った台風12号豪雨災害時には、熊野市にも災害ボランティアセンター運営資金として三重県共同募金会から5,400千円が配分され、まちの復興に役立てられました。



こんなところでも
募金ができますよ♪

熊

野市保健福祉センター内玄
関横には、募金機能付飲料
水自動販売機（ハートフルベン
ダー）が設置されています。募金
ボタンによる募金のほか、売上の
一部が赤い羽根募金として寄付さ
れる仕組みになっています。セン
ターにお越しの際には、ぜひとも
ご利用ください。



こんな事業に
活用されます。

ふれあいいきいきサロン
熊野市社会福祉協議会

地域の住民が集まり、住民主体
によるいきいきづくりなどの活動
が行われています。その活動に対
し、支援を行っています。（初期
準備金、活動費など）

社協支部活動助成

熊野市社会福祉協議会

市内19カ所で地域福祉活動を展
開する社協支部に対して、支援を
行っています。（新規事業助成、
支援配分など）

障がい児・者の

生活訓練用備品購入
NPO法人まんまららい

昨年の災害で全壊した備品を購
入し、以前のようにパン製造やお
菓子づくりを行
い、生活を豊か
にします。
（ガスオープン
購入）



連載 地震に立ち向かえ！

平成24年度

災害ボランティア

コーディネーター養成講座

終了！

無

事に講座を終了すること
ができました。4回の講
座を通して延べ61名の方
に参加いただき、その内、9名の方
が講座を修了されました。

今回の講座では、災害時のボラン
ティアコーディネーターとしての役
割や日頃から取組めることについて
知識を深めていただきました。受講
された方々は、いつ起こるかかわら



ない災害を現実問題として捉え、熱
く討議をされていた場面もあり、こ
れから地域に出向き災害時の取組み
を行っていく上で、心強い仲間がで
きたと感じました。

熊野市ボランティアセンターで
は、今回の講座を単発で終わらせるの
ではなく多くの方に興味を持って
いただくために、地域での図上訓練や
タウンウォッチング、避難所生活を
想定した避難所運営訓練（HUG）
などを用いて皆さんと共に災害時の
減災活動等について考えていきます
ので、近くで開催される時は是非ご
参加ください。



第21回

全国ボランティア フェスティバル みえ

毎年開催されている「全国ボランティアフェスティバル」が、今年は三重県で開催されます！全国からボランティアが集まって、活動紹介やB級グルメ紹介、授産製品の販売などのブースも出展されます。

9月29日・30日の2日間で開催される全国ボランティアフェスティバルですが、熊野市ボランティアセンターもボランティアさんを募り、30日に大会へ行ってきます。

ボランティア同士の交流はもちろん、興味を引かれる分科会が目白押しで、どの分科会に参加するか参加者は悩みそうです！

「第21回 全国ボランティアフェスティバルみえ」の報告は次号でさせていただきますね♪

手話講座

10/19(金)・26(金) 11/2(金)

19時～
20時30分
熊野市保健福祉センター
1階 第1会議室

昨年開催した「初級手話講座」がパワーアップします！
指文字から簡単な手話・日常会話まで、手話サークルの方や日常的に手話を使われている方をお招きして、みんなで楽しく学べる「手話講座」を開催します♪

昨年の「初級手話講座」に参加された方も、スキルアップ出来る講座となっておりますので是非ご参加ください(*^^*)

内 容：10月19日(金) 手話の楽しさを学びます
26日(金) 手話でのコミュニケーションを学びます
11月 2日(金) 日常的な手話での会話を学びます

申込締切：平成24年10月12日(金) 17時15分

いなえの一言

6月後半から1ヶ月も体調を崩してしまいました。体重は2kg減ったのですが、「あれ、痩せてないじゃない！」と久々にお会いした方に笑われてしまいました。えっ、私痩せてないの？
食欲の秋を前にダイエットを諦めるいなえです♪

社協ふれあいミニフェスタ in 五郷



今 年度は、社協五郷支部で「社協ふれあいミニフェスタ」を開催することになりました。

7月から五郷の皆さままで実行委員会を立ち上げ、開催場所や内容について検討を進めてきました。

今回は、おもしろい、いいとみなおいでをテーマに、みんながふれあい、あたたかな雰囲気のあるミニフェスタを目指し開催します。

地域の方々と一緒に一日を過ごしたいと考えおりますので、多くの方々のご来場をお待ちしています。

◆日時 平成24年10月6日(土)
10時30分～13時30分

◆場所 五郷小学校

◆内容 ステージイベント・模擬店・大抽選会、他

連載 知ってください、社協の事業

その③通所介護事業(デイサービス)

熊 野市社会福祉協議会では、井戸町、新鹿町、神川町、紀和町、飛鳥町の5カ所で、通所介護事業(デイサービス)を行っています。

地域性や、施設の規模などで内容は若干異なりますが、どの事業所でも、お越しくださる方々が1日楽しく過ごし、また来たくなるような雰囲気づくりを、また、同時に、在宅で介護をされているご家族のご負担の軽減の一助となればと、スタッフ一同明るくサービスを提供しています。

主な内容は、送迎、バイタルチェック(体温、血圧測定)、レクリエーション(ゲームや創作活動)、昼食、入浴、おやつなどです。(季節に合わせた臨時のプログラムも実施しています)好きなこと、得意なことはそれぞれですので、できる限り、おひとりおひとりが無理なく楽しめる工夫をしています。

お試しのご利用にも応じますので、遠慮なくお申し付けください。

- ◆井戸デイサービス(三重県指定第2471100020号)
井戸町1150番地 ☎0597-89-6686
- ◇新鹿デイサービス(三重県指定第2471100020号)
新鹿町640番地の2 ☎0597-86-1001
- ◇神川・育生デイサービス(三重県指定第2471100020号)
神川町神上214番地 ☎0597-82-0361
- ◆紀和デイサービス(三重県指定第2473100044号)
紀和町板屋135番地の1 ☎0597-97-0633
- ◆飛鳥・五郷デイサービス(三重県指定第2471100087号)
飛鳥町野口678番地 ☎0597-84-1000



解けばスッキリ! クロスワードパズル



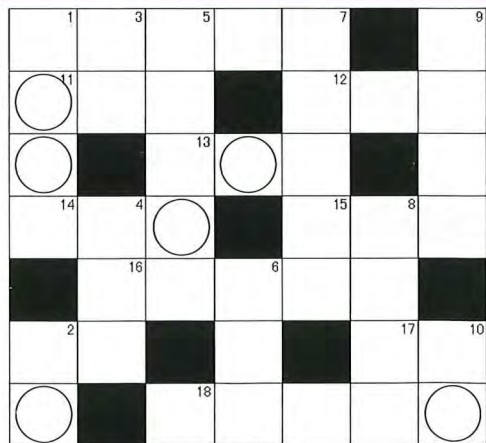
秋の夜長はクロスワードパズルでキマリよ! かかってらっしゃい! (かよ)

前回の答え 「ひやけよぼう」
当選者は次の方々です。
門真奈美さま
水野千鶴香さま
宮本治雄さま
藪本みや子さま
吉村真知子さま
おめでとござい
ます!

ひ	ま	わ	り	よ	く
と	く	ほ	み	さ	
み	み	せ	ん	な	や
し	い		あ	ま	
り	す	さ	い	け	つ
	き	し	す	も	う
え	る	め	す		の

挑戦期限 平成24年9月28日(金)
熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
〒519-4324 熊野市井戸町1150

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!
挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、
☆○のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくってください。



- 【タテのカギ】
- ① パートナー。
 - ② ウラジロ。
 - ③ ○○のいい人。
 - ④ 青ねぎの一種。
 - ⑤ テングサから作る。
 - ⑥ 手に何も持たないこと。○○体操。
 - ⑦ 悪臭を防ぐこと。
 - ⑧ 肉や野菜を串に刺して焼く。
 - ⑨ 組み立てること
 - ⑩ 元素の種類。

介

護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】9月18日(火) 申込締切

- ①学習机(椅子無し) ②歩行器
- ③チャイルドシート ④ベビーカー
- ⑤クーファン⑥お風呂 ⑦椅子1(右)・椅子2(左) ⑧椅子(小)
- ⑨椅子(小)2 ⑩湯たんぽ
- ⑪三輪車 ⑫ベッドメリー ⑬メリー
- ⑭補助便座⑮ブロック⑯プレイシム⑰ミッフィーウォーカー※床傷付け防止用のタイヤのゴムがありません



お知らせ

9・10月の無料法律相談

☆登録していただいたりサイクル用品は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。
担当 地域福祉係 松田



- ◆開催日 9月18日(火)
(予約締切 9月14日(金)
10月16日(火))
- ◆相談員 堂前美佐子 弁護士
(予約締切10月15日(月))

- ◆会場 熊野市保健福祉センター
1階 第1会議室
- ◆時間 13時から
- ◆担当 地域福祉係 松田

ヘルパー2級受講生を募集

- ◆趣旨 離職者等を対象に、就労支援と福祉人材の確保を目的とします。
- ◆期間 平成24年10月23日～
12月21日

- ◆受講場所 三重県社会福祉会館
(津市桜橋) ほか
- ◆応募要件 三重県に住民登録している満65歳未満の方
- ◆募集定員 50名
(応募者多数の場合は抽選)
- ◆募集期間 9月4日～10月4日
(必着)
- ◆受講料 無料(但しテキスト代
など一部自己負担あり)
- ◆問合せ先 三重県社会福祉協議会
059-227-5160

熊野市老人クラブ連合会 「趣味の作品展」開催

熊野市市民会館において、熊野市老人クラブ連合会「趣味の作品展」が、7月25日から27日の3日間にわたって開催されました。作品の総数は120点余りにのぼり、老人クラブ会員をはじめ多くの一般の市民の方々など3日間で300名以上の来場者が訪れ、力作ぞろいの作品展を楽しんでいました。



あとがき

大 音響とともに弾ける閃光と、肌突き刺さる衝撃波。今年も熊野大花火が終わりました。花火大会が近づくと、お盆の帰省と合わせ、熊野市(主に中心部)の人口が徐々に増えていきますが、熊野大花火当夜にピークに達し、次の日の夕方には嘘のように静かなまちに戻ります。大人になると都会の喧騒が煩わしく感じ、この静かなまちで、日々穏やかに過ごすことができる幸せを感じます。現在熊野市の人口は19,073人とのこと。(熊野市人口統計)あと少しで19,000人を切りそうです。合併当時は約22,000人あった人口が、7年でなんと3,000人も減少しています。原因はさておき、このまま減少傾向が進むと、すぎる静かなまちになってしまうでしょう。そんな傾向は誰もが知っている事実です。普段あまり意識しませんが、毎年花火のあとの静けさが、当夜までの反動でものごく寂しく感じ、以前は「やっと静かになった」という気持ちから、「いつもこれくらい人がいたらなあ」と思わずつぶやいてしまう今日この頃です。(あ)

熊野市の人口と高齢化率



CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「家に帰るまでが遠足」

ひとりだけ置いてけぼりをくったり、部品が足りなくて完成しなかったり、はじめるときにはそうならないように万全の注意を払いますし、もし、そうならなければ、残念な気持ちになったり、悲しく思ったりします。逆に、物事の終盤では、少々の漏れや不足は大抵“良し”とされて、完璧を求められないことが多いように感じます。

“終わりよければ～”といいますが、よくこのことばを「何とかなった」的に使います。しかし、もうひと頑張りして、きちんと漏れなく終わることができたら素晴らしいですね。「家に帰るまでが遠足だから、決して油断しないように」と小学校でも習いました。始めるときと同じように、油断せず、できるだけキレイに、忘れ物が無いよう終わられるようにしたいですね。

福祉くまのno.43もくじ

- ◆2ページ 特集) 社会福祉協議会とは
- ◆3ページ 連載) 地震に立ち向かえ!、認知症講演会、どんきい劇場がやってくる!
- ◆4ページ いな
- ◆5ページ 社協ふれあいミニフェスタ in 五郷、連載) 知ってください社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル
- ◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、短期連載) 3本の柱、熊野市の人口と高齢化率

平成24年11月5日発行

No. 43

つくる。

(熊野市社会福祉協議会)

みる。

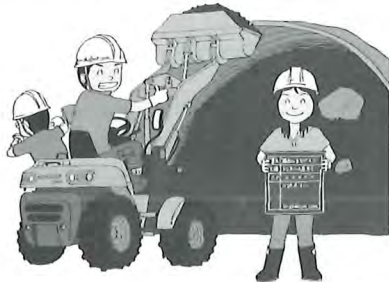
なさん、社会福祉協議会って何をしているところかご存知ですか？どうやら、福祉というと介護のことを連想される方が多いようです。また、公的施設の中に事務所を置いていることが多いので、市役所の組織の中のひとつと誤解されている方もいらっしゃるのでは？はたまた「社協(しゃきょう)」なんて、短縮されてしまふと何が何だかさっぱり…。今回の特集ではそのような疑問にお答えします。

●福祉(地域福祉)とは…

「福祉」と聞いて、まず介護的なことを連想される場合、高齢者や障がい者を思い浮かべていませんか。身内に介護やお世話を必要とする方がいない場合、自分にはあまり関係のないことのように思ってしまうすよね。なんとなくイメージでわかる言葉ってあえて辞書で調べたりもせず、案外、勘違いしたままの知識となっていたりすることがあります。



もともと福祉とは「幸せ」や「豊かさ」を意味する、とあります。対象となるのは、特定の人だけではなく、すべての人です。ご存知のとおり、熊野市では2万人近くの方が暮らしています。女の子の方も男の方も。子



もたちがいて大人たちがいますし、障がいをもっておられる方もいます。そして、あなたもいます。あなたは、いま、何の不安や心配もなく暮らせていますか？誰しも何かしら、不安や心配ごとを抱えて生活しているのではないかと思います。それらを含めると、たくさんのお困りごとが存在し、地域によって異なるものもあります。あなたが日常的に行っている行為が、別のある人にとっては、困難または不可能であるため、困っていることがあるかもしれません。あなたも含めてすべての人が、「福祉」なのです。決して他人ごとではないですよ。そして重要なのは、ここでいう幸せや豊かさとは、金銭や物的にというよりも、心的にということ。心の豊かさは、人との関わりから生まれることが多い、それによって大きく左右されること



が多くあります。そんな角度からみた豊かな生活とは…。

子供のころ、よく親から「自分でできることは、まず自分でやりなさい」と言われました。自分、自分の家族や身内、自分が住んでいる町、自分が住んでいる熊野市、そして、三重県、日本、地球…。自分は、すべてに属しています。同じではないでしょうか。困りごとを解決していく順番も。家族や行

●市役所と社会福祉協議会

住民のみなさまとお話させていただいていると、よく「社協の職員は公務員なの？」と尋ねられますが、社協職員は公務員ではありません。社会福祉協議会は、社会福祉法に定められた民間非営利団体なので、団体職員となります。前述しました地域福祉の推進においては、法で定められた事業のほか、公的財源を活用させていただきながら実施している事業(補助事業や受託事業)があります。制度的な施策は市役所が、地域福祉は社協が担当する中で、お互いの連携を図りやすくするため、公的施設の中に事務所を置く社協が、全国的に多くあります。

●社協

社会福祉協議会(しゃかいふくしききょうぎかい) : 画数も多く長いし、呼びづらいじゃないですか。とても皆さまに愛され、親しまれる気がしない…頭文字をとって、社協(しゃきょう)にしてスッキリ！全国的に統一された愛称みたいなものですね。

●おわりに

人材や資源をしつかりととのえ、人と人をつなぎ、だれもができるかぎり在宅で生活できるよう安定した生活基盤をかためるお手伝いをし、もちつもたれつとの関係を、地域のみならずともにつくるのが社協です。

今回の特集で、少しでも熊野市社会福祉協議会を身近に感じていただき、関心をお持ちいただけたら、うれしく思います。

まだまだ、伝えたいことがたくさんあるのですが、紙面の都合上…。

社協が使命を果たすためにどんなことをしているのかについては、この広報誌「福祉くまの」を毎回ご覧くださいます。お問い合わせいただければパンフレットも

ご用意しております。また、インターネットができる方はぜひお越しくださいませ。お待ちしております。



ホームページアドレス：<http://www.k-shakyo.com/>または、熊野市社会福祉協議会で検索してください。

連載 地震に立ち向かえ！

熊

野市社協では、市民の皆さんに減災への理解

を深め取り組んでもらうことにより、地域のネットワーク作りを強化していこうということとで研修会や講演会を実施してきました。これからはもう少し地域を絞り、各々の地域性に合わせた減災への取組みについて考える機会を持ちたいと思います。この取組みでは、タウンウォッチングやハザードマップ作りを行うことにより災害に対する地域の実情を把握し、これからの減災・防災に活かせるようにしたいと考えています。また、災害後の避難所生活を想定した、避難所運営訓練なども計画していく予定です。



お住いの地区で開催される時には是非ご参加いただき、私たちと一緒に学びませんか。

認知症講演会

熊

野市社会福祉協議会では、家族介護者支援・交流事業として

介護をされている方々と一緒に、日頃の苦労や実践していることなど、世間話をしながら楽しく賑やかに「おはなし会」を実施していますが、その事業の一環として認知症講演会を開催いたします。実体験を踏まえたわかりやすい内容で話していただけますので、介護をしている方もしていない方も、ぜひご参加いただければと思います。

とき 平成24年11月20日(火)

13時30分～15時

ところ 熊野市文化交流センター 交流ホール

◆講師 多賀洋子氏

◆講演内容 2002年ごろにご主人がアルツハイマーを発症。

2011年に亡くなられるまで介護してきた経験談を交えながら、認知症の方との関わり方や介護していくうえでの心の持ち方などをお話しいただきます。

◆参加費 無料

◆定員 150名

◆参加申込 11月16日(金)までに、電話かFAXでお申し込みください。地域福祉課

電話 0597-89-5000
FAX 0597-89-3068

歳末チャリティーイベント どんきい劇場がやってくる！

さ

まざまな場面が使われている人形。ちよつとした場面や脇役、時には主役として登場する人形ですが、そのコミカルな動きや、哀愁漂うその姿になんともいえず味わいを感じ惹きつけられる方も多いでしょう。

そんな人形を使った「どんきい劇場」が熊野市にやってきます。TVにも出演したことのあるどんきい劇場です。子供から大人まで楽しんでもらえる公演内容を用意して下さっていますので、是非ご来場下さい。

日時 平成24年12月15日(土) 午前10時30分

場所 熊野市保健福祉センター 多目的ホール

内容 影絵と人形劇の2本立て(予定)約50分間

入場料 子供300円(二人) 大人500円(二人)

参加申込 平成24年12月11日(火)までに地域福祉課へ申し込みください。(定員100名)

*なお、入場料については歳末たすけあい募金に全額寄付されます。





いな



第21回

全国ボランティアフェスティバルみえ

ボランティアセンター情報誌
みんな一緒に大きくな～れ!

熊野市ボランティアセンター

(熊野市社会福祉協議会内) 担当 松田 あき絵

住所 熊野市井戸町1150番地

電話 0597-89-5000

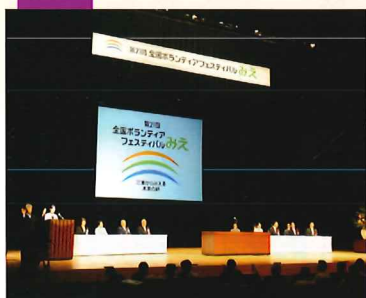
FAX 0597-89-3068

平成24年9月29日(土)・30日(日)に津市で第21回全国ボランティアフェスティバルが開催されました!!

残念ながら、参加予定だったいなえとボランティアの方は台風の影響で参加を中止しました。でも、分科会の担当になっている熊野市協

の職員は参加し、無事に大会を終えることができたそうです♪

右はその分科会のグループワークの様子です。「被災者の気持ちとボランティアの熱意とのすれ違いをなくすために」をテーマに、様々な分野のボランティアが意見を交換しています。普段関わりの少ない分野の方とお話する機会は視野を広げる意味でも大切だと感じました。



ちびっ子ボランティア

第6回社協ふれあい 参加しました!! ミニフェスタ in 五郷

10月6日(土)に開催された「第6回社協ふれあいミニフェスタ」にちびっ子ボランティアも参加し

てきました。社協の職員と共に「たこ焼き屋」の模擬店を出し、お店は大盛況!

「何皿ですか?」「マヨネーズはつきますか?」など、接客もばっちりでした☆

たこ焼き器の近くはとっても暑くて大変でしたが、みんな頑張ってくれました♪



いなえの一言

日に日に寒くなり、これからインフルエンザの時期になりますね。いなえは毎年予防接種を受けています。皆様もお忘れなく!



社協ふれあいミニフェスタ in 五郷大盛況!

今年で第6回目となる社協ふれあいに五郷町で開催されました。

スタin五郷
福社協議会



今回のミニフェスタでは、社協五郷支部長をはじめ、実行委員長や支部役員の方々が中心となり、細部にわたりこだわりながら準備を進めていただきました。そのおかげで当日は大勢の方々が会場が埋め尽くされ、ステージイベントや模擬店、展示コーナーなどの催しものを楽しんでいただくことができました。

このミニフェスタを通じて、五郷町の人材の豊富さと地域の方々のあたたかさ、楽しさを感じることができたのも、ご来場いただいた皆さまとご協力いただいた地元の方々の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。



連載 知ってください、社協の事業

現

在 熊野市内の8ヶ所の地域で小地域デイサービス「おうた」を実施しています。皆で楽しめるレクリエーションや体操を行い、心身共に健康になることを目的としており、開催地区全て合わせると100名以上の方々にご参加いただいております。

「おうた」は「皆で話をして《お》もしろい」、「皆でご飯を食べると《う》まい」、「皆で《た》のしく過ごす」という意味を込めてつけられた名前です。各地区で開催された時はわいわいやがやと「おうた」とおり皆で楽しんでいきます。現在、熊野市内では一人暮らしの高齢者が増え、外出する機会も減少しているといわれています。お住まいの地域で「おうた」が開催された際には、是非ご参加いただき皆で楽しみましょう。

☆現在の開催地区：育生、波田須、大泊、小森、上川（和気・小船・惣房）、平谷、長尾、赤木

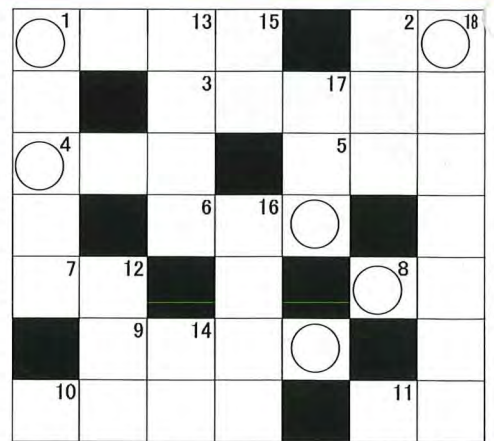
☆開催場所：各地区の公民館など
☆対象者：各地区にお住まいの65歳以上の方
☆参加費：500円（お弁当代）

☆内容 容：血圧測定、レクリエーション（ゲーム・体操など）、昼食（お弁当）



クロスワードパズル

解けばスッキリ!



⑰粉をふるう道具。⑱沖繩にすむ鳥。天然記念物。

【タテのカギ】

- ①イースター島にある。
- ②署名。
- ③臨終に付き添うこと。
- ④憧れの対象となる女性。
- ⑤濃厚なうまみ。
- ⑥布生地の種類。
- ⑦野球等でバットに球が当たらないこと。

【ヨコのカギ】

- ①身振り、仕草をまねること。
- ②刀身をおさめる。
- ③イルカ。
- ④異常な現象。
- ⑤ダンスの種類。
- ⑥旅館などで客の接待をする女性。
- ⑦〇〇に浮かぶ船。
- ⑧〇〇人形。
- ⑨ながれこ。
- ⑩家計を〇〇〇〇する。
- ⑪生け捕りにする仕掛け。
- ⑫〇のついたマスに6文字を並べ替えて言葉をつくってください。

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!
挑戦方法はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324 熊野市井戸町1-150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
挑戦期限 平成24年10月31日(水)

前回の答え

「てんぼうだい」

当選者は次の方です。

宇城勝司さま
打屋みつるさま
大谷幸美さま

駒中アキ子さま
畑地巧さま

でした。おめでとうございます!

朝夕冷え込んできたけど、元気だしていきわよ! かかってらっしゃい! (かよ)



介 護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございますしたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】

11月15日(木) 申込締切

- ① 学習机 (椅子無し)
- ② 湯たんぽ
- ③ マッサージチェア ※椅子横の操作スイッチが取れています、リモコンで操作可能です。



☆登録していただいたリサイクル用品は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。
担当 地域福祉係 松田

お知らせ

11・12月の無料法律相談

- ◆ **開催日** 11月20日(火)
(予約締切11月19日(月))
- ◆ **開催日** 12月18日(火)
(予約締切12月17日(月))
- ◆ **相談員** 堂前美佐子 弁護士
- ◆ **会場** 熊野市保健福祉センター
- ◆ **時間** 13時から

短期連載 「3本の柱」

※相談は一人10分間で予約順です。
※事前に予約が必要です。
担当 地域福祉係 松田

「職場体験」参加者を募集します

福祉のお仕事体験してみませんか？

◆ **対象者** 福祉の仕事に関心のある方

◆ **体験の期間** ひとり3日以上10日以内

◆ **体験時間** 1日概ね6時間(6時間以上8時間未満)

◆ **参加費** 無料です。ただし、交通費、食事代などは自己負担です。

なお、職場体験にかかる日当などは支給されません。

【問い合わせ先】

三重県社会福祉協議会

福祉職場体験インターンシップ担当

電話 059-227-5160

第1回 地域福祉課

地 域福祉の推進を図ることを目的とする団体である社会福祉協議会の中でも、地域福祉課は地域の方々と連携しながら地域福祉活動を推進していくという重責を担っている部署です。熊野市は高齢化が進み、中でも地域福祉の担い手がどんどん

少なくなっている過疎地域では、今後の取り組み次第で地域の未来が大きく変わってしまう可能性が高いと考えています。そこで、地域福祉課では従来から地域に根ざした活動を

されている「社協支部」の活動に対するバックアップを強化し、今後起こりうる大地震への対応や福祉の担い手の育成、さらなる福祉活動や新たな事業の企画立案に力を入れていかなければなりません。

現在、地域福祉課では社協支部活動への支援のほか、高齢者や障がい者などに対する多くの事業を実施していますが、すべての皆さんに支援が行き届いているかといえば、残念ながらそうではありません。地域福祉課はもとより、総務課、福祉サービス事業課を含む熊野市社会福祉協議会すべてが一体となって地域の皆さんの役に立てるように一層努力し、熊野市の地域福祉の未来を担っているという自信を持って今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。

地域福祉は住民の皆さんのご協力なくして成らない活動です。これからも熊野市社会福祉協議会の地域福祉活動にご支援をよろしく願います。

あとがき

毎回「福祉くまの」の表紙で悩みます。この写真とコメントシリーズは3年目ですが、年間でテーマを決めてやっています。ちなみに今年には、「ミ」から浮かぶ自分自身のいたるところなどをとらとらと書き連ねています。ただ、表紙の写真なので、できるだけきれいなものが、ハッとするような写真を掲載するべきなのでしょうが、如何せん被写体が「ミ」なだけに、どう頑張っても汚いものは汚い。今更ながらこのテーマを選んだことをちょっと後悔しています。

また、オマケの文章もなやら「コ」ツケな感じにする今日この頃、これを見た(読んだ)方々が、どう感じているだろうか、お気を悪くされていないだろうか、など、心配の種は尽きません。

しかし、熊野市に住まわれる方全員が見てくれる(そう信じて)毎号発行しています。熊野市社会福祉協議会を代表する広報誌であることを考えたとき、とても重たく、責任ある仕事をさせていたたいという喜びも同時に痛感しています。

これからあと2回、つたない私の思いと共に、あまりきれいで無い写真を悩みなながら掲載しますので、どうぞ、ご愛読の程、宜しくお願い申し上げます。(あ)



熊野市の人口と高齢化率

世帯数	9,562世帯
人口	19,053人 (男8,698人/女10,355人)
65歳以上	7,196人 (男2,860人/女4,336人)
熊野市の高齢化率37.77% (平成24年10月1日現在)	

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「活かそう」

「もうちょっとこうだったら使えるのに…」道具で用が足せないときに残念に思うことがあります。また、使いなれたものを処分する時にも、「ここだけが悪いだけなんだけど…」と寂しい気持ちになることもあります。

しかし、あるものを使えば拡張的に用途が広がったり、そのもの本来の使い方が取り戻せる方法も当然あります。

見た目や、印象、限られた用途だけを考えて決めつけてしまうとそれまでですが、ちょっと頭を切り替えたり、知恵を絞れば用を足せなかったものが、通常か、それ以上の役割を担うものになる可能性が大いにあります。

「活かそう」そう思うことが第一歩です。

人間も同様だと考えれば、活かされやすい人間を目指すことも大事なのでしょうね。

福祉くまのno.44もくじ

◆2ページ 新年のごあいさつ

◆3ページ 連載)地震に立ち向かえ!、第4回熊野市社会福祉大会、ふれあいレクリエーション大会in両友

◆4ページ いな

◆5ページ ふれあいいいききサロングループ募集、連載)知ってください、社協の事業、解けばスッキリ!クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、短期連載)3本の柱、熊野市の人口と高齢化率

平成25年1月5日発行

No. 44

新年のごあいさつ

熊野市社会福祉協議会

会長 濱田雅嗣



あ

けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会の事業運営並びに諸活動に對しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は一昨年の紀南地方豪雨災害の記憶を呼び戻すかのように7月に九州北部の豪雨災害、8月には京都府南部の豪雨災害があり、尊い人命が失われるほどの甚大な被害をもたらす大災害となりました。被災されました方々に対して、心からお見舞い申し上げます。

本会におきましては、社協ふれあいフェスタや社協ふれあいミニフェスタ、社協支部敬老会、見守り活動などの様々な福祉活動の展開を通じて、人と人との「つながり」や「絆」を大切にしたり取り組みや支援を行ってまいりました。

しかしながら地域においては、高

齢化により福祉活動の担い手となる人材が不足し、これまで培ってきた活動が停滞してしまうというような課題も出てきております。

こうした中、地域の福祉課題を的確に把握し、住民同士による助け合い・支えあいを基調とした福祉活動を社協支部や民生委員、行政、関係団体、ボランティアなどと連携・協働して取り組むとともに、「地域の福祉力」向上のために地域に密着した事業の展開と地域福祉活動を活性化させていく必要性を強く感じております。

また、介護保険サービスや障害者自立支援サービスなどの事業運営にあたっては、他事業者が競合する中、サービスを安心してご利用いただけるよう一層職員の質と技術の向上に努めてまいり所存であります。

社会福祉協議会が地域住民の皆様から信頼され、親しまれる組織として「誰もが笑顔で暮らし続けられる福祉のまち」の実現に役職員一同、本年も一層努力してまいりますので、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひします



会長	濱田雅嗣	評議員	大畑守枝	社協須野浦母支部長	大岡甲吉
副会長	北孝三	評議員	岡部忠澄	社協二木島支部長	川下博嗣
副会長	下地通有	評議員	川下博嗣	社協遊木支部長	野々村勇
理事	宇城基悦	評議員	高本紀子	社協新鹿支部長	喜田裕一郎
理事	阪口任紀	評議員	滝爪清	社協波田須支部長	中葉徳次
理事	新谷利雄	評議員	野々村勇	社協磯崎支部長	上地英志
理事	田邊真弓	評議員	濱田秀人	社協大泊支部長	米本佳功
理事	和田博史	評議員	向山兼司	社協木本支部長	高本紀子
理事	城六男	評議員	中山利雄	社協井戸支部長	森岡寛治
理事	喜田育男	評議員	松島弘子	社協有馬支部長	和田博史
理事	福岡英	評議員	山城敏	社協久生屋支部長	濱田秀人
理事	奥村芳信	評議員	和田正造	社協金山支部長	新屋樞信
理事	糸川貞剛	評議員	増田幸美	社協育生支部長	下村富一
監事	大川智司	評議員	黒瀧一輝	社協神川支部長	倉谷政弘
		評議員	大西浩文	社協五郷支部長	辻本吉則
		評議員	南三重子	社協日進支部長	栗須喜善
		評議員	西垣戸勝	社協小阪支部長	滝爪清
		評議員	西章	社協両友支部長	北孝三
		評議員	山崎隆雄	社協紀和支部長	新谷進
		評議員	倉谷政弘		
		評議員	徳田靖兒	職員一同	
		評議員	大久保純子		
		評議員	上地英志		
		評議員	福岡和子		
		評議員	杉谷弘之		
		評議員	森岡寛佳		
		評議員	山崎晏子		

平成二十五年 元旦

連載 地震に立ち向かえ！

皆 さまの地域で減災への取組みについて懇談会を始めます。

今回の懇談会は、大災害後の地域の取組みを中心に、避難生活を想定した要援護者への生活支援や避難所運営の方法等について、地域の皆さまと一緒に考えていきます。

東日本大震災では、日頃からの地域のつながりが被災後の避難所生活での環境面や生活面の優劣を大きく左右したそうです。

避難所の運営については、地域の方が力を合わせて行わなければなりません。そのためには、事前に課題を分析しておくことが必要です。また、「こんな時だから贅沢は言えない、我慢しなければならぬ」ではなく、少しでも避難生活のストレスを軽減することを考えないと二次災害も起こってしまうと思います。具体的に災害を想定した訓練をおこない、住民同士が共通の課題分析、解決に向けて取組むことが地域のつながりをより高める一助になればと考えています。



第4回熊野市社会福祉大会

熊 野市社会福祉大会が11月6日(火)に開催されました。

大会では大会宣言(案)が朗読され、関係機関や諸団体、住民同士が、地域の絆・つながりを大切にできるよう、お互いが連携し知恵と工夫を凝らし「活力があり、安心して暮らせる熊野市」を目指すことが宣言されました。

併せて社会福祉の発展に功績のあった12名の個人と3団体に対し、熊野市社協会長から表彰状並びに感謝状が授与されました。おめでとうございます。



受彰されたみなさまは次の通りです。(敬称略)

熊野市社会福祉協議会会長表彰

『民生委員児童委員功労者』

五郷町 西村 芳晴

二木島町 下地 通有

飛鳥町 奥 紀久郎

育生町 下村 富一

木本町 徳田 すが子

『社会福祉功労者』

磯崎町 山本 植雄

育生町 清水 洋子

神川町 西 千春

有馬町 山本 総子

有馬町 山崎 晏子

有馬町 中島 和代

熊野市社会福祉協議会会長感謝状

津市 三重県生命保険協会

御浜町 三重南紀農業協同組合

木本町 熊野ライオンズクラブ

飛鳥町 更屋 恵詞



ふれあいレクリエーション大会in両友

今 年度第2回目のふれあいレクリエーション大会が、12月1日(土)に社協両友支部の協力で開催されました。寒い時期に一段と寒い地区での開催でしたが、レクリエーションが始まると「寒い」という声も笑い声に変わり、参加者もスタツフもゲームを楽しみました。終了後に地区の方が用意してくださったカレーを全員でいただき、心も体も温まる大会となりました。

今回のふれあいレクリエーション大会は木本地区で開催予定です。木本町にお住まいの方ならどなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。



謹賀新年

いな



ボランティアセンター情報誌
みんな一緒に大きくな～れ!

熊野市ボランティアセンター

(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 松田 あき絵

住所: 熊野市井戸町1150番地

電話: 0597-89-5000

FAX: 0597-89-3068

メール: a.matsuda@k-shakyo.com

ボランティアスクール

ボランティアスクール最終回を11月10日(土)に開催しました! 修了式後にバーベキュー、ビンゴゲームを行いました! 参加者は元気いっぱい! 最後まで賑やかなボランティアスクールとなりました♪



ホワイトボードに向かう姿は真剣そのものです(笑)
何を描いていたのかな?

修了式



千枚田でとれた新米を焼きおにぎりにして食べました♪

バーベキュー

参加してくれた皆さん
お疲れ様でした!!
、(*▽*)ノ

三重ボランティア基金助成

三重ボランティア基金からの助成で、熊野市ボランティアセンターの所有物品が増えました。

ボランティア団体、個人に限らず、地域のイベントやサロンなどでも是非ご活用ください。

今年購入した物品はこちらです♪

【レク用品】①スリリングタワーブロック

②おはじき落とし ③お花畑すごろく

【その他】④携帯用ソーラー発電機

⑤ワイヤレスマイク ⑥草刈機

⑦ワイヤレスレーザー式

詳しくは熊野市社協 <http://www.k-shakyo.com/>

ととのえる/物品貸出をご覧ください。

いなえの一言

この前参加した研修会で、定年後に会社を立ち上げ資格取得に励んでいる方がいらっしゃいました。「生涯現役で居たい」その思いだけで頑張るんです」とおっしゃられた笑顔に、元気と勇気をもらいました。

ボランティア活動保険の保険料が変わります!

熊野市内でボランティア活動をされている方に、ボランティア活動保険への加入を勧めておりますが、保険料が平成25年度から下記のとおり変更となります。

基本タイプ「Aプラン」: 280円⇒300円 (20円 ↑ up)

基本タイプ「Bプラン」: 420円⇒450円 (30円 ↑ up)

天災タイプ「Aプラン」: 490円⇒460円 (30円 ↓ down)

天災タイプ「Bプラン」: 720円⇒690円 (〃)

毎年3月末にボランティア活動保険の補償期間が終了となりますので4月には平成25年度の保険加入手続きをお願いします。

ふれあいいいききサロングループ募集



- 地域** 地域の実情に即した形で、住民が主体となつて、いきがいや憩いの場づくりを目的に、現在活動している、またはこれから活動を始めようとするグループに対して助成を行います。
- ◆助成対象**
- ①毎月1回から2回、定期的に活動を行うグループ
 - ②地域の方々が集まり、自由な雰囲気の中で特殊な趣味に偏ることのない活動
 - ③現在、助成を受けていないグループ
- ◆募集期間** 平成25年2月1日(金)～平成25年3月8日(金)(当日必着)
- ◆応募手続** 当会にて必要書類を揃え、期限までに提出してください。
- ◆募集数** 最大2グループ
- ◆助成額** 初期準備金5千円(初年度のみ) 活動費1回2千円(月2回を限度)

連載 知ってください、社協の事業

その⑤地域福祉権利擁護事業
紀 南地域権利擁護センター(熊野市社協内)では、誰もが安心して福祉サービスを利用できるよう、地域で生活されている認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方を対象に、地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)を行っています。

この事業では、福祉サービスを利用する際のさまざまな手続き、預金の出し入れ、生活に必要な利用料の支払いや大切な書類の管理などのお手伝いをしています。このようなことでお困りの方がいらっしゃいましたらご相談ください。

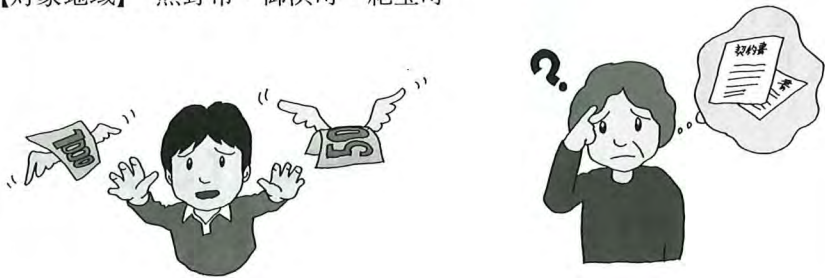
【利用料金】

①福祉サービス利用援助および日常的金銭管理サービス 1回：1,000円)

*生活保護受給者は免除、市町民税非課税者は減免

②書類等の預かりサービス 年間：3,000円(1ヶ月：250円)

【対象地域】 熊野市・御浜町・紀宝町



紀南地域権利擁護センター TEL 0597-89-1132

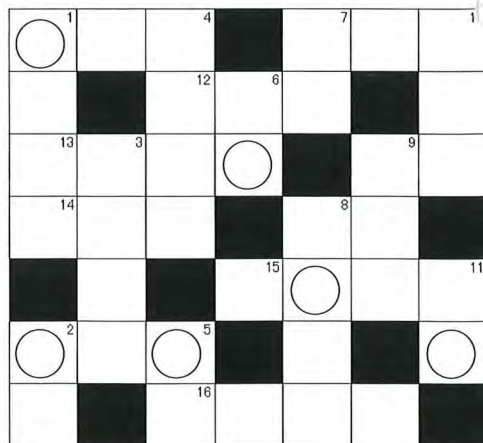


さあ！新年一発目の問題よ！
 今年も悩ましちゃうわよ～！
 かかってらっしゃい！
 (かよ)

倉谷美加さま、
 近藤紀子さま、
 齋藤良江さま、
 西りえさま、
 宮崎明久さま
 でした。
 おめでとーございま
 す！

解けばスッキリ！

クロスワードパズル



- 【ヨコのカギ】
- ①爪
 - ②〇〇が成立する
 - ⑦ドア⑧汚れ
 - ⑨ストライキの略
 - ⑫外国
 - ⑬ドイツの磁器
 - ⑭対になっていること
 - ⑮海産物の総称。
 - ⑯百円〇〇。
- 【タテのカギ】
- ①年の瀬

も	の	ま	ね	さ	や
あ	ど	る	ふ	い	ん
い	へ	ん	る	ん	ば
ぞ	な	か	い	る	く
う	み	ら	き	く	
	と	こ	ぶ	し	い
や	り	く	り	わ	な

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント！
挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-14324 熊野市井戸町1-150 熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
挑戦期限 平成25年1月31日(木)
前回の答え 「いしやきいも」
 当選者は次の方々です。

介 護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】

1月15日(火) 申込締切

①学習机(椅子無し)

②湯たんぽ

③マツサージチェア ※椅子横の操作スイッチが取れています。リモコンで操作可能です。



【譲ってください】

①子ども用自転車

②乳幼児用おもちゃ

③ベビーカー ④歩行器

⑤チャイルドシート

⑥ベビー用お風呂

⑦子ども用椅子

⑧三輪車 ⑨補助便座

⑩乳幼児用足こぎ四輪車

⑪シャワーチェア

☆登録していただいたリサイクル用品は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。担当 地域福祉係 松田

お知らせ

1・2月の無料法律相談

◆開催日 1月15日(火)

(予約締切1月11日(金))

2月19日(火)

(予約締切2月15日(金))

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田

歳末たすけあい募金への寄付金で 修学支援

ひとり親世帯へのランドセル 購入費助成事業

この春、小学校へ入学されるお子さま

が、いるひとり親世帯に対し、ランドセルを購入する費用の一部を助成させていただきます。詳細については、また決定しておりませんが、左記の「対象者」に該当し、申し込みを希望される方は、ランドセルを購入したことを証する書類(レシート、領収書、振込明細書など)を申請時期まで保管いただきますようお願いいたします。

詳細が決定しましたら、改めて広報させていただきます。

【対象者】①熊野市に在住し、平成25年4月1日に小学校へ入学されるお子さまと

生計を一にするひとり親世帯②市民税非課税または国民年金減免世帯※①、②の条件

をとともに満たす世帯を対象とします。

【対象者】①熊野市に在住し、平成25年4月1日に小学校へ入学されるお子さまと

生計を一にするひとり親世帯②市民税非課税または国民年金減免世帯※①、②の条件

をとともに満たす世帯を対象とします。

【対象者】①熊野市に在住し、平成25年4月1日に小学校へ入学されるお子さまと

短期連載 「3本の柱」

第2回 総務課

組 織が活動するには、人材、資源、資金が必要となります。より安心いただき、充実したサービスをみなさまにお届けさせていただけるよう、組織がもつ

それらの財産を計画的、かつ適正に管理していくことが私たち総務課の仕事となります。日頃はこつこつと事務的な作業が多いため、他の部署と比較すれば、住民の皆さまと接する機会は少ないかもしれませんが、しかしながら、同じ屋根の下で福祉に携わる者として、福祉現場の第一線で働く職員と同じ気持ちで、福祉のまちづくりをすすめていくことを夢見ながら、日々業務を行なっています。必要な人材や材料をしっかりととのえ、自信をもってその活動を広報しながら、みなさまの福祉に対するご理解と協力につなげていければ。

平成18年以降、非常に厳しい財政状況が続いたこともありましたが、振りかえってみると、そろばん片手に資料とにらめっこに重きをおいてきた、という印象があります。明るい兆しが見えつつある中、人・モノ・資金をバランスよく管理することで、また、年明け早々の新号で、課の紹介をさせていただけたこのご縁、少しは神の力をお借りして、より強い社協づくりを目指していきたいと考えています。

とはいっても、組織の中にいれば、いたらぬ点にもなかなか気がつかないことがあります。外から見た社協、みなさまのあたかかい「心」で応援いただけますようよろしくお願いいたします。

総務課一同

あしがき

あ けましておめでとございます。旧年中はつたない紙面でありながら温かくお見守りいただき、ありがとうございました。本年も変わらざる愛顧の程、よろしく願います。

先日ある研修会に参加した時のこと、風邪かなと思いつつも、仕事と割り切り前日現地入りしたのですが、風邪のひきはじめの諸症状が出て、つらい状態でした。早速近くの薬局に飛び込んですぐに良く効く薬と、その効果をさらに上げるドリンク剤を購入し服用しました。さすがですね。高いだけあり、研修もしっかり受講することができました。静養する時間をお金で買ったようなものです。「トキは力ナリ」といいますが、まさしくその通りだなあと思います。

ただ、奥様にいうと、「そんな高いお金払うくらいなら、研修に行かずに家で寝たら良かったのに」といわれそうなので、ナイショですけど、あ、ここで書いてしまうと...



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,545世帯
人口 19,029人 (男8,689人/女10,340人)
65歳以上 7,234人 (男2,879人/女4,355人)

熊野市の高齢化率38.02% (平成24年12月1日現在)

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「別れた後は一旦リセット」

別れがあれば出会いがあります。悲しい別れや辛い別れは、その思いが強ければ強いほど思い出となり、当然ながら良い印象として残ります。逆にせいせいするような別れだと、その時には清々（すがすが）しくても（？）後には残りませんし、どうして清々しかったのかと無意識に考え、悪い思い出ばかりが語られるでしょう。

しかしその反動で、せいせいた別れの後の出会いはたいていなんでもよく思えるもので、別れる前の状況と比較してうれしく思うこともあります。逆に辛い別れをした後の出会いは、快く思えないこともあります。

別れはこれから先の道のりにおいて、精神的な部分で大きく影響します。しかし、出会いに前の別れの責任はありません。いつか来る別れの為に1日1日を大事にします。そして、別れた後は一旦リセット。

新しい気持ちで、なんでも快く受け止めるようにしないとイケませんね。

福祉くまのno.45もくじ

◆2ページ 平成24年度赤い羽根共同募金実績報告、ひとり親世帯へのランドセル購入費助成事業

◆3ページ 社協支部懇談会、連載) 地震に立ち向かえ!、facebook ちょっとのぞいてみませんか

◆4ページ いな

◆5ページ ふれあいレクリエーション大会in木本、連載) 知ってください、社協の事業、解けばスッカリ! クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、短期連載) 3本の柱、熊野市の人口と高齢化率

平成25年3月5日発行

No. 45

平成24年度赤い羽根共同募金実績報告

赤い羽根共同募金運動へのご協力、
 ありがとうございます

昨

年10月1日から実施していただきました「平成24年度赤い羽根共同募金運動」にかかると、皆様のご報告いただき、ご理解とご支援により、今回もたくさんの募金が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

この募金の使い道については、昨年9月5日発行「福祉くまのNo.42でもご案内させていただきましたが、事業完了後に改めて「福祉くまの」およびホームページを通じてご報告させていただきます。



●赤い羽根【歳末たすけあい募金】

職場内での募金やイベント収益など12月に期間を限定して募金活動を行っております。当年度に配分されます。

【24年度の使途概要】

- ①熊野市社会福祉協議会：ひとり親世帯ランドセル購入費助成、市内福祉団体助成

募金方法	金額	内容
職域	17,734円	職場内での募金
イベント	29,600円	歳末チャリティイベントの収益
その他	4,688円	市内事業所に設置させていただいた募金箱
合計	52,022円	

●赤い羽根【一般募金】

各世帯や学校へのご協力依頼のほか、イベント会場での募金活動など、広くお願いさせていただいております。翌年度に配分されます。

【25年度の使途概要】

- ①熊野市社会福祉協議会：ふれあいいいきサロン、社協支部助成
 ②NPO法人まんまんらい：障がい児・者の生活訓練用備品購入

募金方法	金額	内容
戸別	2,261,876円	各世帯皆さまからの募金
街頭	25,731円	駅前や市内スーパー店頭での募金
学校	24,357円	市内各小中学校の皆さまからの募金
職域	42,435円	市役所等職場内での募金
イベント	183,798円	イベント会場（運動会や敬老会など）での募金
その他	71,730円	市内各地に設置させていただいた募金箱等
合計	2,609,927円	

ひとり親世帯へのランドセル購入費助成事業

～歳末たすけあい募金による就学支援～

申

込はお済ですか。熊野市社会福祉協議会では、この春に小学校へ入学されるお子さまがいるひとり親世帯に対し、ランドセルを購入する費用の一部を助成させていただきます。該当する方はお申込忘れのないようご注意ください。

募集要項

◆対象

- 熊野市に在住し、平成25年4月 小学校へ入学されるお子さまと生計を一にするひとり親世帯
- 市民税非課税世帯または国民年金減免世帯
 (①と②の条件をともに満たす世帯)

◆助成額

10,000円を上限とします。

◆申込方法

所定の申込用紙に次の書類を添付してお申し込みください。

- 住民票（世帯全員が記載されたもの）
- 所得税非課税証明書または国民年金が減免されていることを証する書類
- ランドセル購入を証するレシートや振込明細書など

◆申込期限

平成25年3月15日（金）

◆問合せ・申込先

熊野市社会福祉協議会 総務係



社 協 協小阪支部を対象に、迫り来る大震災に備え、ハザードマップを作成して災害が起こった時の地域の状況を知ってもらおうと支部懇談会を開催しました。

一昨年に起きた台風12号の被害状況や要援護者への支援状況、また今後起こりうる被害の想定などを地図に書き込んでいく作業を行い、避難路は安心して通れるのか、土砂災害が起こりやすいのはどこかなどを話し合いました。

災害が起こった時に小阪地区がどのようになるのかを地域の方々と話し合っていた事で、多くの方にボランティア意識を持ってもらい「地域をみんなの力で守っていかねければならない」と参加していただいた方に実感してもらえたのではないかと感じています。

これまでも社協小阪支部は、地域とのつながりを持つために中学生を対象に連鶴作りを教えてくれており、社協支部と中学生そして地域が一緒になって取り組める機会を増やしていきたいと関係づくりに取り組んでいます。

社会福祉協議会としては、このような懇談会が地域にとってより一層つながりがある機会になるよう、各地で活動していきたいと考えています。



連載 地震に立ち向かえ！

今 年度は、防災・減災に関する地域での担い手となるべき人材育成を養成する講座や、地域での支えあいやネットワーク作りを支援する懇談会など、災害に対する知識の習得や意識の向上を目的に、一年を通して活動を行ってきました。

今回の取組みを振り返って、ハザードマップ作りを取り入れた講座を行った時に、参加された方が凄く熱心に話を進めてくれていたのが印象に残っています。参加された方々の住んでいる地域を題材にしたものであったため、身近な物に感じられた事で盛り上がったのだと思います。今後も、地域の方が意見を出しやすく身近に感じられるこの手法を引き続き取り入れながら、タウンウォッチングや避難所運営訓練なども行っていきたいと考えています。

今回参加してくれた方の中には、「これから地域で活動を行うのになった」といつてくれる方もおり、この活動が一步一步前に進んでいることを実感しています。

今後いつ発生するとも限らない三連動地震に対する取り組みは、この地域の住民にとって決して人ごとでは済まされない重要なことです。

来年度も社会福祉協議会は、出来るだけ多くの方に防災・減災に関する取り組みに参加していただけるよう、地域で取り組む自助・共助の活動支援や災害ボランティアコーディネーターの養成など、行政や関係機関と連携しながら企画していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

facebook

ちょっとのぞいてみませんか？

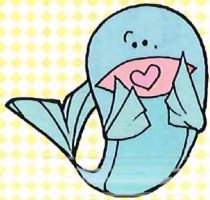
今 流行のfacebook（フェイスブック）。インターネットを介して様々な人々がつながり、情報の共有ができるSNS（ソーシャルネットワークサービス）です。ユーザーは全世界（対応言語70言語）で10億人ともいわれています。基本はパソコンで使用しますが、スマートフォンの普及で、より手軽に誰もが利用できるようになりました。

熊野市社会福祉協議会でも、昨年のホームページのリニューアルに伴い、facebookアカウントを取得し、事業の報告などに活用しています。すでにアカウントをお持ちの方はもちろんですが、アカウントを取得して、のぞいてください。アカウント名は「熊野市 社協」です。



くまのちびっ子ボランティア 新規募集!!

みんなの参加
待ってるよ!



「くまのちびっ子ボランティア」では新規メンバーを募集してるよ。“地域を笑顔に!” そんな活動を目指してるよ♪違う学校のお友達とも仲良くなって、交流の輪が広がるよ☆

ボランティア活動に興味のある子、ぜひグループの一員となって皆で楽しく活動しよう!

対象：熊野市在住の小学生（1年生～6年生）

活動内容：地域のイベントへの参加、他

申込締切：平成25年3月25日（月）

申込先：熊野市ボランティアセンター

※平成25年度の活動内容については「ちびっ子ボランティア会議」で皆で話し合って決めます。会議の日程については、お手紙を送付させていただきます。

※ボランティア活動保険に加入するため、80円の保険料がかかります。

いな



NO.42

熊野市ボランティアセンター
（熊野市社会福祉協議会内）

担当：松田 あき絵

住所：熊野市井戸町1150番地

電話：0597-89-5000

FAX：0597-89-3068

メール：a.matsuda@k-shakyo.com

個人ボランティア 活動紹介

熊野市ボランティアセンターでは、ボランティアグループだけでなく個人ボランティアの登録もあります。社協や地域のイベントにご協力いただける方、熊野市ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください☆



↑平成25年2月3日（日）に開催された「ふれあいレクリエーション大会in木本」で個人ボランティアさんがお手伝いで参加してくれました!

いなえの一言



免許を取得し2年が経とうとしているいなえです。先日、運転しながら歯磨きをしている方がいらっしゃいました。携帯をいじっている方はよく見かけて危ないなあ、と思うのですが、歯磨きを目撃した時は「いつゆすぐん?!」とついツッコミを入れてしまいました。



給食ボランティア 活動紹介

熊野市内の16地区で、毎月給食ボランティアさんが一人ぐらしの高齢者の方のお宅に手作り弁当を届けています。

今回は給食ボランティア・社協井戸支部の活動にお邪魔させていただきました。



手際の良さはさすが主婦!



完成!!

完成した後は、民生委員さんがお弁当を分担して配ってくれました。

お弁当を作った後のお茶会では、「こうして皆で集まるのが楽しいのよ。楽しく活動させてもらってます」と皆さん笑顔でおっしゃっていました。



ふれあいレクリエーション大会in木本



2月3日(日)、木本小学校講堂にて今年度最後のふれあいレクリエーション大会を開催致しました。当日は40名の方にご参加いただき、子ども達の声が講堂に響き渡る賑やかな大会となりました。子ども達の「がんばれー!」というかわいらしい声援に大人たちもほっこりさせられました。前半、あまり点数の奮わなかったチームが後半のお楽しみゲームで大逆転し、大盛り上がりでした。また、社協木本支部の協力で参加賞にほんかん、大会終了後にはぜひご協力・ご参加いただいた木本町の皆さん、ありがとうございました!

来年度も市内の地区3ヶ所で開催予定です。皆様楽しんでもらえるレクリエーションをご用意させていただきますので、お住まいの地区で開催された際には是非ご参加ください。

連載 知ってください、社協の事業

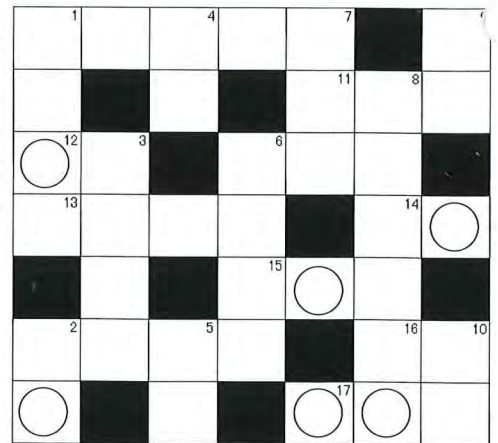
その⑥居宅介護支援(ケアマネジメント)事業
各種介護認定サービスを利用するためには、要介護認定申請による認定(要支援・要介護)を受けた上で、介護サービス計画(ケアプラン)の作成が必要となります。熊野市社会福祉協議会では、飛鳥・井戸・紀和に居宅介護支援事業所を設置し、業務を行っています。

居宅介護支援事業所とは、ケアマネジャーがそれら介護保険に係る各申請の手続きやサービス事業所との連絡・調整、ケアプランの作成等々を行う事業所です。

介護保険制度では「じりつ」という言葉が使われますが、「じりつ」には自立と自律の2種類の意味があると思います。自立は誰かの力を借りずに一人立ちすることですが、自律は人と共存しながらも、自己選択・決定にもとづいて行動していくという意味です。私たちは利用されるご本人が「じりつ」、主役となってイキイキとした暮らしができるよう、また、ご本人とご家族が無理なく、安心した在宅生活を続けられるように少しでもお手伝いできればと思っています。各事業所にケアマネジャーが在籍しておりますので、介護保険制度に関することやご自宅での介護のこと等、電話でもご来所頂いても結構ですのでお気軽にご相談下さい。



解けばスッキリ! クロスワードパズル



【E】のカギ
 ①そろそろシーズンです。②前掛け。③絹や縮緬でできた包み。④山形県、樹氷で有名。⑤大地。⑥フランス語。社会の中で優秀とされ指導的な役割を持つ人間や集団のこと。⑦加熱殺菌処理していないこと。⑧○○○がつく。⑨市場価格。

⑩きめ細かいこと
【タテのカギ】

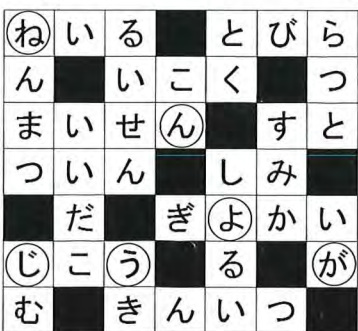
①ワインを選んでくれる人。②細胞が死んでしまうこと。③ものを挟んで止めるもの。④○○人情。⑤ムタに費やすこと。⑥喜多方ラーメン。⑦鰻ときゅうりの酢の物。⑧子供のころからの友人。⑨お坊さん。⑩トン、クシ。

☆○のついたマスは6文字を並べ替えて言葉をつくってください。

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!
挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324熊野市井戸町1150 熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行

挑戦期限 平成25年3月29日(金)
前回の答え 「ねんがじよう」

当選者は次の方々です。
 奥田節子さま、
 阪本壘さま、
 下和田福久美さま、
 竹谷ヨシエさま、
 水上裕太さま でした。
 おめでとーございませう!



リサイクル登録制度

介 護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】

3月15日(金) 申込締切

- ①学習机(椅子無し) ②湯たんぽ
- ③自転車 ④自転車 ⑤簡易ベッド



◆「譲ってください」の制度が変わります

「譲ってください」とは…登録いただいた品物が提供された場合、優先的に譲りするという制度です。

改定前：登録期間が無期限。

改定後：「譲ってください」の登録期間を次の福祉くまの発行日までとさせていただきます。福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。※なお、現在「譲ってください」にご登録いただいている方に關しては、5月の福祉くまのが発行されましたら、登録解除とさせていただきます。ご不明な点がございましたら、地域福祉係 までお問合せください。

お知らせ

3・4月の無料法律相談

◆開催日 3月19日(火)

(予約締切3月18日(月))

4月16日(火)

(予約締切4月15日(月))

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係

4月から祝日を営業します

利 用者はじめ住民の皆さまの利便性とサービスの向上を目的に、平成25年4月1日から祝日(1月1日〜3日を除く)を営業させていただきます。福祉に関するご相談や各種サービスのご利用等お求めください。

今後ますますみなさまの熊野市社会福祉協議会として出来る限りのことに精一杯努めてまいりますので、今まで以上のご愛顧のほどよろしくお願いたします。



短期連載 「3本の柱」

第3回 福祉サービス事業課

社 会福祉法第一〇九条に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されている組織の中にありながら、介護保険法や、障害者自立支援法などの制度に沿って事業を展開する営利事業を主に担当する部署です。

社会福祉協議会の中で活動するということは、単に個別の支援というだけではなく、広い視野で地域とのつながりも考慮しながらサービスを提供させていただく大変意義深いものだと感じています。また、事業で得た収益の一部は、社会福祉協議会の運営や、地域福祉事業などで活用し、市民の皆様に還元することでも、冒頭の法律に位置づけられた法人としての役割を少しでも果たせればと考えています。

平成12年から介護保険制度がスタートし、新規に事業を開始される法人様と比べて、事業規模も大きく、また、以前からの事業展開による知名度も高いことで、住民のみなさまから御ひいきにいただいていることをありがたく思います。だからこそ逆に、運営リスクの高い事業や、移動コストなど、採算性を度外視してでも、市内各地の在宅福祉ニーズに対応するべく、これからも努力を続けていきます。

三課の中ではスタッフ(職員)も一番多く、常時一三〇名余りがそれぞれの持ち場持ち場において、市内各所で在宅で生活する方々の、いきいきとした暮らしのお手伝いをさせていただいております。

総務課が社協という組織を「ととのえる」ことに力を入れ、地域福祉課が住民相互が「つながる」福祉の基盤を整備する中、「戸別の安定した生活を「かためる」ことを使命として、今後も職員一同頑張ります。

あとがき

卒 業シーズンですね。本誌宛ての手紙にもそのような近況を書いてくださる方がおられます。なかで「福祉関係の道に進みたい」とのうれしいご意見があり「資格や仕事内容を知りたいです」とありましたので、この場を借りて、「熊野市社会福祉協議会の介護保険事業に必要な資格」について簡単にお答えします。介護保険事業では、介護計画を立てるケアマネジャー(本誌P5参照)は介護支援専門員という資格が、ヘルパーの派遣業務では、現場での活動では訪問介護員資格(2級以上)、利用される方の人数に応じて配置しなければならぬという資格が必要です。また、訪問入浴介護と通所介護(デイサービス)には必ず看護師が必要でありますし、通所介護の生活相談員は社会福祉主事以上の資格が必要です。現在でもこのような感じですが、今後はもっと要件が厳しくなることも予想されます。社会に出てからはなかなか資格を取る余裕(時間と気持ち)が無くなります。もし学校などで取らせてもらえる機会があるなら、取得しておくことをぜひお勧めします。そして、熊野市の福祉向上にお力をお貸しください。(あ)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数	9,526世帯
人口	18,979人 (男8,670人/女10,309人)
65歳以上	7,250人 (男2,882人/女4,368人)

熊野市の高齢化率38.20%
(平成25年2月1日現在)

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「無限の使い道を備えた道具」

多様なニーズに対応するべく、いろいろな用途に合わせて研究開発がすすめられています。一昔前ならひとつのもので応用したり、代用したりと、使う側の発想やコツが求められましたが、現在では“道具がその道を極める”ことで、誰もが同じように良い結果を出せるようになりました。

この時期、新しい場所や未経験の内容の活動を開始する人も多いと思います。今まで積み上げてきたもの、極めてきた道とは全く違うケースも当然あるかと思いますが、しかし、専門技術や知識は高いほうが良いに決まっていますが、同じことを永遠に繰り返す人生などありえません。

新しい境遇や、困難な場面にも即座に、また優しく対応できる、私たちはそんな“無限の使い道を備えた道具”にならなければいけませんね。

福祉くまのno.46もくじ

◆2ページ 特集 平成25年度事業計画・予算

◆3ページ 第8回 社協ふれあいフェスタ、第7回 社協ふれあいミニフェスタ

◆4ページ いな

◆5ページ ふれあいいいききサロングループ紹介、連載) 知ってください、社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、新規採用職員紹介、熊野市の人口と高齢化率

平成25年5月2日発行

No. 46

事業計画

少子化、過疎高齢化が進行する中、孤独死や自殺、引きこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得者の問題、虐待や悪質商法などの権利擁護の問題などが、地域において新たな福祉課題、生活課題となつています。こうした中、平成24年10月、全国社会福祉協議会において、「社協・生活支援活動強化方針」が公表され、地域における深刻な生活課題や孤立などの地域福祉の課題に定める、社協活動の方向性と具体的な事業展開について「行動宣言」と「アクションプラン」が示されました。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを理念とする社協は、地域福祉の課題解決に向けて、役員がこれからの社協活動の方向性やあり方を共有し、行政や地域を巻き込んだ福祉のまちづくりに取り組んでいくことが強く求められています。社会福祉協議会が住民から信頼され、見える組織として事業を展開していくために次の重点目標を掲げ、役員が一丸となって取り組んでまいります。

◆人材、財産の計画的運用と

新会計基準移行に向けた万全な準備

労務、財務において法令に基づいた適正な事務処理を行なうとともに、将来を見据えて計画的に運用すること、組織の安定と健全な経営を目指します。

また、新会計基準への移行は、平成26年度に向けて体制強化を図るとともに、理解と知識を習得し、スムーズな事務処理が行えるよう努めます。

◆地域における課題発掘と

地域力の強化

過疎高齢化に伴う地域力の低下を防ぐため、担い手

の育成や社協支部活動の支援に重点を置き、地域の皆さまと協働しながら地域力の底上げを図ります。また、社協支部長会議や社協支部懇談会、各種研修会の実施により、地域課題の把握や地域福祉の啓発に取り組みます。

さらには、災害に対する取り組みについても継続し、地域とともに考え、学ぶ機会を増やしていきたいと考えています。

◆法令の遵守と地域の連携による

住民から信頼される事業所運営

サービス提供、書類整備など、法令を遵守することに力を入れ、安定した事業所運営を行ないます。

積極的に地域資源を活用、連携を図るよう心がけるとともに、住民からの介護保険以外の相談にも応じ、個別の問題から地域福祉へのアプローチを行ないます。また、利用者の不安に寄り添い、問題を側面から支援し、住民から信頼される事業所を目指します。

予算

平成25年度予算は、総額422,293千円で、前年度当初予算に比して34,737千円の増額予算となりました。介護保険事業の通所介護サービスにおいて、営業日を拡大させたこと（紀和通所介護事業所週4日→5日、新鹿通所介護事業所週2日→3日）等により、介護保険・介護予防収入が増額となつていくことが主な要因としてあげられます。

自主財源の確保に努め、組織経営を安定させることで、継続的に質が高く、満足いただけるサービスを提供していくとともに、地域に還元しながら、福祉のまちづくりを、皆さまとともにすすめてまいります。

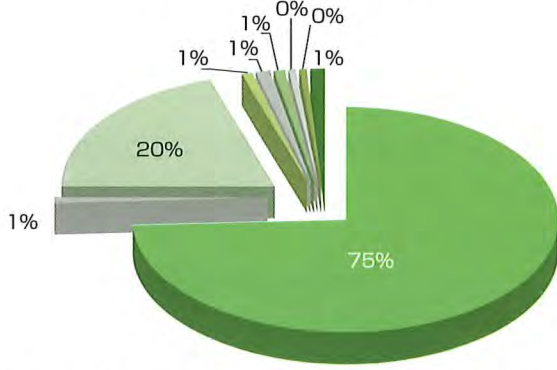
【支出】

科目	金額
人件費	314,789
事務費	6,018
事業費（貸付含む）	83,269
共同募金配分事業および助成事業	2,486
負担金支出	2,945
固定資産取得支出	5,140
借入金元金償還金支出	2,000
その他の支出	2,040
予備費	3,606
支出合計	422,293

【収入】

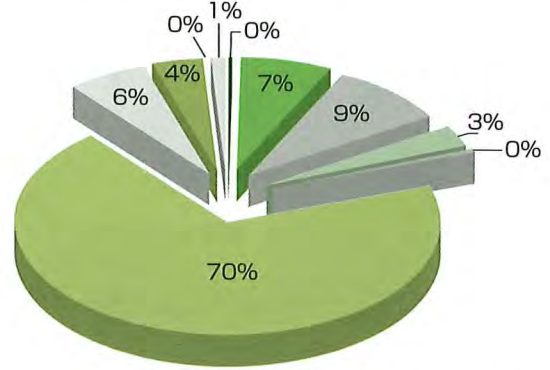
科目	金額
会費および寄付金収入	1,005
補助金収入	29,976
受託金収入	36,485
事業（貸付含む）収入	11,601
共同募金配分金収入	1,500
介護保険・介護予防収入	296,087
障害者自立支援ほか利用料収入	27,200
雑収入	16,437
受取利息配当金収入	2
借入金収入	2,000
収入合計	422,293

支出 422,293千円



- 人件費 (314,789)
- 事務費 (6,018)
- 事業費(貸付含む) (83,269)
- 共同募金配分事業および助成事業 (2,486)
- 負担金支出 (2,945)
- 固定資産取得支出 (5,140)
- 借入金元金償還金支出 (2,000)
- その他の支出 (2,040)
- 予備費 (3,606)

収入 422,293千円



- 会費および寄付金収入 (1,005)
- 補助金収入 (29,976)
- 受託金収入 (36,485)
- 事業(貸付含む)収入 (11,601)
- 共同募金配分金収入 (1,500)
- 介護保険・介護予防収入 (296,087)
- 障害者自立支援ほか利用料収入 (27,200)
- 雑収入 (16,437)
- 受取利息配当金収入 (2)
- 借入金収入 (2,000)

第8回 社協ふれあいフェスタ



今年も恒例の社協ふれあいフェスタを開催します。
 今年で8回目をむかえるフェスタですが、例年どおりテーマを決め、それに沿った内容を考え、開催に向け準備を進めています。
 今年のフェスタのテーマは「人、地域、心をく紡ぐ」に決まり、関係福祉施設・団体、ボランティアの方々的一致団結し、パワーみなぎるフェスタになるように、準備を進めております。是非、ご家族ご友人お誘い合わせの上、ご来場ください。

- ◆ 日時 平成25年6月16日(日)
午前10時～午後1時30分
- ◆ 場所 熊野市保健福祉センター 全館・駐車場
(熊野市井戸町1150)
- ◆ 内容 ステージイベント・各種模擬店・福祉啓発コーナー・ゲームコーナーなど

第7回 社協ふれあいミニフェスタ



この事業は、社協ふれあいフェスタの地域版として、社協支部と社会福祉協議会の共催により開催しています。
 山間部と海岸部を交互に、今年で7箇所となりました。今年度は社協磯崎支部の協力のもと、磯崎町で開催することになりました。
 今回のミニフェスタは、今までに開催されたミニフェスタとは少し趣向を変え、磯崎ならではの内容となっています。午前中は、全員参加型のゲーム大会を行い、大いに盛り上がりいただいた後、午後からは、磯崎の芸自慢の方々による演芸大会を楽しんでもらう内容となっています。
 どのようなミニフェスタになるのか今から楽しみます。
 また、この事業については、社協支部と社協が協力して取り組める貴重な事業ですので、楽しみながら力を合わせ盛り上げたいと思います。
 ※日程等については、実行委員会で検討中です。詳細は、後日地域の方々にお知らせいたします。



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな



熊野市ボランティアセンター

(熊野市社会福祉協議会内)

担当：松田 あき絵

住所：熊野市井戸町1150番地

電話：0597-89-5000

FAX：0597-89-3068

メール：a.matsuda@k-shakyo.com

楽しかったよ!

小学生

給食ボランティア体験



熊野市内各地で、ひとり暮らしのお年寄りのお宅へ手作りのお弁当を届けている給食ボランティアさんの活動を、五郷町の小学生が体験しました♪
この事業は、自分の地域で活動しているボランティアさんや利用されている方との交流を通じて、自分たちの地域をもっと知って欲しい、そんな思いから毎年市内各地で開催しています。今回参加してくれた小学2年生の女の子は、盛り付けから配達まで、とても頑張ってくれました。



給食ボランティアさんに盛り付けかたを教わりました。



配達先のおじいちゃんとおしゃり☆



お弁当といっしょに手書きのメッセージカードも作りました♪

ご協力いただいた社協五郷支部、民生委員、給食ボランティア「ほほえみ会」の皆様、本当にありがとうございました。

助成金情報

みずほ教育福祉財団

■助成対象団体

- ①ボランティア数10名~50名程度
- ②結成以来の活動実績2年以上

■助成対象活動

- ①高齢者支援を目的として地域で実践している活動
- ②地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となる活動
- ③今日のニーズに対応した内容で継続性の高い活動

■助成金額・対象用具・機器

- ・1グループ10万円
- ・ボランティア活動に継続的に使用する用具・機器類

■応募先・締切

- ・(財)みずほ教育福祉財団
- ・平成25年5月24(金)当日消印有効

三重ボランティア基金

■助成対象団体・活動

- ①社協のボランティアセンターに登録している団体
- ②福祉の向上を目的とした活動が計画の継続的に行われている団体

■助成金額・対象器材・器具

- ・1団体20万円(助成累計額20万円)
- ※この助成を既に受けた団体について、助成を受け5年が経過していれば申請できるようになりました。
- ・福祉活動を目的としたボランティア団体の基盤強化を図るための器材・器具

■応募先・締切

- ・ボランティア団体として登録している社協
- ※社協の推薦が必要なため
- ・平成25年6月7日(金)必着

いなえの一言

「いな」はボラ(魚)の子どもです。まだまだ未熟だけど、ボランティアさんや地域の方と一緒に成長していきたい...そんな思いで生まれたキャラクターです。
今年の熊野市ボランティアセンターの目標は「沢山のボランティアさんと関わる!」です。活動される際には、是非お声かけいただけると嬉しいです(^^)



ふれあいいきいきサロングループ紹介

社協ではふれあいのまちづくり事業の一つとして、地域住民が集い、楽しい仲間作りの活動を積極的に取り組んでいる、または、取り組みとしてしているグループに助成を行っています。今年度は新規で2グループ(なかよし会・メリーさんちでしよう会)に助成させていただくことになりました。今回はその内の1グループ「なかよし会」を紹介させていただきます。

- ◆グループ名 なかよし会
- ◆代表者 間部 英美さん
- ◆活動日・活動場所 第1火曜日(熊野文化圏教育センター) 第3日曜日(磯崎町ふれあいセンター)
- ◆会員数 15名
- ◆活動内容 昼食作り・食事4~5品(自家製おやつとコーヒー付)・談話・会費制500円(1回ごと)
- ◆活動を始めたきっかけ 認知症予防もありますが、外へ出るきっかけ作りとして始めました。中身としては、なかなか外出に行く事も少なくなってきたので、みんなで集まって料理を作ったり、一緒に食事をして楽しい時間を過ごせたらと考えました。今では、歩きかねている人もこの集まりを楽しみにしてくれ、ほちほち歩きながら集まってくれています。
- ◆今後の活動予定 もっと多くの方に参加してもらい一緒に楽しみたいと考えています。今後は、第3日曜日にはふれあいセンターで開催し、センター周辺の方にも集まってもらいやすいように考えています。(間部さん談)

取材を通して、代表者 間部さんがこの会を本当に楽しんでおられることが良く分かりました。料理を作る事やメニューを考える事、会員さんとの談話、すべてを楽しんでおられることが、他の会員さんにも楽しさや笑顔が波及しているのだからと思います。これからも「なかよし会」の活動を応援していきます。

連載 知ってください、社協の事業

その⑦ 福祉バス運行事業(市受託事業) 鉄道やバスなど公共交通機関が運行されていない地域にお住まいの概ね60歳以上の方や心身に障害をお持ちの方を対象として、医療機関の利用などの便宜を図ることを目的に福祉バスを運行しています。

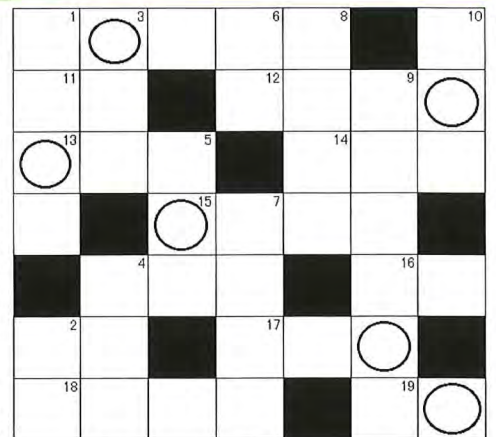
この事業は、平成10年5月に試行運転が開始され、その後、行政より社会福祉協議会が受託しています。現在、育生町(月)、須野・甫母・二木島町(火・金)、神川町(水)、紀和町西山方面(月・金)、紀和町丸山(月・木)、紀和町湯ノ口(水・金)、紀和町上川方面(毎日運行) 紀和町木津呂(火・金デマンド式)と多くの便をその主旨の元、運行しています。

「このバスがなかったら便利悪いから無くさんといてよ」「いつも助かるわ」など励ましの言葉を頂く事もあります。これからも地域の方々が気軽に、また安心して利用できるバスとなるよう、日々努力をしていきますので、何かお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。



大型連休真っ最中、考える時間もたっぶりね。今回も難問づくしよ! さあ、かかってらっしゃい!(かよ)

解けばスッキリ! クロスワードパズル



洋風↑○○。⑱○○○○○抜きの商品。⑲モウとなく家畜

【Eのオカシ】 ①端午の節句に飾ります。②人口が多、商業・交通が発達している地区④あらゆる○○から研究する。

①人や乗り物が行き来すること。②年頭に飲む祝い酒。③原因と結果。④家来。⑤威力をもって脅かすこと。⑥親分。⑦サッシ。⑧数人が一つの作品を読むこと。⑨局地的に降る激しい雨。⑩技術

☆○のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくってください。正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!
挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324熊野市井戸町1150
熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
挑戦期限 平成25年5月31日(金)
前回の答え 「しちりみはま」

当選者は次の方々です。
 宇田百合子さま、
 小畑恵史さま、
 大東己一郎さま、
 津本敏子さま、
 西 忠生さま でした。
 おめでとございます!

そ	つ	ぎ	よ	う	そ
む	り	り	く	ざ	う
え	り	一	ふ	く	ま
え	つ	と	め	は	な
え	ぶ	ろ	ん	ち	か
し		す		み	つ

介護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】

5月15日(水) 申込締切

① 電動バッテリーカー

② 足こぎ乗用カー



※「譲ってください」の登録期間は次の福祉くまの発行日までとさせていただきます。福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 桑原

5・6月の無料法律相談

◆開催日 5月21日(火)

(予約締切5月20日(月))

6月18日(火)

(予約締切6月17日(月))

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田

新規採用職員紹介

介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)受講生募集

介護資格を取得してみませんか?

◆期間 平成25年7月9日～

9月11日

◆受講場所 三重県社会福祉会館

津市桜橋

◆応募要件 県内に住民登録している満65歳未満の方

◆募集定員 40名(多数の場合抽選)

◆募集期間 6月3日～26日

(必着)

◆受講料 無料(テキスト代等)

一部自己負担あり)

◆問い合わせ 三重県社会福祉協議会

059-227-5160

この春、新たに採用した職員4名をご紹介します。

久保貴寛(くぼたかひろ)

福祉サービス事業課
飛鳥居宅介護支援事業所



4月より飛鳥事業所でケアマネジャーとして勤務させていただきました。在宅でのケアマネジャーの仕事は初めてとなり、わからないことが沢山ありますが、地域の皆さまの力になれるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。

桑原 涼(くわばらりょう)

地域福祉課
地域福祉係



初めてのことはかりで毎日が新鮮です。まだまだ戸惑うことはかりですが、初心を忘れずに精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

柴田和輝(しばたかずき)

福祉サービス事業課
井戸通所介護事業所



二年間名古屋で勉強を積み、この春に熊野に帰ってきました。生まれ育った熊野が大好きなので、二年間の勉強を活かし、お世話になったこの町とこの町の人に恩返ししたいと思います。若さを武器に頑張っていきます。

濱田瑞紀(はまたみずき)

総務課
総務係



初めての事に覚えることが多い毎日ですが、皆さまのご指導の下、自分らしく頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

福祉のお仕事してみませんか?

熊野市社会福祉協議会では、非常勤スタッフ(看護スタッフ、介護スタッフ)を募集しています。笑顔と体力に自信のある方、福祉のお仕事に興味をお持ちの方、フルタイムで働くのはちよつと…な方、ぜひともお力をおかしてください。

◆問い合わせ 総務課 総務係

あとがき

ここ数年、調子が悪かった花粉症も今年はなぜか好調です。そういえば、昨年夏の終わりから、ほとんど休みの日は家で過ごすという生活を繰り返してきました。

日に日に暖かさを増すこの季節。冬眠生活(冬)だけではありませんが、を控え、さあ出かけよう。

うーんと、えーと…どこに行けばいいんだろう?…思いつかない…

家の中で1日中過ごす頭痛がしていた昨年夏までの私。いったいどこへ行ったんだろう。でも、花粉症が復活するとまずいので、もう少し冬眠を続けてしまおう。

話かわり、この春新たに4人の仲間が加わりました。みんないい顔してるでしょう。慣れない場所で緊張と不安もあるでしょうが、これから一緒によき夢見る仲間たちです。

それと、この紙面作成もこの号から担当がかわりました。初めてではないのですが、なにぶんプランクがありません。なかなか思うように作業が進まない…。ようやくあとがきまでこぎつけて、肩の荷がおりそうです。

新たな4人とともに温かい目でやさしく見守ってください。(のり)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数	9,438世帯
人口	18,768人 (男8,552人/女10,216人)
65歳以上	7,253人 (男2,887人/女4,366人)

熊野市の高齢化率38.65%
(平成25年4月1日現在)

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター「くましゃん」

福祉 くまの



「風にまかせて」

「素早く、確実に」文明社会に生きる私たちが、目的を達成する上で一番に頭に浮かぶ項目です。便利、快適が当たり前で、技術革新と合わせて更なる進歩を求めます。人間もまた然り、マニュアルなどで標準化、安定を図りながら、活動におけるポイントを速さと正確さに絞り、わき目も振らずまっすぐな感じです。

日本には「風情」「風流」という美しい響きの言葉があります。どちらも雅（みやび）、趣（おもむき）、味わいなど、世俗から離れた優雅さがあり、本来人間が求めるべき、文化的な暮らしの本質である気がします。

世知辛い世の中、のん気に構えてばかりはいただけませんが、心地よい風を感じた時くらいは立ち止まり、行先も身体も風にまかせて歌でも歌ってみませんか。

福祉くまのno.47もくじ

- ◆2ページ 平成24年度事業報告・決算
- ◆3ページ 第8回社協ふれあいフェスタ、
第7回社協ふれあいミニフェスタin磯崎、
家族介護者支援・交流事業「おはなし会」
- ◆4ページ ボランティアセンター情報誌 いな
- ◆5ページ ふれあいレクリエーション大会in神川、
連載) 知ってください社協の事業、
解けばスッキリ! クロスワードパズル
- ◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、
熊野市の人口と高齢化率

平成25年7月5日発行

No. 47

事業報告

～平成24年度事業を終えて～

市内では、平成23年9月の紀伊半島大水害による災害復旧工事が進む中、本会事業の中で、大きな被害を受けた保健福祉センターデイサービス及び飛鳥・五郷デイサービスセンターの施設設備も行政当局のご支援により、順調に復旧し、それまでの間、ご不便をおかけしておりました利用者の方々、地域住民の皆様に対しても、4月当初から通常サービスを提供していくことができました。

活動全般においても、社会福祉協議会（社協）が地域福祉推進の中核的役割を果たす組織として、常に「住民のみなさまの熊野市社会福祉協議会」ということを意識し、職員一人ひとりが社協職員としての自覚と責任をもって、社協の使命である、住民主体の福祉のまちづくり実現のために、地域の様々な関係者と協働しながら、事業や活動の強化を図り、社協基盤強化につなげていくよう取り組んでまいりました。

しかしながら、目的を達成していく上で、地域住民、民生委員・児童委員、行政、関係機関、関係団体等との連携や情報の共有がまだ不十分で、今以上に必要不可欠であること

を改めて認識させられました。

こうした中、法人運営におきましては、社協の経営基盤の充実・強化を図るために一部規則等の見直しや職員による事業運営に必要な検討委員会を設置するなどして組織内の活性化に努めました。

地域福祉活動事業では、地域の様々な福祉課題に対し、地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア、行政などと協力し、地域の実情に応じた活動・事業を展開し、住民参加を主体とした地域福祉の推進に努力いたしました。

介護保険事業等では、介護保険法の改正もありましたが、利用者様のニーズに応えられるよう、既存のサービスの強化・事業の一部見直しを行い、介護従事者の確保が難しくなってきた中、効率的なサービスが提供できるよう、その体制づくりにも努め、皆様から喜ばれるサービスの提供に取り組みしました。

社協を取り巻く環境は厳しくなってきましたが、社協だけでは地域に潜在する福祉課題を解決できるものではなく、地域住民や関係者の皆様とともに課題や問題点を共有し、考え、その課題や問題解決のために既存の事業も含め、今後の事業・活動に反映させて福祉のまちづくり実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

決算

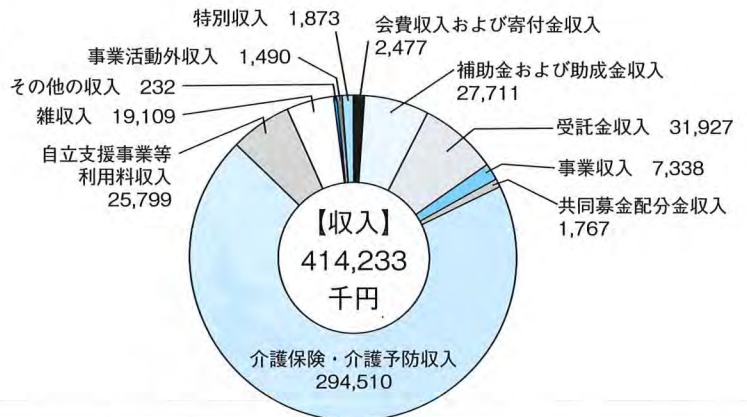
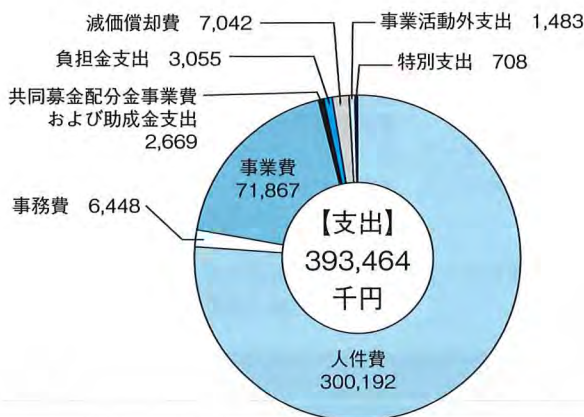
～安定した経営と強い組織を目指し～

事業報告にもありましたように、年度当初から通常のサービス提供が可能となった24年度決算は、おもに介護保険・介護予防収入の増と人件費等の抑制により、20,769千円（資金収支では9,159千円）の収支差額を生み出すことができました。

通所介護事業における営業日の拡充、サービス提供時間の変更等が介護保険関連収入の伸びに、中途退職者の補充時期を見合わせたことが人件費の抑制につながりました。

施設立上げから15年以上経過し、老朽化した設備や車輛など大規模な整備にも一部手を加えることができました。

人・物・金をバランスよく管理し、その質を高めることで、安定した経営と強い組織を目指し、住民のみなさまに、満足と安心いただける質の高いサービスの提供に努めてまいります。



第8回 社協ふれあいフェスタ



人、地域、心々を紡ぐ

今年も、各施設や各福祉団体の協力のもと第8回社協ふれあいフェスタを開催することができました。

今年のフェスタでは、「人、地域、心を紡ぐ」をテーマに地域の特技を持った方や、保育所の子供たちの絵画を展示し、多くの方にフェスタに関わりをもっていただき、つながりを持つことを目的に開催させていただきました。

フェスタ当日は、多くの方にご来場いただき、いろいろなブースのイベントや体験コーナーなどを楽しんでいただきました。突如現れるマジシャンや、おじぞうさんの早描きなど、例年にはない催し物もあり幅広い世代の方々に楽しんでいただけたと思います。

今年も多くの方々に協力で支援をいただき、無事フェスタを終了できました。来年も新しいものをどんどん取り入れながら、事業を進めて参りますので、どうぞよろしくお願ひします。

第7回 社協ふれあいミニフェスタ in 磯崎

地域の力

去る6月1日(土)に、磯崎町の大橋学園熊野文化圏教育センターにおいて、第7回社協ふれあいミニフェスタ in 磯崎が開催されました。ミニフェスタ前には3回の実行委員会を開催し、回を重ねるごとに地元の役員さんの熱も入り、演芸には誰を呼びたいなどイベントを盛り上げるため、地域の皆さんが一丸となって企画内容を検討されました。

当日は、演芸大会を午前中に行い、迫力ある太鼓の演奏を皮切りに、歌に踊り、寸劇など様々な出し物が披露され、会場に訪れた約70名の方々に賑わせてくれました。

午後からは、3人一組のチーム対抗戦でゲーム大会を行い、みなさん真剣にゲームに取り組みながらも笑いあり、喜びありで楽しい大会となりました。

今回のミニフェスタは、いつもと少し趣向を変えた形で開催させていただきましたが、昼食には地元の方がカレーライスを作ってくれたり、地域の実行委員、社協支部役員の皆様の協力の下、すばらしい事業になったと思えます。磯崎町の皆様本当にありがとうございました。



家族介護者支援・交流事業「おはなし会」

「在宅介護で悩んでいませんか？」

「おはなし会」では、介護をしている方や介護を経験してきた方などが、これまでの介護の経験談や趣味の話など、みんな楽しく、時には真剣に語り合い、気分転換や情報共有を図っています。

自宅で介護をしている方からは、こういう集まりがなければ「介護の悩みを話す機会が少ない」、「周りになかなか相談できない」といった介護者の苦悩する一面が聞かれる一方、介護を通して「家族と絆が深まった」、「被介護者が」かわいくてしかたない」など、介護が家族をひとつにしてくれたという方もいます。みなさんの介護を取り巻く環境はそれぞれ違いますが、悩みや苦労は共通している部分も多く、参考になったり、同じ悩みで共感できたりと、「おはなし会」は参加者みんなが多々のことを共有できる場になっています。

現在の参加者は10名程度ですが、できるだけ多くの方々に参加していただけるように、みなさんと相談しながら取り組んでいこうと考えています。

介護をされているみなさんの「おはなし会」へのご参加をお待ちしています。

◆開催日 毎月第4木曜日13時30分(予定)

◆場所 熊野市保健福祉センター

◆申込み 参加を希望される方は、事前にお申込みが必要です。

◆問い合わせ先 地域福祉係 桑原



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いなえ



ボランティアセンター情報誌
みんないっしょに大きくな〜れ!

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 松田 あき絵
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: a.matsuda@k-shakyo.com

「ボランティアグループ白夜」

今回は地域のイベントや学童保育などで活躍する「ボランティアグループ白夜」の活動にお邪魔させていただき、高校生の女の子達の活動取材させていただきました♪

くまのっ子学童クラブでの活動の様子。トランプやドッチボールなど、子ども達と一緒に遊んでいます。



“白夜”とは?

代表の三鬼さんは次のように話してくれました。『“ボランティアグループ白夜”の活動は、夜のように暗い心になっている人を白のように明るくしたいという思いからスタートしました。私達の代では、先輩方の思いを受け継ぎ、自分達も楽しみながら、たくさんの人を笑顔にしたいという目的で活動しています。』



今回はくまのっ子学童クラブでの活動を拝見し、「ボランティアグループ白夜」の方々は、子ども達一人ひとりのペースに合わせ動いているように感じました。自然な接し方が出来ているから、子ども達の笑顔を見ることが出来るのだと思います。一緒に笑い合う姿を見ていて、目的にもある通り、活動を楽しんでいるというのが伝わってきました。

また、地域のイベントでは、みなと祭りや七里御浜に鯉のぼりを上げる活動など、幅広く活動されており、6月16日に開催された「第8回社協ふれあいフェスタ」では、バルーンアートを配布してくれ、短い練習期間の中、見事なバルーンアートで子ども達を楽しませてくれました。

「ボランティアグループ白夜」の皆さん、本当にありがとうございました。

ボランティア活動を支える三重ボランティア基金。熊野市保健福祉センター1階にも募金箱があるので、是非ご協力をお願いします♪

三重ボランティアセンター 基金にぎ協力を☆

手話講座

手と表情で気持ちを伝える手話は、コミュニケーションの大切さを改めて感じさせてくれます。わいわい楽しく学べる手話講座、是非ご参加ください♪

日時: 第1回目 7月19日(金)
第2回目 7月26日(金)
第3回目 8月2日(金)

☆いずれも午後7時～午後8時30分まで。

場所: 熊野市保健福祉センター 1階 第1会議室

内容: 指文字から日常会話まで丁寧に教えてくださいます。

講師: 熊野手話サークル竹の子

参加費無料!!
対象は熊野市内在住の方☆
申込締切は7月10日(水)
熊野市ボランティアセンターまでお申込ください♪

ぼくんといいお講座

ボランティアについて勉強してみませんか? 初心者だけでなく、活動中の方など、もう一度ボランティアについて学びたい方も大歓迎☆

第1回目 7月14日(日) 午後1時～午後2時30分
熊野市保健福祉センター 1階 第1会議室

「ボランティアってなあに?」
講師: 三重県ボランティアセンター
VCO 北出真由美 氏

第2回目 7月18日(木) 午前10時～午後12時
熊野市文化交流センター 多目的ルーム

「チェアエクササイズ」
講師: 熊野市健康・長寿課 中西かおり 氏

第3回目 7月23日(火) 午後1時～午後3時
熊野市文化交流センター 多目的ルーム

「傾聴講座」
講師: 傾聴同好会 会長 開発道代 氏

第4回目 8月4日(日) 午後1時～午後3時
熊野市保健福祉センター 2階 多目的ホール

「バリアフリーのまちづくり講座」
講師: 紀南バリアフリー研究会

第5回目 8月25日(日) 午前10時～午前11時30分
熊野市保健福祉センター 1階 第1会議室

「熊野市のボランティア活動について」
グループワーク

いなえの
短冊



ふれあいレクリエーション大会in神川

「レク」からうまれる
笑顔と地域のつながり

5月26日(日)、神上小中学校体育館において、「ふれあいレクリエーション大会in神川」を開催しました！

この事業は、子どもからお年寄りまで幅広い世代間の交流を図ることを目的に、誰でも簡単にできるニュースポーツやゲームを行なっており、毎年市内3地区程度で実施しているもので、今回は、神川町にお邪魔させていただきました。

大会当日は、神川町にお住まいの子どもから大人まで23名の方にご参加いただきました。

レクリエーションでは、前半1位のチームが後半のお楽しみゲームで大逆転されてしまうなど、ハラハラドキドキの大盛り上がり。表彰式では、1位の賞品の大きさを見た子どもが、「すっげー」と歓声をあげ、笑いが起こるなど、ボランティアのご協力もあり、最後までとても賑やかな楽しい大会となりました。大会を通して、最初は、ぎこちなかったチームが最後にはお互い笑顔でお話をされており、地域のつながりを実感できたと思います。また、社協神川支部から休憩時間にジュースとお菓子の差し入れがあり、参加者全員で美味しくいただきました。ご参加ご協力いただきました神川町の皆様、ありがとうございました。



連載 知ってください、社協の事業

その⑧ 訪問入浴介護事業

高齢や障がいなどにより寝たきりの状態を余儀なくされている方も当然ながら、「ゆつくりお風呂に入りたい」「身体をきれいにして、清潔を保ちたい」という思いがあります。しかし、身体の状態からその思いの実現が難しい場合があります。

熊野市社会福祉協議会では、そんな方々の思いに少しでも応えるべく、訪問入浴介護事業を行っております。ボイラーと浴槽を搭載した特殊車両でお宅へ訪問し、普段生活されている居室で安心して入浴することができます。入浴前には看護師によるバイタルチェックや、ご家族からの状況確認で入浴可能かどうかの判断を行い、より、安全に入浴が行えるように配慮しています。

活動エリアも熊野市内全域にわたり、希望される方がおられたら、海、街、山を問わず、市内どこでもお邪魔しています。(住宅環境などで、浴槽が入らない、事業が安全に行えないと判断した場合、誠に不本意ながらお断りさせていただくことがあります)

この事業は、決して効率の良い事業とはいえず、経営的に見ても事業単位では予算が組めないほど収益性の低い事業です。

しかしながら、外出もままならない方々の「ごくあたりまえの思い」に、少しでも応えることができるこの事業は、地域の皆様の福祉向上を目的とする社会福祉協議会としては、必須事業といえるでしょう。そしてまた、この記事がより多くの方のお目に留まり、応援していただけたら、さらに有益なものになると思っていますので、よろしくお願いたします。

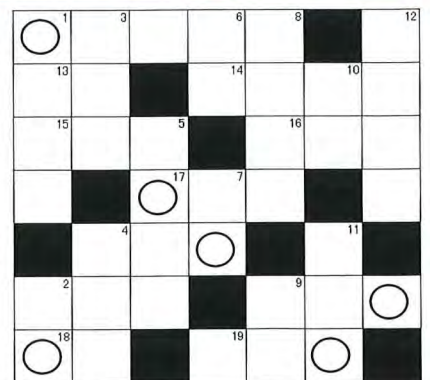


いやあ、しかし、暑(あつ)は夏(なつ)いね〜…あら、おほほほ…コホン、さあ、かかってらっしゃい!(かよ)

当選者は次の方々です。
坂地恵里香さま
松下ふたばさま
森下美純さま
山本重夫さま
吉村真知子さま
でした。
おめでとうございまー!

こ	い	の	ぼ	り	す
う	ん	す	ん	げ	き
つ	が	い	ど	り	る
う	か	ま	く	ら	む
と	し	わ	ふ	う	し
そ	ん	と	く	う	し

解けばスッキリ! クロスワードパズル



「タテのカギ」

代わりにやってみよう!

- ①セリ科の粘りのある食用の草。
- ②今日の次。
- ③ロボット掃除機。
- ④恋愛等のつわぎ。
- ⑤なまこの塩辛。
- ⑥おそれおののく事。
- ⑦粘土同士を接着させるもの。
- ⑧鶏の皮。
- ⑨形状。
- ⑩雪や氷の上を滑らせて走る。
- ⑪高級毛皮。
- ⑫〇〇〇〇組み換え

☆〇のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくらってください。
正解者の中から5名の方にステキな商品プレゼント!

挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
挑戦期限 平成25年7月31日(水)

前回の答え 「かいつしき」

「ヨコのカギ」

- ①本業のかたわら行う仕事。
- ②東北の県。
- ④見かけ、外観。
- ⑤甘い味。
- ⑥着物の衿〇〇。
- ⑦若い女性の袖の長い着物。
- ⑧禁煙する人が増えています。
- ⑨樹木の名前、マルメロともいう。
- ⑩相撲の〇〇〇
- ⑪攻め。
- ⑫石のごく細かいもの。
- ⑬人に頼んで

リサイクル登録制度

介護用品や乳幼児用品を地域でリサイクルしていただく事業です。使わなくなった物や欲しい物がございましたら、お気軽にお問合せください。

【譲ります】

7月15日(月) 申込締切

- ① ベビーベッド
- ② シャワーチェア
- ③ 浴槽用手すり
- ④ 電動ポータブルトイレ
- ⑤ 浴槽内台
- ⑥ マッサージチェア
- ⑦ 加湿器
- ⑧ 除湿乾燥機



※⑥⑧はお問い合わせください

※「譲ってください」の登録期間は次の福祉くまの発行日までとさせていただきます。福祉くまの発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 桑原

お知らせ

7・8月の無料法律相談

◆開催日 7月16日(火)

(予約締切7月15日(月))

8月20日(火)

(予約締切8月19日(月))

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田

熊野市戦没者追悼式

平成25年度熊野市戦没者追悼式を開催します。

戦没者追悼式は、3年に1度開催しており、戦争で亡くなられた方々を追悼するとともに、平和を祈念するもので、ご遺族をはじめ、地域住民の方々にも広くご参加いただきたいと思っております。

多数のご来場をお待ちしております。

◆日時 7月24日(水)

午前10時から

◆場所 熊野市民会館

ありがとうございます



このたび、飛鳥町 更屋恵詞様(前市社協会長)が個人で所有していた音響機材(アンプ、スピーカーなど)一式を寄贈いただきました。熊野市社協が関わる様々なイベント等で有効に活用させていただきたいと思っております。本当にありがとうございます。

介護職員初任者研修

(旧ヘルパー2級)受講生募集

介護資格を取得してみませんか?

◆期間 平成25年9月17日

11月15日

◆受講場所 三重県社会福祉協議会

津市桜橋

◆応募要件 県内に住民登録している

満65歳未満の方

◆募集定員 40名

(多数の場合抽選)

◆募集期間 8月1日~30日

(必着)

◆受講料 無料(テキスト代等)

一部自己負担あり)

◆問い合わせ 三重県社会福祉協議会

☎059-227-5160

あとがき

いよいよ、夏本番。この広報が配布される頃には、熱中症の発生もピークとなります。ご存知でしょうか?

熱中症患者のおよそ半分は高齢者(65歳以上)だそうです。また、屋外で活動しているときだけでなく、室内で特に何もしていないでも発症する場合があります。

夏の電力不足に対して節電の取組みが求められていますが、節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないよう注意が必要です。決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

そして、万が一、熱中症が疑われる人を見かけたら...

①涼しい場所へ避難させる

②衣服を脱がせ、身体を冷やす

③水分・塩分を補給する

※自力で水を飲めない、意識がない場合は、すぐに救急隊要請(厚生労働省チラシから)

自分の体調の変化に気を付けるとともに、周囲の人にも気を配り、予防を呼びかけあいながら、熱中症による健康被害を防ぎ、暑い夏を乗り越えましょう。(のり)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,486世帯

人口 18,806人
(男8,612人/女10,194人)

65歳以上 7,268人
(男2,904人/女4,364人)

熊野市の高齢化率38.65%
(平成25年6月1日現在)

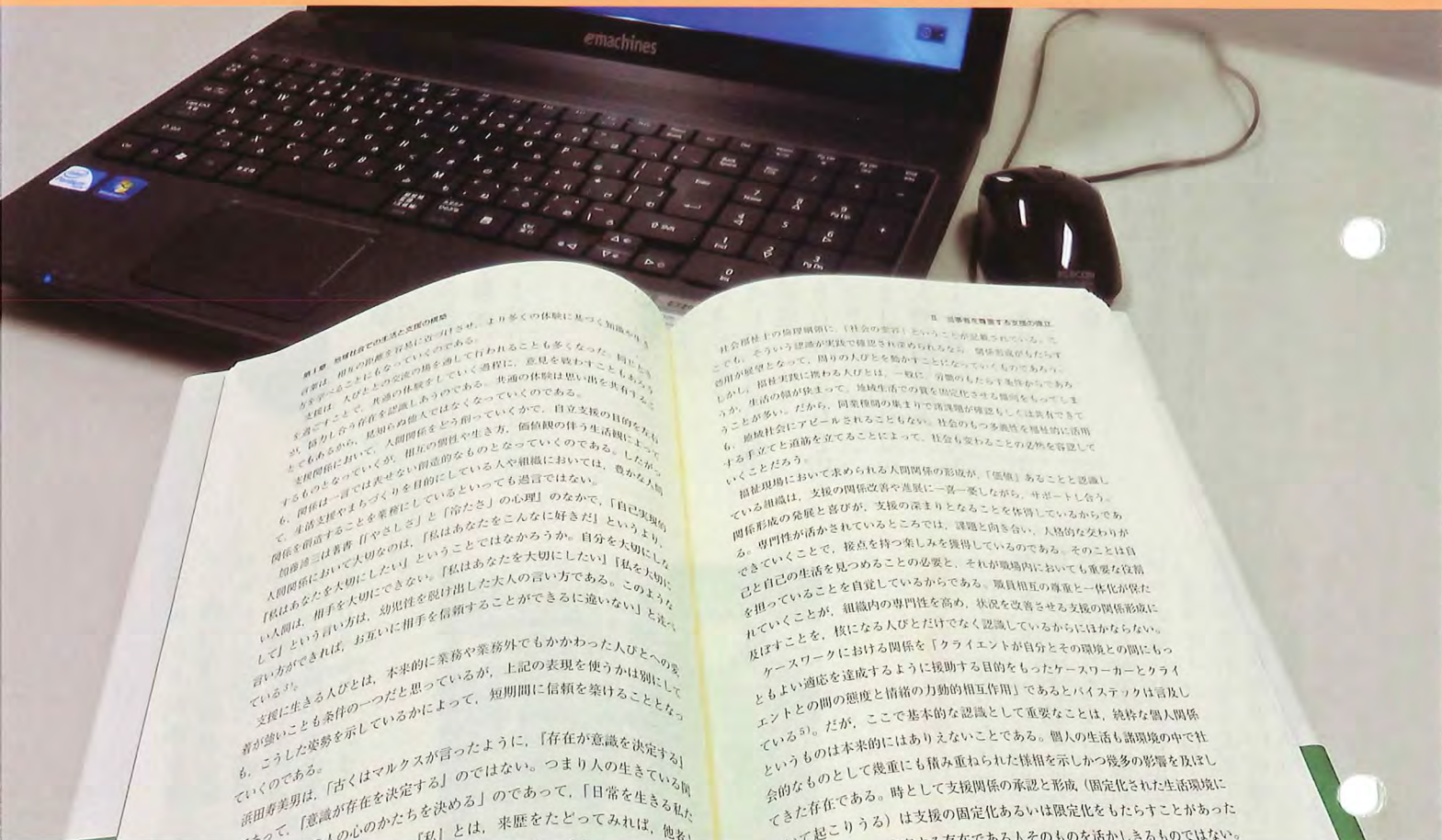
CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター「くましゃん」

福祉 くまの



「入り口は広く、奥行きは深く」

15年ほど前まで私たちの情報収集の手段としては、本を読むことが主流でした。本は、その種類を限定しなければ、老若男女に関わらず誰もが情報を得られる手段です。

現在ではインターネット環境の普及により、実に様々な分野の専門的情報が瞬時に、また、手軽に入手できるようになりました。しかし、「手軽に」はある一定の水準を満たした人たち限定のことばかりであり、その環境のない人や、利用が難しい人たちにとっては非常に敷居が高いものだと思います。

昔も今も「多くの人に何かを伝えて訴える」ことは重要です。会社や組織では、誰もが足を踏み入れる環境を整備し、さらに多くの情報を提供してそれぞれが社会の一員としての役割を果たせるようにしなければなりません。また、個人としても、多くの人とおつきあいをする上では大切な心掛けかもしれません。

入口は広く、奥行きは深く。かくありたいものです。

福祉くまのno.48もくじ

- ◆2ページ 特集) 赤い羽根共同募金運動
- ◆3ページ 特集2) 社協ってなんだろう?
- ◆4ページ ボランティアセンター情報誌 いな
- ◆5ページ 戦没者追悼式、連載) 知ってください社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル
- ◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、新社協支部長紹介、熊野市の人口と高齢化率

平成25年9月5日発行

No. 48

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

町に愛を 胸に羽根を



新たなキャッチフレーズ「町に愛を 胸に羽根を」を掲げ、今年も10月1日から全国各地で赤い羽根共同募金運動が展開されます。熊野市においても、市内各世帯へ戸別募金をお願いするほか、街頭やイベント会場での募金活動、公共施設や大型店舗、その他ご協力いただける事業所等への募金箱の設置を予定しています。今年も市民の皆様をはじめ、区や自治会、町内会、婦人会、社協支部等のみなさまのご協力をお願いいたします。

募金目標額と充当内容



◆平成25年度

熊野市の募金目標額

一般募金

2,584,800円

歳末たすけあい募金

100,000円

◆充当内容

一般募金

○熊野市社会福祉協議会

ふれあいいきいきサロン

600,000円

社協支部活動助成

800,000円

ふれあいフェスタ

200,000円

ランドセル購入費助成事業

160,000円

団体助成事業

40,000円

歳末たすけあい募金

(平成25年度事業)

○熊野市社会福祉協議会

ランドセル購入費助成事業

60,000円

団体助成事業

40,000円

災害時にも…

三重県共同募金会で、県内各市町から寄せられた募金の一部を災害準備金として積み立て、三重県内で災害が起きたときに役立てられています。



一昨年の台風被害時には、熊野市にも災害ボランティアセンター運営資金として配分され、まちの復興に役立てられました

配分先は社協だけでなく…

NPO法人まんまんらい様では、障がい児・者の生活訓練用備品購入費として平成25年度に配分(平成24年度申請)を受け、一昨年の台風被害により全壊した備品(ガスオーブンの買い替えに活用されました)。ガスオーブンは、パン製造やお菓子作りを行なうために使われ、それを通じて利用者の皆様の日常生活訓練や社会参加活動等に役立てられています。スタッフの皆様から「大変

お気軽に募金…

熊野市保健福祉センター内玄関横に、募金機能付飲料水自動販売機(ハートフルベンダー)を設置しています。募金ボタンによる募金のほか、売上の一部が赤い羽根共同募金として寄付される仕組みとなっています。センターにお越しの際には、ぜひともご利用ください。



助かっています。ありがとうございます。と感謝の声をいただきました。」





なんでも聞くんじゃぞ
五郎ちゃん。



社協について教えて
くましゃん博士。

社協ってなんだろう？

社協（しゃきょう）って何
するところなの？

まちに住む人みんなが、い
つまでも、幸せに自分の家で
暮らせたらいじやろ。住ん
でる人たちと協力しながら、
そんなまちづくりをしていく
のが社協なんじゃよ。

いつまでも、幸せにかあ…

五郎ちゃんは、いま、心配
なことや困っていることはな
いかね？

学校で今度、逆上がりのテ
ストがあるんだけど、うまく
できるか心配なんだけど…

そうかあ。できる人にとっ
ては、どうってことなくても、
それで五郎ちゃんは困ってる
んじゃな。誰かにそのことを
お話したのかな？

友達に話をしたら、放課後
一緒に練習してくれて、逆上
がりのコツを教えてくれた
よ。

ほう。五郎ちゃんが、うま
くできるように助けてくれて
いるのじゃな。

うん。プールの潜水のコツ
を教えてあげたことがあつた
から。そのお返しだつて。

それじゃ！ お互いに助け
合つてうまくできるようにや
るつて、とつても大切なこと
なんじゃよ。まちづくりも同
じなんじゃ。『困つてるとき
には支えてもらい、困つてる
のを見かけたら支える。』こ
れこそが、とつても大切なこ
とで、まち全体がそうなるよ
うにいるんな工夫をしている
のが社協なんじゃよ。

そういえば、隣のおじい
ちやんの家に弁当が届けられ
るのを見たことがあるよ。

それは「ふれあい給食サー
ビス」といつてな。一人暮ら
しのおじいちゃん、おばあ
ちゃんの家、食事を作つて
届けているんじゃよ。

どれくらいの家で作つて届
けているの？

多い時では、だいたい
900件くらいのお。

それ全部職員さんがやつて
るの？大変だねえ。

いやいや、やつているのは、
職員ではないんじゃ。いろん
な人たちが協力してこのサー
ビスは成り立つておる。誰が
欲しがつておるか調べない
といけないし、もちろん材料
の買い物、献立、調理、配達
もせんといかん。それらのこ
とをやつてくれているのが、
各地区にいるボランティアの
人たちなんじゃ。

へえ、でも材料をかうお
金つて？

お金は、市が出してくれて
おる。このように、市が必要
とみとめる社協の事業に対し
て、お金を出してくれるもの
を「補助事業」というんじゃ。

地域にとつてボランティア
アつて大切なんだね。

このサービスのように、地
域で活動してくれる、さまざ
まなボランティアを育ててい
くのも社協の役割の一つじゃ
ぞ。いろいろな講座を開いた
り、地域の会合に出向いたり
して、福祉に対する理解と関
心をもつてもらおう働きかけも
必要じゃ。地域の中での支え
あいができるようになる。

ぼくたちにもできることつ
てあるのかなあ？

大きなことはできなくても
いいんじゃ。自分でできる範
囲でやるのが、長く続くコツ
じゃぞ。五郎ちゃんにもでき
ること、五郎ちゃんだからこ
そでできること、きつとあるは
ずじゃ。

社協には、ボランティアセ
ンターがあつて、小学生を対
象とした『くまのちびっこボ
ランティア』なんかもあるの
で、一度相談してみるのがい
いかもしれんのお。

災害で、まちに大きな被害
を受けたところでは、たくさ
んのボランティアが活躍して
いるのをテレビで見ただけ…

大きな被害を受けると、全
国各地、海外からもボラン
ティアがくるほどじゃ。ボラ
ンティアを被災地へ派遣し
て、被害を受けた人たちが1
日も早く元の生活に戻る
ように調整するのが『災害ボ
ランティアセンター』。そ
れも社協の役割の一つとなつ
ておる。

社協つていろんなことをし
ているんだね。

おじいちゃん、おばあち
んのお世話をすることだけ
が「福祉」ではないんじゃぞ。
まちに住む人みんなの幸せを
考えることが、福祉じゃ。
みんなが幸せになれるよう
に、一人ひとりの力を合わせ
ていければのお。

ところで、今度の逆上がり
のテストは、うまいきそつ
かのお。

あーん、せつかく忘れてた
の…

え？ 流利的にそこは、「う
まいきそつな気がしてき
た！」じゃろが。

ははははは。

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 松田 あき絵
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: a.matsuda@k-shakyo.com

いな

No.45

ボランティアセンター
イメージキャラクター
いなえ



☆ボランティア紹介☆

「大正琴ウィズ」

「大正琴ウィズ」は、平成6年に、現在、熊野を離れている大井史恵先生が立ち上げ、10数名でスタートした全国で最大の流派「琴伝流」に属する大正琴グループです。現在メンバーは16名で、週に1度練習を行い、大井先生も年に数回指導に駆けつけてくれます。主な活動として、大会やコンクール等への参加、敬老会や施設へ慰問に行かれるそうです。

施設慰問の際は、演奏者も利用者の方も一緒に楽しめるように、観客の年齢層に合わせてメンバーで相談しながら曲選びをされるそうです。亀楽苑さんに慰問された時の様子をスタッフの方にお聞きしたところ、「全8曲も演奏していただき、利用者の方はその素晴らしい演奏に感動されていました。また、利用者の中には大正琴をしていた方もみえて、懐かしく思われたり、思い出の曲に涙される方もいらっしゃいました。」とのことでした。

設立当初から活躍されているメンバーは2名になってしまったとのことですが、新しく入ったメンバーにも、皆が一緒に楽しむという「ウィズ(with)」に込められた想いは受け継がれており、これからも素敵な音色を届けてくれることと思います。



紀南ひかり園さんの2階で練習されています。



各パート(テナー・ベース・アルト・ソプラノ)に分かれての練習の様子です。



亀楽苑さん慰問時の様子です。

熊野市ボランティアセンターへの登録について☆

熊野市ボランティアセンターは、皆様の活動を応援しています☆

ご登録いただくと...

- ★ボランティアの斡旋
 - ★講座や助成金情報の提供
 - ★ボランティア活動保険への加入
 - ★熊野市ボランティアセンター登録証の発行
- ⇒詳しくはお問合せください。

ぼらんていあ講座のご報告☆

全4回のぼらんていあ講座を開催いたしました!

48名の方にご参加いただき、内18名の方が修了されました! 今回の講座はボランティアについてのお話、座って行なう体操、傾聴の仕方、バリアフリーのお話と、色んな講座を取り入れさせていただき、参加者の方からも楽しかったとの感想をいただいております☆
また、個人ボランティアとしてご登録いただいた方もいらっしゃって、今後、地域での活躍が期待できそうですo(*^▽^*)o

ご参加いただいた皆様、講師の皆様、ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました!

第3回目
「傾聴ボランティア講座」

第2回目
「チェアエクササイズ」

第1回目
「ボランティアってなあに?」

第4回目
「バリアフリーのまちづくり講座」

いなえの一言

可愛らしいコスモスの花言葉は「乙女の真心」「美麗」だそうです。ふと、私も自分の誕生花を調べてみたら、なんと! 「優美」だそうです。ぴったりな花言葉が出てきて嬉しいいなえちゃんなのでした(*^o^*)♪



戦没者追悼式

7月24日、熊野市戦没者追悼式が熊野市民会館において厳かに開催されました。当日は、熊野市遺族会の会員ら約三百人が参列し、日清戦争から第二次世界大戦にかけて犠牲になられた、千四百九十柱の御霊のご冥福を祈り、恒久の平和を誓いました。

式典の中で、遺族会遺児代表の庄下雅也さんは、戦後の苦しかった生活を振り返り、「これからは、遺児が中心となり、孫や多くの人が参加していただける式典とし、ご英霊の顕彰に努め、国の平和と安寧に努めてまいります。」と追悼の辞を述べられました。

そして、ご来賓と各地区遺族会代表の方々が、壇上にて献花を行い、参列された皆様は、犠牲になられた戦死者の御霊に対し、熊野市の繁栄と平和を祈念しました。

今、私達の豊かで平和な生活があるのは、祖国を思い、その身を犠牲にされた戦没者諸霊、その後、戦後の混乱の中を生き抜いてこられた先人の努力の上にある事を肝に銘じ、福祉に富んだまちづくりを市民の皆様とともに進めていきたいと思えます。



連載 知ってください、社協の事業

その⑨ 社協なんでも講座

社協なんでも講座とは、地域の方々からの福祉に関わることや簡単な技術などを勉強したい、体験したいといった声をもとに、なんでも講座にしてしまおう企画のことです。

一番人気は、小学校や中学校からの依頼が多い、車椅子体験や高齢者疑似体験です。疑似体験では、介護の技術を知ってもらうだけでなく、年齢による体の変化を知ってもらうため、装具を着けて負荷をかけたり、関節を動かして体感を行います。体験した方からは、「こんなに高齢者の方はしんどい思いをしているのか」「普段出来ることが難しく感じる」などの意見が多く聞かれ、貴重な体験となっているようです。

最近では、老人クラブやサロン活動の中でレクリエーション講座として参加させていただくことが増えてきました。指遊びや歌を使った遊び、簡単なゲームを行い地区の方々と楽しい時間を過ごしながら、レクリエーションの楽しさや手法を学んでもらっています。

他にも、パソコン講座や地域福祉に関する講話などを揃えています。地区の集会から少人数の集まりまで、呼んでいただければどこでもお伺い致します。開催している講座の種類は次のおりですが、その他の内容についてもご相談により対応させていただきます。みなさんのご利用お待ちしております。



- 高齢者疑似体験○車椅子体験○視覚障がい者疑似体験○地域福祉関係の話○ボランティア関係の話
- レクリエーション講座○初級パソコン教室など

お問合せは、地域福祉係まで

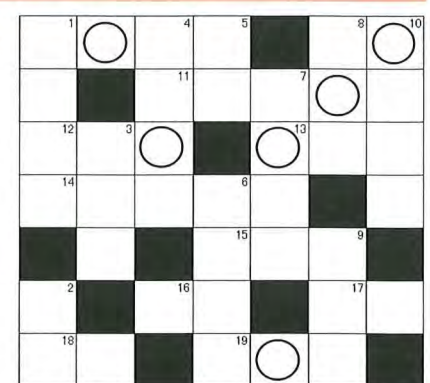


食欲の秋ね。ダイエットは少しおあずけよ。さあ、かかってらっしゃい！（かよ）

おめいじいちゃんさー！
 当選者は次の方々です。
 芦田加代子さま、
 小畑麻衣さま、
 西りょうさま、
 森下花子さま、
 山本重夫さまでした。

あ	る	ば	い	と	い
し	ん	ふ	り	そ	で
た	ば	こ	か	り	ん
ば	の	ど	わ	し	
う	わ	べ	み		
あ	き	た	か	ん	み
す	な	い	た	く	

解けばスッキリ！ クロスワードパズル



【ヒントのカギ】
 介添え

- ①荷物などを運んで送ること ⑧任務を負わされること ⑪学生が卒業後にする親睦会 ⑫現行犯〇〇〇 ⑬乳幼児を養い育てること ⑭ウルシ科の蕁植物 ⑮レンズの焦点 ⑯鳥の赤ちゃん ⑰雨の多い季節 ⑱アップル〇〇 ⑲1,2,3...
- ☆〇のついたマスに6文字を並べ替えて言葉をつくってください。

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント！
挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、
 〒519-4324 熊野市井戸町1150
 熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
挑戦期限 平成25年9月30日（月）
前回の答え 「あへのみくす」

- 【タテのカギ】
- ①商品等をおて先に届けること ②鉱泉、温泉 ③霊の口寄せをする巫女 ④事の成り行きをすばやく知らせること ⑤表の反対 ⑥マメ科の花、別名ノボリフツ ⑦物を前へおし進めること ⑧油断して失敗すること ⑨酒造りの職人の長

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、リサイクルしていただく制度です。使わなくなったものや欲しいものがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【譲ります】 9月16日(月) 締切

- ① 電動ポータブルトイレ
- ② 浴槽用手すり
- ③ マッサージチェア
- ④ 足湯器



※「譲ってください」の登録期間は次の福祉くまの発行日までとさせていただきます。福祉くまの発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 桑原

お知らせ

9・10月の無料法律相談

開催日 9月17日(火)

(予約締切9月16日(月))

10月15日(火)

(予約締切10月14日(月))

相談員 堂前美佐子 弁護士

会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田

無料成年後見相談会

一般の方にもご参加いただけます。

日時 平成25年9月21日(土)

午前10時～午後4時

場所 三重県司法書士会館3階

津市丸之内養正町17-17

相談内容 老後の心配ごとや財産

管理・生活支援などに関する成年後見制度

の利用についてのご相談等

相談方法 面談(予約不要)及び

電話相談

(代表059-2246-6577当日のみ)

主催 三重県司法書士会、リーガルサポートみえ、三重県社

会福祉士会

◆問い合わせ 三重県司法書士会

059-2246-5171

新社協支部長紹介



社協井戸支部長
大江 文章

この度、思いがけず社協井戸支部長という大役を引き受けさせて頂くことになりました。長年にわたり支部長を務められ、地域福祉に貢献されました森岡前支部長のこれまでのご労苦と責任の重さを日増しに感じているところです。

今後は、諸先輩のご指導を頂きながら、日頃からの絆を大切に、支え合い助け合う地域福祉活動の推進に向けて、支部役員、民生委員、福祉委員をはじめ関係団体の皆さんと連携・協力して、地区のために一生懸命頑張りたいと思います。地域の皆さんの支部活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



社協木本支部長
北本 誠二

私はこれまで数年間、社協木本支部の運営に関わってきましたが、今回高本前支部長から引き継ぐ事になりました。私には荷が重過ぎますが、これからはやっつけなければならぬ事もたくさんあると思います。先輩方や地域の方々のお力をお借りして頑張らせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

あとがき

「今年の夏は暑かった。」ここんとご毎年このセリフを言っている気がします。気温のせいなのか、齢のせいなのか、体力的にも年々厳しくなってきたような...

そんな私も、年が明けると介護保険の第2号被保険者の仲間入り。「40歳ならまだまだ」との声も聞かなくてさうですが、20代の気持ちに40の肉体は、やはり重く感じます。

この広報誌が発行される頃には、ちょうど職場の健康診断も終えたところで、結果待ちの状態です。また、その頃には幾分涼しくなっているでしょうか。

体を動かすのは嫌いではないので、健康と体力維持のために何かしら運動を始めてみようか。

幸いにも今のところ、メタボにはなっていませんが、20代と比べると確実に成長してしまってお腹まわり。

でも、運動するとなると... いくつか、帰宅後すぐに冷蔵庫に向かうのが日課となった晩酌を控えなければいけません。むしろ、運動を始めるまでの方が、とても険しい道であるように思えます。(のり)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,490世帯

人口 18,773人
(男8,600人/女10,173人)

65歳以上 7,277人
(男2,904人/女4,373人)

熊野市の高齢化率38.76%
(平成25年8月1日現在)

CLICK

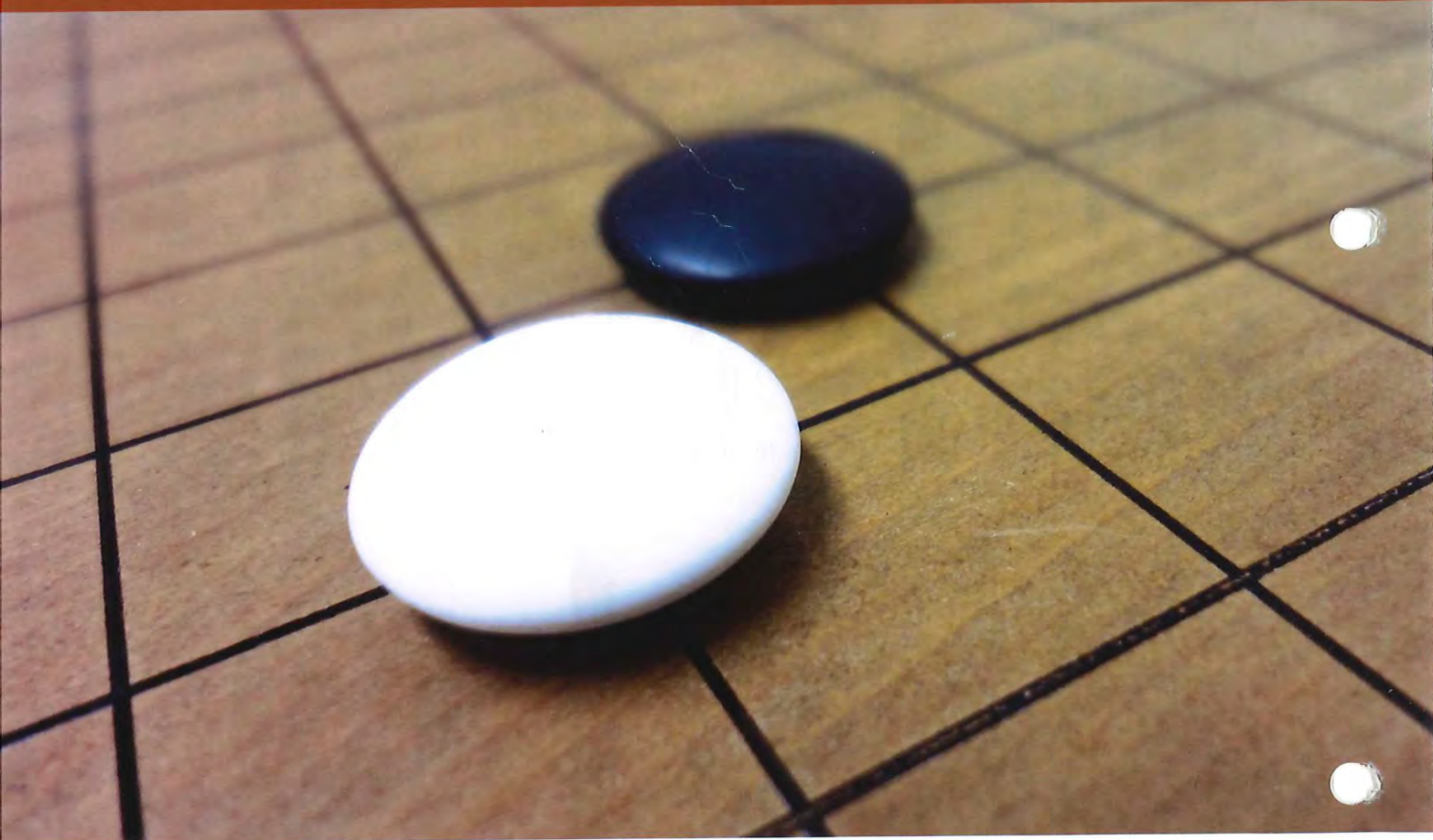
熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉

くまの



「磨いて光る黒に」

白いものは経年により汚れなどで少しずつ黒に近づいていきます。一般的には白がスタートで、色が濃くなっていくにつれ、終わりが近づいた感がありますが、黒もつきつめていき、さらに磨けば、まぶしい白とは違う、深みのある光を放ちます。

人間も同じではないでしょうか。生まれたときは真っ白で無条件に誰からも愛されますが、年齢を重ねていけば、様々な問題が生じます。しかし、その経験を積むことによって、人間としての色の深みを増していきます。

気をつけなければならないのは、意識して黒くなっているかということ。悩んで、考えて、挑戦して、時に失敗して、成功から得た経験は、人間としての深みであると思います。

ただなんとなく年月が経っての黒ではなく、磨いて光る黒にならなければなりませんね。

福祉くまのno.49もくじ

◆2ページ 特集) 社協支部活動と福祉委員

◆3ページ 高齢者慰問事業

◆4ページ ボランティアセンター情報誌 いな

◆5ページ ふれあいレクリエーション大会 in紀和、連載) 知ってください、社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、新規採用職員紹介、熊野市の人口と高齢化率

平成25年11月5日発行

No. 49

はじめに

社会福祉協議会(以下、社協)は、昭和26年の戦後混乱している時代の中で、地域住民の社会福祉活動を推進するために全国・都道府県単位で誕生しました。

それ以降、各市町村にも組織が拡大され、住民の地域福祉活動への参加・協力をすすめながら、平成12年には社会福祉法の中に、社協は地域福祉活動の推進を図ることを目的とする団体として位置づけられました。

そんな中、当市においても社協を設立し活動を行う上で、多種多様なニーズに対応するために、より小地域での福祉活動と住民の協力を得るために、昭和48年より、市内の小学校区(18校区)に地元住民主体の活動組織団体、熊野市社会福祉協議会支部を各地区に設置しました。また平成17年11月の熊野市、紀和町との合併を機に、平成18年4月に紀和町にも社協支部を設置しました。

社協支部とは

少子高齢化が進む当市では、それぞれの地域において様々な生活

課題や福祉問題が浮き彫りになってきています。すべての課題を公的なサービス(介護保険事業や行政関係の施策、その他民間の福祉に関わる施設や団体)だけで解決は出来ないと思います。また、一人で出来ることにも限りがあります。

そのため、自分たちの住んでいる地域の生活・福祉課題を地域の問題として受け止め、地域住民が主体となってお互いが協力し、課題解決に向けて取り組んだり、関係機関と連携・協働しながら協議し解決に向けて取り組み、「誰もが安心して共に暮らせる福祉の町づくり」を目指しているのが、社協支部です。

社協支部の構成メンバーは

地域によって、構成メンバーが異なりますが、主に、区、自治会、町内会の役員をはじめ、民生委員、児童委員、福祉委員、老人クラブ、婦人会、公民館長など、地域の様々な組織、団体、個人等で構成され、ボランティアとして活動していただいています。



社協支部の活動は

各社協支部の生活・福祉課題は、その地区の風土や生活環境などによって異なります。それぞれの状況に合わせ、専門機関や自治会、婦人会などと協働し、課題解決に向けて住民が主体となって福祉活動を実践しています。

- ☆見守り……友愛訪問
- ☆知らせる……社協支部だより
- ☆ふれあう……ふれあい給食サービス・敬老会・いきいきサロン・ふれあいミニフェスタ
- ☆支援……ボランティア交流会
- ☆協力……赤い羽根共同募金運動

社協支部と市社協の関係

市社協は、社協支部の活動に必要な助成、情報提供、社協支部との連絡調整などの支援を行っています。また、社協支部長会議を年6回開催し、各社協支部で対応、解決が困難な問題や課題について協議し、解決策を考えるなど更なる地域福祉の推進を目指しています。

祝敬老会



地域の大切な存在「福祉委員」

福祉委員の皆さんには、地域での見守り活動や敬老会など事業を通じて、社協支部や民生委員と連携しながら地域福祉活動を行うという役割を担っていただいています。

高齢化が進む熊野市の中で、最も住民に近い立場で、福祉活動を隅々まで行き届かせられる大切な存在が福祉委員です。

現在、市内各支部から推薦され、熊野市社協会長が委嘱した約二百六十名の福祉委員が活動しています。今から約二十年前、地域の皆さんが行っていた近隣の高齢者などへの見守りや声かけなどの活動を通して、地域の状況をより把握できるように体制強化を図りたい、福祉活動の担い手を増やしたいとの目的で始まったもので、これにより、柔軟な福祉活動が展開できる仕組みが作られました。

これまで、多くの方々に福祉委員を委嘱し、地域で活躍していただけてきましたが、その活動にはこれといった決まりがありません。

つまり、見守り活動をしてもらっている支部、支部会費などの集金や敬老会等の事業に協力してもらっている支部など、地域の実情に合わせて多様な活動を行って

きた、福祉委員の皆さんのボランティア精神のもとに成り立つ地域福祉活動です。

これからの福祉委員活動

熊野市では少子高齢化が進み、今まで地域福祉を実践してくれていた方々もその波にのまれつつあります。また、景気の悪化もあり、若い世代は生活することに精一杯で福祉にまで協力する余裕が持てないといった現状もあり、今後、地域の福祉力が弱まってしまいうことが危惧されています。

そのような中で、福祉委員は、地域福祉の裾野を広げられる大切な存在であり、誰もが協力しやすいボランティア活動であると思えます。また、地域のことに対し目を向けていただける方であれば、誰でも活躍することができる役割のひとつでもあり、少しずつでも多くの方々に関わっていただければ、誰もが安心して暮らせる地域にすることができると思えます。

これからは、より多くの方々に福祉委員について知っていただき、地域の方々に協力してもらえ、環境を整えるとともに、福祉委員の皆さんには、地域の福祉力が

維持できるように、できることを出来る範囲で、これからも地域に根付いた活動を続けていただきたいと思えます。



おわりに

市社協では、誰もが安心して暮らせるように活動を進めており、みなさんのお住まいの地域でも、社協支部の活動は日々行われています。ひとりひとりの思いやりや親切がより良い地域を作っていくと思えますし、直接活動に関わらなくても、何か一つでも簡単にできる所から思いを動かし、地域の福祉を考える機会を作っていただけると幸いです。皆様の声から始まる活動もあります。何かお気づきのことがあれば最寄りの社協支部にご相談ください。

高齢者慰問事業

今年、満95歳を迎える方を対象に、熊野市長、熊野市副市長、熊野市社会福祉協議会長、熊野市民生委員児童委員協議会長等がお宅に訪問し、ご長寿のお祝いをさせていたたく事業を、平成25年9月17日におこないました。今年の訪問対象者は15名おられ、当日は、4つのルートに分かれて訪問させていただきました。訪問すると、家族の方が集まってくれているところもあり、家族の方も、母親や父親への長寿のお祝いに対して心待ちにしてくださっているんだと感じ、温かい気持ちになりました。

現在も、畑に出て作業をされている方もおられたり、一生懸命リハビリをされ、「歩けるようになったんや」と、喜んで話をしてくれる方もおられました。お元気な様子を伺うことができ、長寿をお祝いできる記念事業となっています。

今回、満95歳を迎えられた方々、誠におめでとございます。





熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 松田 あき絵
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: a.matsuda@k-shakyo.com

講座情報 ▶ ボランティアスクール

ボランティア活動への関心を高めることを目的に、小学生対象のボランティア養成講座「ボランティアスクール」を開催いたします! ぜひご参加ください☆

活動内容【第1回目】園芸ボランティア体験(国道花壇の苗植え・花壇の手入れ体験)

時期: ☆苗植え☆

平成25年11月中旬～12月上旬の土曜日朝8時ごろから(苗の生育状況をみて決定します)

☆花壇の手入れ☆

枯れた花(花がら)摘みや水やりを体験します。(日程は12月～1月の土日のどちらか)

講師: 熊野古道花街道 代表 小西洋子さん

【第2回目】施設慰問(育てた花で押し花コースター作り)

時期: 平成26年2月～3月の土日のどちらか(こちらも花の生育状況をみて決定します)

施設に入居されている高齢者の方と一緒に押し花のコースターを作成します。

応募資格 熊野市内の小学4年生・5年生・6年生の児童

参加費 無料 **定員** 15名(先着順) **申込締切** 平成25年11月13日(水)午後5時

その他 *ボランティア活動保険Aプランに加入します。

*Make a CHANGE Dayに参加登録します。

→ボランティア活動や市民活動への取り組みを推進する運動で、ボランティア活動を称え、参加登録をした優秀な活動には賞が設けられています。今回のボランティアスクールの活動を登録する予定です。みんなで入賞できるように頑張りましょう!



貸出物品情報

熊野市ボランティアセンターでは、福祉活動をする皆様に以下の物品の貸出を行っております。是非ご活用ください★(Newは今年度三重ボランティア基金助成で購入させていただいた物品です)

- ①トランシーバーNew ②チェンソーNew
- ③餅つき機セットNew ④フライヤーNew
- ⑤音響機器一式 ⑥テント ⑦草刈機
- ⑧スクリーン ⑨鉄板焼器 ⑩綿菓子器
- ⑪ガス式焼鳥器
- レク用品→⑫カムル ⑬お花畑すごろく
- ⑭スリリングタワーブロック
- ⑮コーンボウル

いなえの一言★

インターネットで「ボランティア」と検索すると、「ボランティア募集」が様々な活動の募集があります。熊野市ではどのようなボランティアが必要なのだろう? ということで、10月から調査をしています。まだまだ未熟な当センターですが、地域の方との繋がりを大切に、熊野市に必要な活動を地域の方と一緒に考え、支援していきたいと考えています!

助成金情報

三重ボランティア基金助成事業 ボランティア活動資金助成

助成対象: 市町社協が設置するボランティアセンターにボランティア団体として登録(県外グループは除く)されており、ボランティア団体として、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われていること

対象事業: 福祉活動を目的とした先駆的・モデル的なボランティア活動

対象経費: 上記の活動に必要な直接経費

※経常的な運営管理経費、備品購入などは対象外

対象期間: 平成26年4月1日～平成27年3月31日までに完了する事業

応募締切: 平成26年1月10日(金) 三重ボランティア基金必着

1団体
50万円
以内

公益財団法人 大阪コミュニティ財団(OCF) 2014年度助成

この助成は、OCFが一般市民や企業・団体からの寄付85件を基金として受け、助成事業としているものです。それぞれ助成分野や助成額が異なりますので、詳細はお問合せいただくか、OCFのHPをご覧ください。

助成対象: 1年以上の活動実績を有する非営利団体が、平成26年4月～平成27年3月31日までの間に実施を予定している公益に資する事業

助成分野: 青少年の健全育成/地域社会の活性化/健康増進/動物支援/震災復興等

対象経費: 事業に必要な謝金、旅費、消耗品、印刷製本費、郵送費等

応募締切: 平成25年11月29日(金) までにOCFへ 当日消印有効

1団体あたり
1万円
～500万円

詳細は熊野市ボランティアセンターへお問合せください。

ふれあいレクリエーション大会 in紀和



「レク」から生まれる

笑顔と地域のつながり



9月22日(日)、熊野市紀和B&G海洋センターの体育館において、「ふれあいレクリエーション大会in紀和」を開催しました。

大会当日は、紀和町にお住まいの子どもから大人まで32名の方にご参加いただき、社協紀和支部の皆さんのご協力のもと、体育館中に歓声が響き渡るとても賑やかな大会となりました。

最初はきこちなかったチームも、ゲームを進めていくうちにだんだん打ち解けていき、最後には、最初のきこちなさが嘘のように顔を付き合わせて真剣に作戦を話し合っていました。また、ゲーム中には、参加者の皆さんがお互いにアドバイスをしたり、うまくできない人の補助をされ、大会を通じて地域の「つながり」や「助け合いの精神」を感じることができました。

「ふれあいレクリエーション大会in紀和」にご参加・ご協力いただきました紀和町の皆様、ありがとうございました。

連載 知ってください、社協の事業

その⑩ 熊野市ボランティアセンター

阪神・淡路大震災をきっかけに急速に普及したボランティア活動ですが、皆様の回りにも、年齢性別を問わず活動されている方がいらっしやるのではないのでしょうか。

熊野市ボランティアセンターは、皆様の活動の一助になれるよう、ボランティアの養成・スキルアップ講座や活動の斡旋などの支援を行っています。今年度は、ボランティアに関する基礎知識をはじめ、傾聴、バリアフリー、手話などの講座を開催するとともに、市内のボランティアに関する状況を調査、把握してボランティア活動につなげるための事業を展開しています。

ボランティア活動を始めるきっかけは「人の役に立ちたい」「趣味を活かしたい」「色んな方と知り合いたい」など人それぞれです。ボランティアセンターでは、そのきっかけから一歩踏み出すための後押しをさせていただきます。ただでなく、活動に躓いたり悩み事が出来たとき、皆様の力になれるようにセンターとしての機能をより充実させたいと活動に取り組んでいます。

ボランティアセンターにご登録いただいた団体には、安心して活動できるようボランティア活動保険への加入をお勧めし、その掛金の一部を補助しています。また、円滑な活動を支援するために助成金情報などのお知らせもしています。

これからも、ボランティア活動を支える「熊野市ボランティアセンター」として新しい取り組みを続け、皆様の活動が充実したものになるよう支援させていただきます。と思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

熊野市ボランティアセンター 担当：松田



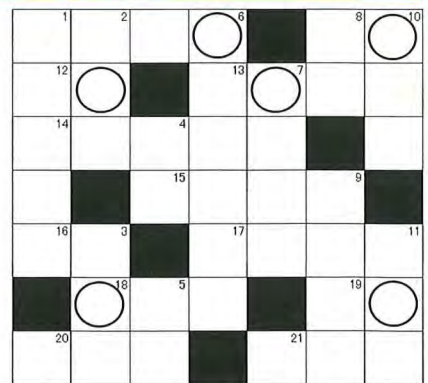
これから、寒くなるけど、風邪ひいちゃだめよ！かさあ、かかってらっしゃい！（かよ）

当選者は次の方々です。
小畑美雪さま、
畑井竹子さま、
日浦田美江さま、
山本ヨネさま、
吉村眞知子さま
おめでとうございます！

は	ん	そ	う	ふ	か
い		く	ら	す	か
た	い	ほ		い	く
つ	た	う	る	し	よ
	た	こ	び	ん	と
す		ひ	な		う
			す	う	じ
ぱ	い				

解けばスッキリ! クロスワードパズル

能・技芸をもっていること



【三〇のカギ】

- ① 空中にとどまること
- ② 掃除・洗濯などのこと
- ③ 意味の似通っている語
- ④ 西洋ではアダムのりんごともいう
- ⑤ 暗い場所
- ⑥ 動物の性別
- ⑦ 舌先を巻くようにして勢いよく話す
- ⑧ 店の軒先につるす布
- ⑨ 水蒸気
- ⑩ 周囲を取り巻くこと
- ⑪ ある一定の限られた広がり
- ⑫ ある一定の限られた広がり
- ⑬ ある一定の限られた広がり
- ⑭ ある一定の限られた広がり
- ⑮ ある一定の限られた広がり
- ⑯ ある一定の限られた広がり
- ⑰ ある一定の限られた広がり
- ⑱ ある一定の限られた広がり
- ⑲ ある一定の限られた広がり
- ⑳ ある一定の限られた広がり

正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!

挑戦方法 はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、

〒519-4324 熊野市井戸町1-150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行

挑戦期限 平成25年11月30日(土)

前回の答え

「かいほっかん」

【タテのカギ】

- ① 唐辛子の一品種
- ② 首都はニューデリー
- ③ 水はけをよくするため流しや風呂場に置くもの
- ④ 男性が自分のことを指して言う
- ⑤ 魂
- ⑥ 3分間の変身ヒーロー
- ⑦ 樹木を植えた垣根
- ⑧ 事件を解く
- ⑨ 儲け
- ⑩ 天国と〇〇
- ⑪ 多くの技

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、リサイクルしていただく制度です。使わなくなったものや欲しいものがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【譲ります】 11月18日（月）締切

- ① 浴槽用手すり
- ② 足湯器



※「譲ってください」の登録期間は次の福祉くまの発行日までとさせていただきます。福祉くまの発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 桑原

新規採用職員紹介

この10月、あたらしい仲間が加わりました。紙面をお借りしてご紹介させていただきます。



杉浦美里 (すぎのりみさと)

福祉サービスマネジメント課

井戸居宅介護支援事業所

介護支援専門員

10月から井戸居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務させていただきますこととなりました。まだまだわからない事がたくさんあり、皆さんに教えてもらう日々が続いていますが、一日も早く仕事に慣れ、微力ながら地域の皆さまの役に立てればと思っています。末永く宜しくお願いします。

お知らせ

11・12月の無料法律相談

◆開催日 11月19日（火）

（予約締切11月18日（月）

12月17日（火）

（予約締切12月16日（月）

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 第1会議室

◆時間 13時から

◆※相談は一人10分間で予約順です。

◆※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田

福祉のお仕事してみませんか？



誰もが在宅で生活することを望みます。地域の中で、もちつもたれつしながらいつまでも在宅で生活できれば…との思いで、熊野市社会福祉協議会では様々な在宅福祉サービスを実施しています。

サービスのより一層の充実を図るため、現在、非常勤スタッフ（看護スタッフ、介護スタッフ）を募集しています。

- ・訪問介護事業（ホームヘルプサービス）
- ・通所介護事業（デイサービス）

市内の井戸町・飛鳥町・紀和町に事業所があります。笑顔と体力に自信のある方、福祉のお仕事に興味をお持ちの方、業務経験は問いません。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

総務課 総務係

あとがき

待ちに待った高速道路開通。車で移動する者にとっては、とても便利になりました。峠道を走らずにすむおかげで、運転後の疲労の軽さもさることながら、何と言っても移動が早い。トンネル抜ければ「あら不思議」といった感じで、まさに瞬間移動かと思わせるような早さです。ときどき、車で津市に出張に行く機会があるのですが、移動がとても早くて、楽になったという実感がありません。

「はやい」と言えば、こだま・ひかり・のぞみからリニアへ。14年後には夢の乗り物が実現されようとしています。その時速はなんと500kmだとか。新幹線もそんなに急いでどうするの？といった感じですが。時間短縮によるものが、車輛は「完全禁煙」となるよう、愛煙家の僕にとっては、やや残念な気もしますが…。

今や、乗り物も情報も空気を素早く、あるいは瞬時に、移動させることができる時代です。速く、早くから得られる便利さと引き換えに、他の大切なものを失うことがないよう、機械や道具を扱う「ひと」だけは、しっかりと地に足をつけていたいです。（のり）

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,469世帯

人口 18,730人
(男8,568人/女10,162人)

65歳以上 7,293人
(男2,905人/女4,388人)

熊野市の高齢化率38.94%
(平成25年10月1日現在)

CLICK

熊野市社会福祉協議会 検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「肝心要は“計”」

一年の計は元旦にあり。新年を迎えるにあたり、新年1年の目標や抱負を心に誓います。「昨年できなかったが今年こそは」「環境が変わったが、初心に帰って頑張ろう」「更なる成長を目指して努力しよう」と。ただ、この気持ちの持続は難しく、達成できる人は少ないかもしれません。原因はいろいろ考えられますが、ひとつは「計」ではないでしょうか。ゴールは決めても、通過地点が決まっていないために果てしなく遠い道のりに思えるのだと思います。計画を以て目標までの道のりとするならば、ゴールもぐっと近づきます。現実的な目標でも何となくでは達成できないことがあり、また逆に夢のようなことでも計画を立てて進めれば叶うこともあります。

肝心要は“計”。それに「叶える」という強い気持ちを加え、夢を実現しましょう。今年こそは。

福祉くまのno.50もくじ

◆2ページ 新年のごあいさつ

◆3ページ 第4回 熊野市老人福祉大会、三重県社会福祉大会、家族介護者支援・交流事業「リフレッシュデイ」

◆4ページ ボランティアセンター情報誌 いな

◆5ページ 災害ボランティアコーディネーター養成講座、連載) 知ってください、社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル

◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、熊野市の人口と高齢化率

平成26年1月5日発行

No. 50

新年のごあいさつ

熊野市社会福祉協議会

会長 濱田雅嗣



あけましておめでとございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、地域福祉向上にまた、当会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年12月1日の役員改選におきまして、会長に再任されることとなりました。2期目を迎え、更なる会の発展に尽力する所存でございますので、何卒よろしくお願いいたします。過疎、少子高齢化がうみだす地域福祉ニーズの多様化、深刻化、核家族化の進む先での独居老人の問題、児童虐待、DV等々、時代とともに変化するニーズを迅速に発見し対応することが求められています。

福祉においては、「自助・共助・公助」という言葉をよく耳にします。言うまでもなく、血縁による支えあい、制度の活用、そして地域での

支えあいということですが、市内において、特に過疎化が激しい地域では、血縁による支えあいがかりか、小地域での支えあいさえも困難となつてきています。

そのような状況ではありませんが、昨年、ある敬老会に招待いただいた際、対象者ともなろうご年配の運営役員の方が、額に汗しながら会を盛り立てようとする姿を拝見し感服いたしました。

一例ではありますが、このように自身の地域を何とか支えようとご尽力いただいている姿が小地域にはまだまだみられます。

このような活動を絶やさないためにも、次世代の担い手となる人材の発掘と育成に努めつつ、支部活動の充実と地域で委嘱させていただいている福祉委員の更なる活動支援を図り、地域がもつ福祉力の向上に一層努めてまいりたいと存じます。

今後は、地域住民活動、関係機関、団体による諸活動が一体となつて、より効果的にすすめられるような取り組みが必要であると感じます。

「住み慣れた地域で生活したい」あたり前の皆さまの願いを、福祉的に支援し、実現させるべく、役員員一丸となり、事業の展開に努めてまいりたいと存じますので、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします

会長	濱田雅嗣	評議員	上地英志	社協須野甫母支部長	大岡甲吉
副会長	北孝三		大江文章	社協二木島支部長	川下博嗣
理事	濱田秀人		大久保純子	社協遊木支部長	野々村勇
	喜田育男		大西浩文	社協新鹿支部長	喜田裕一郎
	阪口任紀		大畑守枝	社協波田須支部長	中葉徳次
	佐田重臣		岡部忠澄	社協磯崎支部長	上地英志
	下地通有		川下博嗣	社協大泊支部長	米本佳功
	新谷利雄		北本誠二	社協木本支部長	北本誠二
	田邊真弓		黒瀧一輝	社協井戸支部長	大江文章
	仲森弘安		更家盛一郎	社協有馬支部長	和田博史
	西山ひろ子		清嶺地利夫	社協久生屋支部長	濱田秀人
	和田博史		滝爪 清	社協金山支部長	新屋檜信
監事	森本 明		立嶋昌洪	社協育生支部長	下村富一
	和田樹一郎		辻本寛子	社協神川支部長	倉谷政弘
			徳田靖児	社協五郷支部長	辻本吉則
			西 章	社協日進支部長	滝爪 清
			野々村勇	社協小阪支部長	北 孝三
			福岡和子	社協両友支部長	新谷 進
			松島弘子	社協紀和支部長	職員一同
			道後宣弘		
			南三重子		
			向山兼司		
			森岡寛佳		
			山崎隆雄		
			山崎晏子		
			山城 敏		
			米本佳功		



※日進支部は調整中

平成二十六年 元旦

第4回 熊野市老人福祉大会

去る11月5日(火)、第4回熊野市老人福祉大会が熊野市民会館において、市老人クラブ会員ら約500名が参加し、盛大に開催されました。

式典では、多年にわたり、老人クラブ連合会及び地区老人クラブの役員または会員として会の発展や地域の奉仕活動に貢献し、その功績が顕著な方々に対し、熊野市老人クラブ連合会会長から表彰状及び感謝状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

また、大会宣言では、「関係機関、団体と連携をとり、住み慣れた地域で心豊かに生活ができるよう、高齢者の代表組織の一員として、地域の元氣と生きがいづくりに努めます。」と、強い決意をもって取り組むことが宣言されました。

受賞されました方々は次のとおりです。

◆熊野市老人クラブ連合会長表彰

- | | |
|----------|--------|
| 二木島老人クラブ | 牧戸 廣子 |
| 二木島老人クラブ | 玉置 慶三 |
| 遊木老人クラブ | 西口 やす子 |
| 新鹿老人クラブ | 下野 のり |
| 有馬老人クラブ | 上西 富野 |
| 久生屋老人クラブ | 牧野 トシ子 |
| 金山老人クラブ | 島田 すが |
| 五郷老人クラブ | 辰本 文明 |
| 日進老人クラブ | 杉谷 弘之 |
| 小阪老人クラブ | 喜田 洋子 |
| 両友老人クラブ | 西 なら代 |
| 板屋老人クラブ | 平野 智能 |
| 板屋老人クラブ | 根本 あや |
| 小栗須老人クラブ | 下ノ坊 初音 |
| 大栗須老人クラブ | 森 丸子 |

(敬称略)

三重県社会福祉大会

◆三重県社会福祉協議会長表彰

去る10月29日(火)、三重県総合文化センターにおいて三重県社会福祉大会が開催されました。

当市からは3名の方が、民生委員・児童委員功労者として三重県社会福祉協議会長表彰を受章されました。

- | | |
|-----|-------|
| 木本町 | 糸川 尹 |
| 育生町 | 小林 和彦 |
| 井戸町 | 森岡 寛治 |

(敬称略)

◆熊野市老人クラブ連合会長感謝状

- | | |
|----------|--------|
| 新鹿老人クラブ | 前川 央 |
| 新鹿老人クラブ | 平嶋 尚子 |
| 井戸老人クラブ | 松田 美賀 |
| 井戸老人クラブ | 栃尾 千枝子 |
| 有馬老人クラブ | 塩崎 照代 |
| 有馬老人クラブ | 古田 民子 |
| 金山老人クラブ | 小井 智夫 |
| 大栗須老人クラブ | 加見 よし子 |

(敬称略)



家族介護者支援・交流事業「リフレッシュデー」

家族介護者支援・交流事業

「リフレッシュデー」ほっと一息リフレッシュ

家族介護者支援・交流事業では、ご家族を介護している方等が集まり、日頃の介護の相談や想いを真剣に、時には楽しく語り合い、ストレス解消や情報交換に役立てていただく「おはなし会」を開催しています。今回、日常の生活から少し離れて、気分転換することを目的に「リフレッシュデー」を開催しました。その時の様子を紹介します。

11月24日(日)

当日はリフレッシュにもってこいの良い天気。午前11時、参加者7名が同乗し、「夢古道おわせ」に向けて出発。車内では、新しくできた熊野尾鷲道路、ランチバイキングの話題で大盛り上がり。30分程で現地に到着。「今まで1時間近くかかっていたのにねえ」と参加者の皆さん。豊富な料理が並べられたバイキングでは、期間限定の「マグロのかまフェア」が最終日。お皿いっぱい取った料理を目の前に「こんなに食べられるかしら(笑)」とのつぶやきも。美味しいマグロにも舌鼓を打ち、大満足のランチバイキングでした。

食後は、食べ過ぎて重くなった体を引きずりながらリニューアルした鬼ヶ城センターを観光。綺麗で明るくなった建物にビックリ！他県からの観光客で、建物内は大賑わい。1階の売店だけでも熊野をまるごと満喫できそうなくらい。たくさんの特産品、お土産物を見て回り、「こんながあるんや」「これが美味しそう」と楽しそうな様子でした。

介護者の気持ちは、体験した人でないとわからないことも多くあると思います。

「家族の介護をしている」同じ立場でおはなしませんか？

◆おはなし会

毎月1回 第4木曜日
熊野市保健福祉センター





ボランティアセンター情報誌
みんないっしょに大きくな〜れ!

ボランティアセンター
イメージキャラクター

いなえ



熊野市ボランティアセンター

(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 松田 あき絵
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: a.matsuda@k-shakyo.com

新年、あけましておめでとうございます。熊野市ボランティアセンターでは、多くの方のご支援ご協力をいただき、様々な事業を開催させていただいております。皆様の活動のお力になれるよう、今年も精進して参りますので、ご協力よろしくお申し上げますm(_ _)m

★ボランティア活動紹介★

くまのちびっ子 ボランティアグループ

平成25年11月3日(日)に山崎運動公園グラウンドで開催された、市民健康スポーツ祭に模擬店を出店させていただきました♪



ゴム鉄砲で的を狙う
姿は真剣そのもの!



徐々に接客にも慣れ、射的屋さん
の運営はスムーズに出来ました★



「くまのちびっ子ボランティアグループ」は、熊野市内の小学生で構成されるボランティアグループです。この活動は、子ども達が自分の意見を言えるように、また、グループの仲間と活動をやり遂げることで、協調性ややりがいを感じてもらいながらボランティア精神を育むことを目的としています。

前回は社協のふれあいフェスタで綿菓子屋さんをしましたが、今回は事前会議で模擬店の案が10個以上も出され、市民健康スポーツ祭で射的屋さんを出店することになりました。射的1回の金額や景品について「私ならこのくらいがいい。あんまり高かったらお客さん来てくれん!」、「図書カードは皆欲しいと思う!」等、お客さんの目線に立って内容を決めることが出来ました。当日はお客さんとのコミュニケーションをとったり、ルールを説明するなどそれぞれが自分の役割をしっかりと果たすことができ、子ども達の積極性や協調性を伸ばす、充実したちびっこボランティア活動にする事が出来たと思います。

なお、模擬店の売り上げ金(2,339円)は三重ボランティア基金へ寄付させていただきます。(寄付金はボランティア活動への助成等に活用されます。)売り上げにご協力いただきました皆様、ありがとうございました!



あたしが
担当です!

熊野市ボランティアセンター
担当: 松田 あき絵

★いくつか知ってる?★ ボランティア活動

ボランティア活動は日々、熊野市内の各地で行われています。下記に熊野市ボランティアセンターに登録していただいているボランティア活動例の一部を挙げてみました。活動風景を見たことがある方もいるのではないのでしょうか?

- ◆熊野古道の美化活動(42号線沿いの花壇等)や語り部
- ◆高齢者見守り活動 ◆傾聴活動 ◆手話啓発活動
- ◆給食ボランティア(一人暮らしの高齢者宅へお弁当を届ける活動)
- ◆園芸ボランティア(市内各地の花壇の手入れ等) ◆楽器演奏
- ◆バリアフリー啓発活動、自助具作成 ◆絵本の読み聞かせ、家庭文庫

ボランティア活動の種類は多岐に渡ります。実際の活動風景を見学したい方や、上記以外でも、こんなことがしたい!という思いをお持ちの方は、当センターへお気軽にご相談ください。また、こんな講座を開催して欲しい等のご要望も随時受け付けておりますので、皆様のご意見をお聞かせください。

毎回「いな」を読んでくれている方も、今回が初めての方もこんにちは!私もボランティア担当として3年目となり、お仕事を通じて少しずつ地域の方との繋がりが出来てきたと感じています。今後も皆様との繋がりを大切にし、自分が生まれた熊野市の良いところを活かせる事業を展開していきたいと思っています。

今回、恥ずかしながら顔出しさせていただいたのは、これから繋がりを持たせていただく方も含め、顔が見えることで安心感を持っていただけたら、身近に感じてもらえるのではないかな、という思いからです。

皆様のボランティア活動を応援できるよう、今年はずっともっと色々な人・ものと接し、自分のカラーを出しつつ新しいことにもチャレンジしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします(*^-^*)

災害ボランティアコーディネーター養成講座

防災・減災講座 身につけよう備える力

2月1日(土)を皮切りに、災害に関する講座及び講演会を開催します。近い将来、発生が懸念される東海・東南海・南海地震による大規模災害に備え、一人ひとりの命を守るためには、日頃から地域でどのような取り組みを行っておけば良いのか、地域で何を話し合っておく必要があるのかを、様々な角度からお伝えし、平時の地域活動へのきっかけとしていただく事を目的に開催します。

第1回 講演

日時 平成26年2月1日(土)

13時30分～15時30分

場所 熊野市文化交流センター 交流ホール

内容 被災地での活動体験などを通じて日頃の活動の大切さを知ってもらう

講師 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 氏

第2回 講演

日時 平成26年2月8日(土)

9時30分～11時30分

場所 熊野市文化交流センター 交流ホール

内容 被災の実際を聞き、今しておくべき事を考えていく

講師 岩手県山田町社会福祉協議会 五十嵐幸太氏

第3回 講座

日時 平成26年2月22日(土) 13時～15時

場所 熊野市保健福祉センター 多目的ホール

内容 災害時に役立つ知識や技術を身に付け、災害に備える力を蓄える

講師 三重県防災対策部防災企画地域支援課 指導員 西川実雄氏

受講料 無料

参加対象者 興味のある方なら誰でも構いません。

申し込み方法

各回とも開催日の一週間前までに熊野市社会福祉協議会地域福祉係までお申し込みください。

☎0597-89-5000



連載 知ってください、社協の事業

その① 紀南地域権利擁護センター

紀南地域権利擁護センターでは

日常的な金銭管理や福祉サービス・各種手続きの代行などの支援が必要な認知症高齢者や知的・精神に障がいをお持ちの方が、安心して地域で生活を送れるよう、地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)を行っています。

生活支援員の役割

この事業には、利用される方がより良い生活を送れるように、生活に関する相談や手続のほかに、預貯金の出し入れや必要な支払いを行い、その方を支援する生活支援員がいます。生活支援員は、利用される方の一歩近い位置で支援しており、困っている時や不安な時、嬉しい時などに一人ひとりの心に寄り添いながら支援を行っています。

生活支援員のひとこと (西塚洋子さん)

生活支援員になって気づけば十年余りになりました。困っている人の援助が出来ればという思いで活動を続けています。携わって初めてこの事業を知り、たくさんの方の利用者さんと関わってきました。コミュニケーションをとることが難しい利用者さんもいて、初めは戸惑いましたが、月日と共に信頼関係が生まれ、会話がなくても笑顔をみせてくれるようになりました。大変なこともあります。支援を重ねていくうちに心が通じ合えたときが一番嬉しいですね。今後もできる限り続けていきたいと思っています。

専門員から

生活支援員の皆さんは経験豊富な方が多く、いつも助けていただき心強く感じています。今後も、生活支援員や支援する関係機関と連携し、利用される皆さんに安心して生活して頂けるよう頑張ります。

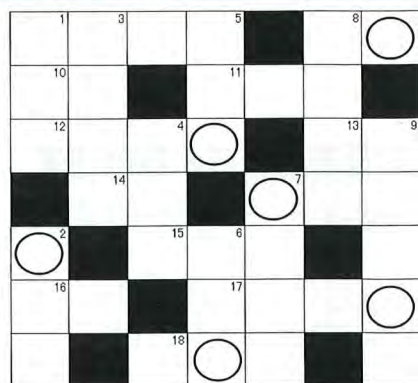


今年の目標をしっかりと定めなさいよ! さあ、かかってらっしゃい!(かよ)

当選者は次の方々です。
井本樹里さま
井本成美さま
坂上令奈さま
西川えさま
宮尻利香さま
おめでとうございます!

た	い	く	う	か	じ
か	ん	る	い	ぎ	ご
の	ど	ぼ	と	け	く
つ	め	す	ら	が	り
め	す	の	ま	き	じ
の	れ	ん	ゆ	け	た
か	こ	い	は	ん	い

解けばスッキリ! クロスワードパズル



「ヨ」のカギ

- ①昔の遊び ②ふりだしあがり ③桃太郎の鬼〇〇〇 ④
- ⑤舞踏 ⑥バターと小麦粉を炒めた物 ⑦見習うべき手本
- ⑧点眼 ⑨ふりがな ⑩世に広まること ⑪ピタミンCが豊富です
- ⑫琵琶湖のある県 ⑬長方形のパスタを使ったイタリア料理 ⑭絹

- ## 「タテ」のカギ
- ①イカの素干し ②わら等で編んだ敷物 ③スキー等で使う紫外線防止めがね ④卵白を泡立てて作るお菓子や料理
 - ⑤雲で空が覆われている状態 ⑥道徳、倫理 ⑦七夕に願い事を書きます ⑧〇
 - ⑨ホームラン ⑩目に見える様

☆〇のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくってください。正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!

はがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324 熊野市井戸町1-150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
平成26年1月31日(金)

「げい」のうじん

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】 1月15日(水) 締切

- ① 浴槽用手すり
- ② ウォシュレット付ポータブルトイレ



登録を募集中!

【譲ります】

「もう使わないけど、きれいだから捨てるのがもったいない!」ぜひご登録ください。なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

「欲しいけど新品を買うのは…」登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 桑原

お知らせ

1・2月の無料法律相談

開催日 1月21日(火)

(予約締切1月20日(月)2月18日(火))

(予約締切2月17日(月))

相談員 堂前美佐子 弁護士

会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田



歳末たすけあい募金で 就学支援

ひとり親世帯への

ランドセル購入費助成事業

新たな年を迎える年末の時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるようにと実施している歳末たすけあい募金。

熊野市共同募金委員会では、12月1日から1ヶ月間、皆様のご協力のもと、街頭啓発時やイベント時などに歳末たすけあい募金運動を実施しました。

今年度も、昨年に引き続き、この春小学校へ入学されるお子さまがいるひとり親世帯に対しランドセルを購入する費用の一部を助成させていただく予



定です。

詳細につきましては、まだ決定しておりませんが、つぎの「対象者」に該当する方で、申込を希望される方は、ランドセル購入を証明できる書類(レシートや領収証など)を申請時期まで保管いただきますようお願いいたします。詳細が決まりましたら、改めて皆様にご案内させていただきます。

「対象者」

①熊野市に在住し、平成26年4月1日に小学校へ入学されるお子さまと生計を一にするひとり親世帯

②市民税非課税または国民年金減免世帯

※①、②の条件をともに満たす世帯を対象とします。

赤い羽根共同募金に

ちなんだ〇×クイズ

問1 共同募金が、日本で最初に
初に行なわれたのは、
1947年である?

問2 戸別募金は明治時代か
らあった?



あとかぎ

新しい年の始まりということで、正月にちなんだ表紙を。ところで、僕は2人兄弟で、3つ年上の兄がいるのですが、どういわけが僕だけ、幼稚園の頃から高校に入るまで、書道を習い(習わされ?)ました。

当時は、部活とのかけもちで、大変でしたが、今思えば、もっと続けておけばよかったかなと思います。パソコンや携帯電話の普及に伴って、最近では、筆どころかペンをもつ機会も随分と減ってしまいました。が、精神を集中させて、息を整え、真っ白な半紙に向かうと、不思議な力が湧いてくるような…。そして、思い描いたとおり、満足がいく文字が書けた後に筆を置く時の達成感、何とも言えないものがあったのを記憶しています。

年の始めと終わりも、そうありたいですし、そうあれば、なんと素敵な1年になるでしょうか。2014年という、まっ白な半紙に「思い描いた文字」を完成させる! そんな意気込みをもって臨みたいと思います。

とはいえ、「飲む」「食べる」「寝る」年末年始の大型連休には、必ず襲ってくる魔の誘惑…。余談ですが、表紙の「馬」という文字…僕の書いた文字ではありません… (のり)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,438世帯

人口 18,666人
(男8,547人/女10,119人)

65歳以上 7,318人
(男2,926人/女4,392人)

熊野市の高齢化率39.20%
(平成25年12月1日現在)

熊野市社協イメージキャラクター
「くましゃん」

福祉 くまの



「自分の机の上の整理」

経験という記録を将来活かしていくためには、二通りの方法があると思います。ひとつはすぐに取り出せる、常に目につくところに保管する、もうひとつは必要な時にだけ取り出せるように書庫などに保管する方法です。克服、改善できていない失敗は常に気を付けて解決しなければ周りからの信頼は得られません。しかし、解決したことをいつまでもくよくよ思い出して前に進めないようでは人間として成長できません。逆に良いことをしたときや褒められたときはそれを支えに頑張ることは良いことですが、過去の功績にしがみついたり、自慢話ばかりする人は周りから良く思われなと思います。

春は始まりの季節、自分自身を見つめ直して、解決していないことや、しばらく必要な記憶は引き出しに、ちょっと忘れて良い、いざというときに必要な記憶は書庫にしまう、そんな自分の机の上の整理が必要です。

福祉くまのno.51もくじ

- ◆2ページ 赤い羽根共同募金実績報告
- ◆3ページ 防災・減災講座、ふれあいいきいきサロン新規グループ募集
- ◆4ページ ボランティアセンター情報誌 いな
- ◆5ページ 障がい者就労支援研修会 (連載) 知ってください社協の事業、解けばスッキリ! クロスワードパズル
- ◆6ページ リサイクル登録制度、お知らせ、老連女性部会研修会、我が家のプチ自慢、熊野市の人口と高齢化率

平成25年度赤い羽根共同募金運動への

ご協力ありがとうございます！



10月1日から実施しておりました「平成25年度赤い羽根共同募金運動」2月1日現在の結果をご報告させていただきます。

この運動に対しましては、市民の多くの皆様にご協力いただき、おかげさまでたくさんの心温まる募金が寄せられました。心より厚くお礼申し上げます。

熊野市社会福祉協議会では、この共同募金の配分金を有効に活用して、これまで以上に「市民の皆様が安心して暮らせるまち」となるよう地域福祉活動を活発に展開していくことをお約束いたします。

(※活用方法などは社協ホームページなどでもご紹介させていただきます。)



■赤い羽根一般募金実績

募金の種類	金額	内容
戸別募金	2,008,275円	市内各世帯からの募金
街頭募金	93,999円	各地区の運動会等での募金
学校募金	9,805円	市内、小中学校からの募金
イベント募金	149,815円	イベントにおける個人からの募金
その他	111,713円	募金箱、募金機能付自動販売機他
合計	2,373,607円	



また、歳末たすけあい募金運動の一環として開催しました「歳末もちつき大会」には、多くの皆様に参加して頂き、楽しみながら子どもからお年寄りまでが交流することができました。バザーや抽選会にも市内業者の皆様をはじめ、個人の皆様からもたくさんの品物を提供して頂き、本当にありがとうございました。

抽選会景品提供等 協賛いただいた方々 (五十音順)

アカサカスポーツ様／大崎商店様／岡田精肉店様／雑魚屋かんばやし様／熊野市役所様／(有)タキモト様／辻本寛子様／寺前商店様／(有)中谷様／永年建築様／西建設様／駄菓子屋はなまる様／Bismorgen(ピスモルゲン)様／(株)洲上組様／本魚店様／もんいまあじゅ様／友紀歯科様 その他バザーには多くの市民の方々の出品をいただきました



■歳末たすけあい募金実績

募金の種類	金額	内容
イベント収益	94,990円	もちつき大会収益金
寄付	77,500円	個人や法人からの寄付
街頭募金	48,187円	スーパーなどでの啓発
前年度繰越金	45,894円	
合計	266,571円	

この歳末たすけあい募金の収益については、市内の福祉団体への助成及び平成26年度春に小学校に入学されるお子様がいる一人暮らし親世帯(かつ市民税非課税世帯)に対して、ランドセルを購入する費用の一部を助成する事業に活用させて頂いております。

※ 国の指針により、今年度より共同募金運動期間がこれまでの10月1日～12月31日までから10月1日～3月31日までと延長されました。

今後募金にご協力いただける地域や団体等がございましたら、年度末まで受け付けさせていただきますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。



防災・減災講座「身につけよう備える力」

今回、様々な角度から災害を知ってもらおう機会を作り、平時からの地域福祉活動のきっかけと災害に備える力を身につけていただく事を目的に3つの講座を開催しました。

☆第1回 「災害時要援護者の課題」

NPO法人レスキューズストックヤード常務理事 浦野愛さんをお招きし、災害時の要援護者を取り巻く状況や課題、平時からの取組についてお話をいただきました。

災害時の要援護者とは、災害が発生した時に①安全な場所まで自力で避難することが難しい人②避難生活で特別な配慮が必要な人で、家族や親類だけでは対応できず、周囲からの手助けが必要の人だと言われています。

こういった状況に陥る可能性を持った方々を災害から守る方法として、災害直後の揺れからは、家具の転倒防止を徹底する事、地区での避難訓練を当事者も交えて行う事も重要だと述べられました。

また、「災害が発生した時は避難場所に避難するまでで終わりではなく、被害の程度が大きくなればなるほど、その後の避難所生活が長くなり、精神的・肉体的な負担も大きくなる可能性がある。

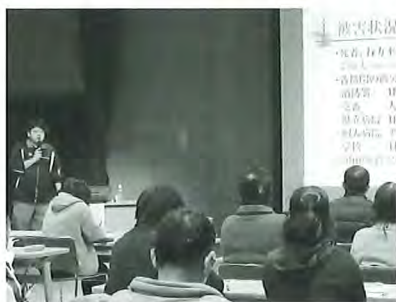
地域の方々に参加し、自分にも出来るんだの体験を積み重ね、災害への自信につなげていけるような取り組みが重要となってくると述べられました。



☆第2回 「東日本大震災から学ぶ これから地域でできること」

岩手県山田町社会福祉協議会 五十嵐幸太さんをお招きし、東日本大震災で津波被害に遭われた時から現在の災害ボランティアセンターの活動状況までをお話いただきました。

災害時において地域の役割を担う住民への負担が重く押し掛つてくるので、その方々を支援でき地域の理解・協力が重要なこと、そのためにも、平時からの取り組みや、若い世代の方々と一緒に地域づくりを行っていくことが重要だと述べられました。



☆第3回 「災害時のボランティア活動」

災害時に役立つ紐の結び方や応急タンカの作り方を三重県防災対策部防災企画・地域支援課指導員の西川実雄さんに教えていただきました。簡単に見える紐の結び方も実際に体験してみると難しく悪戦苦闘している参加者もおられました。

今回の講座をとおして、様々な事例や体験を聞かせていただき、日頃からの地域での体験を通じた活動や話し合いが、いざという時の行動に大きく影響してくることが分かりました。

今後も、地域の方々「自分にも出来る」という体験や訓練を関係機関と連携しながらすすめ、自分や家族の命を守る災害に強いまちづくりを皆さんと共に築いていきたいと思えます。

ふれあいいきいきサロン 新規グループ募集

ふれあいいきいきサロン 新規グループ募集について

当市は、少子高齢化、海岸部・山間部の過疎化など、地域で抱える課題は多岐にわたっています。

このような状況の中で、その地域の実情に合わせた小地域での活動や憩いの場づくり（ふれあいいきいきサロン）は、誰もが安心して地域で暮らすための支えとなります。

当会では、憩いの場づくりの推進のため、現在活動されているグループや新しく活動を始めようと考えているグループのために、活動資金の一部を助成させていただいており、現在、市内では14グループが助成を受け活動を行っています。

平成26年度につきましても新規グループを募集致しますので、ご希望の方は、熊野市社会福祉協議会地域福祉課までご連絡ください。

- 募集期間** 平成26年3月10日（月）～平成26年3月25日（火）（当日必着）
- 応募手続** 当会にて必要書類を揃え、期限までに提出してください。
- 募集数** 最大2グループとする
- 助成額** 初期準備金五千元（初年度のみ）活動費二千元/回（2回四千元/月限度）
- 選考・結果** 平成26年3月末日までに申請グループには申請の可否を通知します。





ボランティア活動紹介

熊野古道花街道



この写真は、国道42号線沿いの花壇です。どんな方がお世話をしてくれているかご存知でしょうか。

22年前、国道の整備に伴い国土交通省と熊野市、地域住民が「熊野みちを考える会」を設立し、住民の要望を受けて、木本町から花の窟間に花壇が整備されました。そして花壇の里親に応募した地域住民102名がお世話をすることとなり、ボランティアグループ「熊野古道花街道」が誕生しました。その一年後、「花の窟花街道」「七里御浜花街道」の2グループが誕生し、花

の窟から立石の信号までの3kmの花壇のお世話をされています。

一年中花を絶やさないように、年2回春と秋に花植えをし、花を長持ちさせるため花がら摘みもこまめに行います。水やりも特に夏は毎日欠かせませんし、草を抜いたり、追肥をしたりとやることはたくさんありますが、「熊野古道花街道」の代表をされている小西洋子さんは、日々の活動をとっても楽しんでいらっしやいます。「道路を利用される方が1日を元気に過ごせるよう、願いを込めて育てています。また、道行く人に花を褒めていただいたり、労いの言葉をいただくと疲れも吹き飛んで、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。道路を利用される方に喜んでもらえるので、やりがいを感じています。」

花が大好きだという小西さんは、小さい頃から花を育てており、毎年熊野市が開催しているオープンガーデンにも参加されています。また、当センターが開催した平成25年度ボランティアスクールでは、「熊野古道花街道」の皆さんにご協力いただき、小学生が花の植え方や花がら摘みを学びました。小西さんからは「高齢化で人手不足になってきているので、助かりました。小学生の皆さんにこの活動を知っていただけたことを嬉しく思っています。」と感謝の言葉をいただき、また、今後の活動について「自分が好きでやっている活動なので、花壇のお手入れは苦になりません。花が育つと自分も嬉しいし、誰かが喜んでくれるので、これからも綺麗な花を咲かせていきたいです」と元気にお話してくださいました。

紀南病院 ボランティア募集

紀南病院では、総合案内所付近での案内と、玄関付近で車いすや歩行介助を行っていただけるボランティアを募集しています。交代制となっており、月に1・2回ほどの活動となります。

【日時】月曜日～金曜日

午前8時30分～

午前11時30分

【場所】紀南病院(阿田和)

【申込】熊野市ボランティアセンター

いなえの一言

ボランティアスクールで押し花を作成したのですが、押し花って葉やコースター、イヤリング等、色んな物に変身できるんですね。創作意欲が湧いてきます♪

ボランティア活動保険

熊野市ボランティアセンターへご登録いただいた方に、ボランティア活動保険への加入を助めております。ボランティア活動中のケガを補償してくれる保険なので、活動されている方は是非ご加入ください。また、昨年加入された方も、補償期間が3月31日で終了となりますので、平成26年度の保険への加入手続きをお願い致します。

【プラン内容】 ◎基本タイプAプラン 300円 ◎基本タイプBプラン 450円
◎天災タイプAプラン 460円 ◎天災タイプBプラン 690円

【補償内容(基本タイプAの場合)】

入院保険金 日額6,500円 通院保険金 日額4,000円

【補償期間】

平成26年4月1日～平成27年3月31日 ※平成26年3月31日(月)までにお申し込みいただいた場合です。4月1日以降の加入申し込みについては、申し込み日の翌日～平成27年3月31日までが補償期間となります。

【加入方法】

加入申込書に氏名、住所、電話番号、活動内容をご記入いただけます。申込書は当センターにございますので、保険料と印鑑(法人のみ)をお持ちいただくか、お問合せいただければ申込書を送付させていただきます。

また、ボランティアの身分証としてお使いいただける熊野市ボランティアセンター登録証も、有効期限が3月31日までとなっておりますので、ご希望の方はお早目にお申し込みください。

障がい者就労支援 研修会

障がい者が職場に適應して働き続ける為には

『視点、支援、気づき』 どう支援すれば…

企業支援という視点から、障がいの特性を理解し、指導方法や配慮について学ぶ研修会（紀南地域自立支援協議会就業部会主催）が1月22日、県熊野庁舎で開催されました。阪口雅生就業部会長は「障がい者について、少しでも理解を深め、長く雇用して頂きたい。障がい者雇用を拡大し、障がい者の生活が少しでも豊かになれば」と挨拶されました。

熊野市、南牟婁郡、尾鷲市、新宮市から、障がい者をすでに雇用している企業（個人経営含む）や障がい者雇用に関心をもつ企業、団体、関係者ら約40人が参加されました。

研修会では、三重障害者職業センター主任職業カウンセラー 牧 佳周子氏を講師にお招きし、障がい者雇用をしている企業等の協力を得て、事前アンケートを行い、企業の悩みや課題に答える形で支援方法をアドバイスいただきました。

注意について、どう感じているかわからない時は、注意した直後に復唱してもらう、優先順位をつける。通じないと感じた時は、話すテンポが速すぎないか、ぼそぼそ伝えていないか、長々話していないか、わからない言葉を使っていないか、注意のタイミングが適切であったか、コミュニケーション上の配慮等が説明されました。

後半では、参加者が二人一組に分かれ、例文から対応を考え、話し合う場面もありました。

参加者からは「解かりやすく良かった。また、このような内容の研修があれば参加したい」との声が上がっていました。

この研修会が関わり方のヒントになり、一歩でも前進し障がい者就労への理解に繋がればよいですね。



連載 知ってください、社協の事業

その⑫ ふれあいレクリエーション大会

ふれあいレクリエーション大会（ふれレク）とは、当市において、山間部や海岸部の過疎化や少子高齢化が深刻な問題となっており、市街地では、新興住宅が増え来ている地域や核家族化が進み、世代間の交流が希薄になって来ている現状があります。こういった状況の中で、誰でも参加でき気軽に行えるゲームで、世代間や地域の交流を持つきっかけをつくる事を目的とした事業が「ふれレク」です。

ふれレクの内容

ふれレクでは、誰でも簡単に行える楽しいゲームをモットーに3人1組のチームを組んで、前半・後半に分けてゲームを楽しんでもらっています。

例えば（前半では）

デイスゲッター…ストラックアウトのフリスビー版
スカットボール…スティックを使いボールを穴に入れる

コーンボール…ボウリングのようなゲーム性など、皆さんに馴染みのあるゲームを行っています。

（後半では）

大逆転ゲームとして、ジャンボジャンケンやボールを使ったゲームを行っています。参加していただいた方々には、いつも大笑いしていただき、チーム対抗戦により、参加者同士のふれあいが自然と持てていると思います。

ふれレクでは

開催した地区でのふれレクを終えると、「たまにはこんな風に集まってゲームするのも楽しいね」「また集まりたいね」などの声を聞くことがあります。社協では、そういった声に応えられるように、なんでも講座として地域の集まりに行かせていただく事もあります。社協ふれあいミニフェスタの中に取り入れて地域の方々楽しんでもらった事もあります。地域の交流やふれあいのきっかけ作りとして、今後も社協支部に向いて開催させていただきたいと思えます。地域の集まりで少し賑わわせてというグループや団体の方がおられましたら、なんでも講座としてご協力させていただきたいと思っております。是非、ご相談ください。



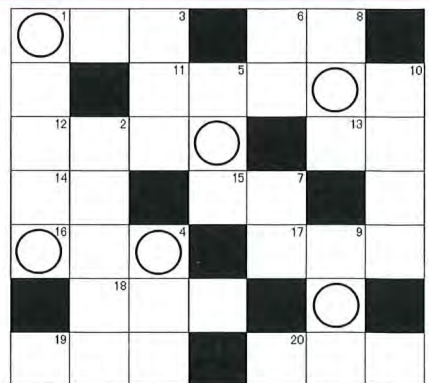
別れの後には素敵な出会いがあるはずよ！さあ、かかってらっしゃい！（かよ）

当選者は次の方々です。
岡室 栄さま
柿白喜代子さま
九鬼美保子さま
坂上 颯さま
畑地茂美さま
おめでとうございませう！

す	ご	ろ	く	ま	い
る	ー	■	も	は	ん
め	ぐ	す	り	■	る
■	る	ふ	た	い	じ
む	■	れ	も	ん	ゆ
■	が	■	ら	ざ	に
し	■	し	る	■	あ
ろ	■	■	く	■	る

解けばスッキリ!

クロスワードパズル



【ヨコのカギ】

- ① 著しく低温な気塊が押し寄せてくる現象 ⑥ 力士が踏み出す
- ② 陶磁器 ⑦ リスの種類 ⑧ 浮標 ⑨ 大型乗合自動車 ⑩ かまど
- ⑪ 意味・内容のみこむこと ⑫ 襟首 ⑬ 1の仕事 ⑭ 相手を手を誘い出すために利用する ⑮ 霧

☆〇のついたマスの6文字を並べ替えて言葉をつくってください。正解者の中から5名の方にステキな賞品プレゼント!

横カギはがきに答え、住所、氏名、年齢、感想などを書き、〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行
平成26年3月31日（月）
お申し込み「じあるたいむ」

【タテのカギ】

- ① 主に就寝中、意識がはつきりしていても体を動かすことができない症状 ② ぶどうの一品種 ③ 肉料理などに添えられます ④ 〇〇寿司 ⑤ 食パンなどで作ったお菓子 ⑥ イシノク ⑦ 神仏を祭る建物 ⑧ 山椒はーでびりと辛い ⑨ 看護師 ⑩ 1の張った人

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】 3月17日(月) 締切

① ポータブルトイレ



② 電動ベッド



登録を募集中!

【譲ります】

「もう使わないけど、きれいだから捨てるのもったいない…」ぜひご登録ください。なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

「欲しいけど新品を買うのは…」登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録が無効となります。

担当 地域福祉係 桑原

お知らせ

3・4月の無料法律相談

開催日

3月18日(火)
4月15日(火)

相談員

堂前美佐子 弁護士
熊野市保健福祉センター
1階 相談室

時間

13時から
※相談は一人10分間で予約順です。
※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 松田



老人クラブ連合会女性部会
「介護保険研修会」

市老連女性部会では、「将来に備えて介護保険制度の利用方法や介護予防にはどんなことをしたら良いのか知っておきたい」という女性会員の声にお応えし、2月5日に介護保険研修会を開催しました。

研修会は2部構成で行われ、最初に熊野市健康・長寿課の中西かおりさんを講師に、体験を通して運動の大切さについて講演いただきました。参加者の皆さんは、チェアエクササイズを体験し、「これなら家でも手軽に運動できる」と笑顔で話されていました。

次に、紀南介護保険広域連合の職員の方々に講師を迎え、介護保険の利用方法や利用できる施設の種類などを解説していただきました。身近な問題であるだけに、熱心にメモを取りながら話を聞いていました。

女性部会では、今後も女性ならではの視点から様々な活動をしていきたいと思えます。

我が家のプチ自慢

みえ福祉用具
アイデアコンクール
優秀賞受賞!

身体の不自由な方や高齢者の生活を便利にする「福祉用具」。

とはいえ、生活の様々な場面では、まだまだ不便さを感じることもあるでしょう。

「こんな福祉用具があったらいいな」とか、「日ごろ使っている福祉用具をこんなふうに変更したらもっと便利になるはずなのに」といったアイデアを募集するコンクールがあることをご存知でしょうか。

三重県と三重県身体障害者総合福祉センター(みえテクノエイドセンター)が主催となり、毎年、「みえ福祉用具アイデアコンクール」が開催されています。

さて、前置きはのくらゐとして、わが熊野市社協 地域福祉課職員が知恵をしぼったアイデアを応募しましたところ…

なんと、優秀賞(県下で2点)に輝き、12月13日(金)「みえ福祉用具フォーラム2013」で表彰していただくことができました。

そのアイデアはこちら。

イメージ図



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,414世帯

人口 18,601人
(男8,527人/女10,074人)

65歳以上 7,313人
(男2,935人/女4,378人)

熊野市の高齢化率39.32%
(平成26年2月1日現在)

あとがき

昨春秋「読書の秋だ」と心に決め、突如と始めた読書。幼いころから真面目な本はあまり手にしたことが…。そんなことを知ってか知らずか、当初は、子供含めて家族が「どうしたの?」という反応。よほど本を読んでいる姿が異様だったのではしょうか。それでも今ではすっかり習慣となりました。最近違ってきたので。文章の書き方が…。(のり)

イメージ図では、わかりづらいですが、
①収納式ひざ掛け
保温効果や急な用足しの際の前隠しにも
②フンタッチ収納力カップホルダー
飲料水用カップが置けます
③座面裏に密封バッグ
使用済みパッドなどを入れて防臭効果も
④背もたれ裏に保冷バッグ
保冷が必要な買い物をしても安心
を備えるなど誰にでも使いたやすく、あればいいなと思えるような機能を備えた車いすとなっています。
様々なアイデアが応募されるコンクール。実現化され、皆さまの生活がより便利で充実したものとなれば最高ですよね。

くまの



熊野市社会福祉協議会

検索

CLICK



熊野市社会福祉協議会
「くましゃん」



社協の法人運営を担当する面々です。事務局長、事務局次長はじめ、新体制のもと安定した組織経営を目指します。「仕事は厳しく、組織は円満に！」をモットーに、チームワークを最大限いかしながら、「やりがいと魅力ある」強い組織づくりに努めます。“みんなのくらしに、いっしょうけんめい” 取り組みますので、何卒よろしくお願いたします。
※写真は左から、総務係長 喜田良樹、事務局次長 大久保彰人、事務局長 阪口任紀、総務課長 栗須紀之、総務係 岡鼻亮介

平成26年5月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

特集 平成26年度事業計画・予算

事業計画

少子高齢化に伴う諸課題が依然として山積する中、社会福祉協議会を取り巻く環境も、国において新たに生活困窮者自立支援法の成立、生活保護法の改正や障害者総合支援法(障害者自立支援法)の施行、消費税の引上げに伴う介護保険報酬の改定など刻々と変化しています。

社会福祉協議会が実施する地域福祉事業をはじめ、介護保険サービス事業、障害福祉サービス事業など、国や行政の動向に注視しつつ、早期の情報収集に努め、その情報を共有して事業を展開していく必要があります。「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を実現するために、関連する様々な生活課題や福祉課題の解決に向けて、積極的に行政や地域を巻き込んだ事業の取り組みが強く求められる中、次の重点目標を掲げ、住民のみなさまから信頼と支持が得られる組織として事業の展開に取り組んでまいります。

重点目標

■適正な労務管理・財務管理と健全な運営

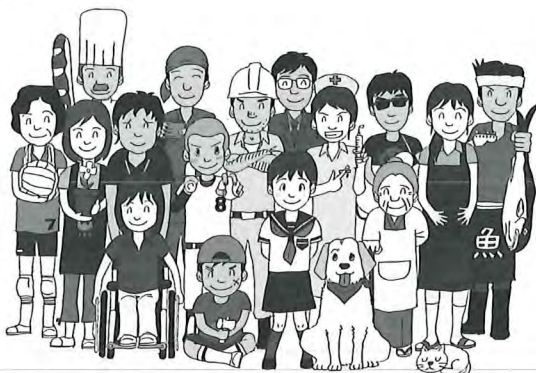
労務、財務において法令に基づいた適正な管理と事務処理を行うとともに、組織の安定と健全な経営を目指します。

■福祉人材の確保と育成

介護職員等の人材の確保が難しい中、社協の魅力を発信しながら、福祉人材の確保に努めます。また、質の高いサービスが求められることから、内外研修等の機会を通じて職員のスキルの向上に努めます。

■職員の連帯と意識の高揚

社協職員一人ひとりが組織の一員であることを自覚し、社協が目指す福祉のまちづくりの実現への共通認識を持って業務の遂行にあたるとともに、職員の連帯意識の高揚に努めます。



■住民主体による地域福祉活動の推進

少子・高齢化による地域の福祉力の低下を防ぐため、福祉担い手の育成や社協支部活動の支援に努めます。また、地域住民を主体とした地域福祉活動を展開していくために、社協支部長会議や社協支部懇談会、各種研修会などを通じ、広く住民の参加を呼びかけ、地域の生活課題や福祉課題などの解決に向けて取り組みます。

■利用者本位のサービスの提供と地域との連携

各サービス事業所の特色をいかし、利用者や家族介護者等の視点に立った、柔軟かつ幅広いサービスを提供していきます。

そのために利用者や家族介護者が、地域から孤立しないよう十分留意しつつ、社協支部、民生委員、福祉委員等の地域の社会資源との連携が図れるよう取り組みます。

■災害時等における社協の対応

地震、台風等による災害の発生に備え、社協として発災から復興まで職員としてとるべき行動や役割を再認識し、地域住民の不安解消につながるよう取り組みます。

予 算

平成26年度予算の総額は432,899千円（特別会計・収支事業会計を含む）で、前年度当初予算に比して10,606千円の増額予算となっています。これは、消費税改正と全サービスの営業日拡大による介護保険・介護予防収入の増額（見込）が主な要因となっております。今後も自主財源の確保に努め、皆様に安心してご利用いただけるサービスの提供に努めるとともに、地域に還元しながら福祉のまちづくりに邁進してまいります。

【収入】 単位：千円

科 目	金 額
会費及び寄付金収入	1,006
補助金収入	29,693
受託金収入	38,770
事業(貸付含む)収入	11,891
共同募金配分金収入	1,800
介護保険・介護予防収入	304,089
障害者自立支援他利用料	25,851
雑収入	17,797
受取利息配当金収入	2
借入金収入	2,000
収入総額	432,899

【支出】 単位：千円

科 目	金 額
人件費	325,849
事務費	7,058
事業費(貸付含む)	85,567
共同募金配分及び助成事業	3,426
負担金支出	3,323
固定資産取得支出	3,400
借入金元金償還金支出	2,000
その他の支出	2,276
支出総額	432,899

地域で楽しむ ふれあいフェスタ

今年で9回目になる社協ふれあいフェスタ。みなさんご存知でしたか？フェスタでは、毎年テーマをつけて、「まつり」の雰囲気作りを行っていることを。

今年のテーマは「笑顔を咲かせよう地域の輪」となりました。「笑顔になる」ということは、楽しいということ。楽しいところには輪ができる。笑顔が作る地域の輪が広がっていけば、という思いを込め、このテーマにしました。

現在、今年のフェスタが笑顔で溢れるように、職員実行委員会を立ち上げ、内容を検討しています。前回の三輪車レースが今年も続くのか、

はたまた、違う〇〇競技に変わっているのかは、ご来場いただきてからのお願い。例年、恒例の餅まきもフェスタのトリを飾る予定です。多くの方にご来場いただきたいと思えますので、ご近所、お友達、ご家族、一人でも二人でも結構ですので、お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

日時 平成26年6月29日（日）

午前10時から

場所 熊野市保健福祉センター

内容 ステージイベント・福祉啓発コーナー・ゲームコーナー・各種模擬店など

田坂 岡本



田坂



岡本



社協支部懇談会

社協支部懇談会では、「地域で出来る減災講座」と題して、大きな災害に見舞われた時に不自由な生活の中、少しでも不安や身体的負担を軽減することを目的に、今から出来る事を地域の方々为主体となつて考えてもらえるように、ハザードマップ作りや避難所運営ゲームを取り入れ、意識や知識の向上を図っています。今回は、社協五郷支部での懇談会の様子を紹介させていただきます。

五郷町は、地区が広いため2ヶ所（寺谷・和田地区、桃崎・湯谷・大井谷地区）に分けての開催となりました。台風十二号災害では、大きな被害を受けている事もあつたが、多くの方に参加して頂く事ができました。

どちらの懇談会でも、地区ごとにグループに別れ、作業を進めていただきましたが、どのグループでも熱心に話が進み、災害が起こった際の行動や避難場所の見直しなどについて意見が交わされていました。

中には、三重県から発表されている河川氾濫の想定にはないところが、前回の台風被害にあつている地区もあり、想定はあくまでも想定であり、自然の怖さは時にそれ以上の結果をもたらす事を、作業を通して改めて感じてもらうことができました。こうした懇談会では、地域を思う方々の熱い意見を聞く事ができますので、社会福祉協議会としても話合われた事を少しずつ形に変えていけるように、継続して地域と関わりを持っていきたいと思います。



岡本



ボランティアセンター情報誌 みんないっしょに大きくな〜れ!

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当：桑原 涼
住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
メール：r.kuwabara@k-shakyo.com



ボランティア活動紹介

ブックスタート

ブックスタートとは、赤ちゃんとお母さんが、絵本を介してふれあう時間を持つきっかけをつくる活動のこと。

今回は、熊野市健康・長寿課が行っている赤ちゃんの4か月健診でのボランティア活動をご紹介します。

そこが気になる!①…4か月で絵本はまだ早くない?

ズバリ、ボランティアさんに聞いてみました!

「4か月だと絵本はまだ早いんじゃないかと思われるお母さんが多いですが、赤ちゃんはちゃんと反応してくれます。絵本を読むときはお母さんが抱っこする。そうするとその温かさの中で赤ちゃんは「私にお話してくれている。お母さんに愛されている」と感じるそうですよ。」

そこが気になる!②…どんな気持ちで活動しているの?

またまた聞いてみました!「子どもが少なくなっている中、せっかく熊野に生まれてきてくれたので、熊野が大好きに、健康に健やかに育てたい。熊野で赤ちゃんとお母さんが仲良く過ごして欲しいという気持ちがあります。その第1歩として、赤ちゃんとお母さんを繋ぐツールとして、絵本を使っています。ゆくゆくはこの活動を通して絵本を好きになって欲しいですね。」



そこが気になる!③…どこで活動しているの?

4か月健診以外にも、熊野市立図書館でも活動しています。

活動に興味のある方は、下記までお問い合わせください。

☆健診での読み聞かせボランティア

熊野市健康・長寿課 保健予防第1係 (Tel:0597-89-3113)

☆図書館での読み聞かせボランティア

熊野市立図書館 (Tel:0597-89-3686)



いなの一言



春は出会いと別れの季節。
ボラセンも4月から担当
が交代しました!
新担当の桑原です。
皆さま、どうぞよろしく
お願いします<(_ _)>



熊野市ボランティアセンター 登録ボランティア数

*団体数 40団体
(1,950名)

*個人 13名

平成26年3月31日現在

お詫びと訂正

「いな No.48」の「熊野古道花街道」さんの活動紹介で誤りがありました。「22年前～」となっておりますが、正しくは「12年前」でした。お詫びして訂正いたします。

広げよう地域の輪

去る、3月14日(金)熊野市文化交流センターにおいて、三重県レクリエーション協会 伊藤藤彦氏をお招きし、認知症・介護予防に役立つ講演会を開催しました。

講演会では、簡単に実践できる体操や認知症に関する基礎知識をわかりやすく教えていただきました。

グループで輪になって行うレクリエーションの時には、講師の話もそっこのけにし、動作を行うのに夢中になっているグループや、うまく動作が行えず大笑いしているグループなどがあり、講師から「上手くいってもいなくても、今、頭が活発に動いていますよ」と声をかけられていました。

「こんな楽しい講演初めて受けたわ」、「明日から体操を取り入れて、認知症予防するわ」など、満面の笑みを浮かべながら会場を後にされる方が多く、来場された時よりも気分良く帰ってもらうことができたのではないかと感じました。

今回のような楽しい体験や参加者同士が協力しながらレクを行う事で、知らない者同士でも自然にふれあい笑いあえたことは、参加者にとって貴重な体験となったのではないのでしょうか。今後の地域での集まりや活動にも是非、レクや体操を取り入れてもらい介護予防・認知症予防から始まる地域の輪が広がっていくように社協も支援していききたいと思います。



田坂

連載 知ってください、社協の事業

その⑬ 訪問介護（ホームヘルパー）事業

高齢者、障がい者のお宅にホームヘルパーを派遣して、身体介護（入浴、食事、排せつなどの介護）、生活援助（調理、掃除など）等の介護サービスを提供する事業です。熊野市社会福祉協議会では3か所の事業所を運営しています。熊野市内の介護が必要な方の生活を支援しています。373・6kmという広範な活動エリアの中には、移動だけで相当な時間を要するケースも数多くあり、現場はもちろん、運転技術、スタミナも求められます。（笑）

しかしながら、今後進むであろう介護量の増大を考えた時、それを支える人材の確保が急ぎ重要な課題です。仕事を沢山させていただけのこととはとてもありがたいことであり、責任の重大さからやりがいを感じますが、止む無くお断りする辛さや、時間の制約により安全面の不安を覚えるとき、需要と供給のバランスの重要さを痛感します。当会と致しまして、引き続き積極的に人材の確保に力を入れてまいります。皆さんの周りに資格や意欲がある方がおられたら、是非お声掛けをお願いいたします。（事業所はどちらでも構いません）このような大きな問題は、到底事業所だけで解決できるものではありません。どうか皆さんのお力添えをお願いいたします。



お笑いふくし川柳

皆さん初めまして。くまおばしょう(芭蕉)と申すぞい。

わしは、お笑いふくし川柳を趣味としていての～、そこでみんなの考える川柳も聞きたいんじやが、お題は、わしが出すから最後の5文字を答えてわしを楽しませてみよ！

わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。お題は全部で3つあるので、自分が一番自信のある答えを1つ選ぶのじや。

それでは問題じや！

- ①ふれあいフェスタ ・ちいきのわ わらってたのし ○○○○
- ②ホームヘルパー ・だいどころ うしろすがたが ○○○○
- ③ボランティア ・ボランティア えがおもらって ○○○○

はがきを選んでお題の番号と“おち”となる5文字の言葉、住所、氏名、年齢、感想などを書き 〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送りください。待っとるぞい。

前回クロスワードパズルの
答えと当選者

答え 「すかいつりー」
当選者は次の方々です。
庵前マサ子さま
井本成美さま
奥 冷子さま
前川さえ子さま
湊 芳文さま



悲しんでちゃ、素敵な出会いが逃げちゃうわよ！
今までありがと♡ (かよ)



リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】 5月15日（木）締切
ベビーベッド



登録を募集中！

【譲ります】

「もう使わないけど、きれいだから捨てるのがもったいない…」ぜひご登録ください。なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

「欲しいけど新品を買うのは…」登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 田坂



新規採用職員のご紹介

お知らせ

5・6月の無料法律相談

◆開催日 5月20日（火）

（予約締切5月19日（月） 15時）

6月17日（火）

（予約締切6月16日（月） 15時）

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 桑原



この春、新たに採用した職員11名をご紹介します。何事も初めてのことがありますがよろしくお願いいたします。



井戸居宅介護支援事業所 室谷京美



地域福祉係 田坂英明



井戸通所介護事業所 鍛冶本真介



紀和通所介護事業所 森下誉之



飛鳥居宅介護支援事業所 岡村好美



井戸通所介護事業所 濱畑弘昭



飛鳥訪問介護事業所 西口佐喜



訪問入浴介護事業所 田中麻衣子



井戸通所介護事業所（神川、新鹿担当） 東 長代



飛鳥訪問介護事業所 今町則子



井戸訪問介護事業所 濱畑共光

車椅子を寄贈して
頂きました。

本町の中野俊秋様から、「福祉活動に役立ててください」と車椅子5台の寄贈がありました。当会では、この車椅子を各事業所で、有効に活用させて頂いております。本町にあ

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,322世帯

人口 18,397人
(男8,414人/女9,983人)

65歳以上 7,300人
(男2,939人/女4,361人)

熊野市の高齢化率39.68%
(平成26年4月1日現在)

あともがき

社協で働き始め、今年初めての異動がありました。今までと違う職務に毎日不安であたふたしております。わからないことだらけの毎日ですが、頼れる上司2人にいつも助けて頂いています。

そして今年度から福祉くまもの担当となりました。こちらも初めてのことでいろんなことで苦戦するかと思いますが、日頃の業務と共に少しずつ成長していきたい、皆様にも読んでほしいと思っておりますので今後ともよろしく願います。（おか）

りがとうございました。



福祉

まほ

私たち地域福祉課の職員は、すべての人が安心してこの地域で暮らせることを目標に活動しています。これはとても大きな目標であり、達成できるものではないのかもしれませんが、その目標に近づけるよう一歩一歩、皆さんのもとに「笑顔」と「安心」を運び続ける努力をしています。地域にお伺いした際には、ぜひご協力をお願いします！

地域福祉課長 障がい者就労支援担当 桃原 孝 福嶋利枝子

権利擁護担当 奥西江里奈

地域福祉係 田坂英明

ボランティア担当 桑原涼

地域福祉係長 岡本知也

平成26年7月4日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

No. 53

検索

CLICK

熊野市社会福祉協議会



熊野市社協イメージキャラクター「まほちゃん」

平成25年度事業報告および決算報告

社会経済が回復の兆しを見せる一方で、少子高齢化、認知症高齢者、虐待の問題などさまざまな福祉課題がクローズアップされています。地域福祉の中核的役割を果たす組織として、常に「住民のみなさまの熊野市社会福祉協議会」であることを念頭に置き、福祉のまちづくり実現のため、地域のみなさま、関係機関と協働しながら事業の推進に努め、住民が主役となった福祉のまちづくりの推進、確立を図れるよう努めてまいりました。

法人運営

財務管理及び労務管理の適正化を図る上で、理事会をはじめとする各種会議において、より経営状況が把握しやすい資料の提供に心がけ、役員等の事業経営への参画がより一層得られるよう努めました。また、活動基盤の強化を図るため、有資格者の人員補充による体制強化や、福利厚生、人材育成研修の充実を図り、働きがいと魅力ある職場環境への改善と整備に努めました。

地域福祉事業

活動の担い手確保と育成という喫緊の課題に対して、各種講座を通じたボランティア養成や各地区に配置する福祉委員研修会の開催など、社協支部を中心とする地域福祉活動の支援に努めました。今後の、具体的な福祉活動の展開に向けて、積極的に地域に向く機会を設け、地域の実情と福祉課題の把握に努め、活動を通じた広報により、信頼される社協を目指しました。

介護保険事業

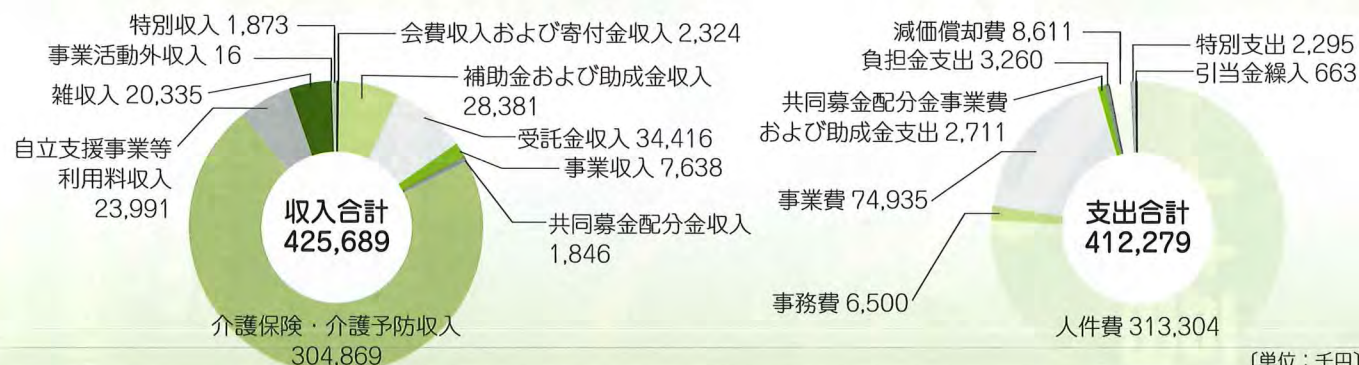
祝日営業に伴い、介護保険事業等を利用される皆様にとつて、より身近な事業所となる第一歩を踏み出し、また、特殊浴槽や車輛買替など老朽化する設備等の整備も計画的に進めるなど、より安心してサービスをご利用頂けるよう努めました。経営的に厳しい事業においても、継続してサービスが提供できるよう経費節減に努めつつ、内容の充実と向上に努めました。

その他各種事業

三重県社協や熊野市からの受託事業や補助事業を適正に実施し、各事業の充実と見直しを重点的に行いました。三重県から受託した障がい者就労支援事業においては、厳しい雇用状況の中、様々な関係機関と連携しながら雇用につなげるなど、誰もが市民の一人として住み慣れた家庭、地域で安心して、自分らしい自立した生活を送れるような支援を心がけました。

決算報告

事業報告にもありますように、平成25年度の決算は、老朽化した施設整備や車両整備を進めながらも、祝日営業に伴う介護保険サービスの収入増と人件費等の抑制により、13,410千円の収支差額を生み出すことができました。今後も、安定した組織経営により、住民の皆様には、よりご安心・ご満足頂けるサービスの提供に努めてまいります。



社協支部会議に 参加しています



地域福祉課では、地域の課題や現状について、より近いところから把握したいという思いで総会や役員会など、各社協支部の会議に参加させていただいています。社協職員の顔を覚えてもらうということも参加させて頂く大きな理由のひとつです。

私たちは、地域の皆さんと一緒に活動に取り組むことが、地域福祉を進める社協の大きな役割であると考えています。会議に参加させていただくことのありがたさを感じ、時には厳しい意見も頂戴しながら、これからの熊野市の地域福祉に何が 필요한のか、何が社協の役割なのかを明確にしていきたいと思えます。

熊野市では、今後人口が減少し高齢化に拍車がかかる予測されています。

これは、全国的にも同じ傾向であり、単身や認知症の高齢者、障がいを持った方々の高齢化など、地域を支えるべき年代が減少していくなかで、地域で支え合う仕組みづくりが重要となってきます。これらは、私たち社会福祉協議会の職員だけでは解決できない課題であり、地域の皆さんの協力をいただきながら、一緒に考え、取り組んでいかなければと考えられています。

これからも、地域福祉を担う法人として、地域に近い存在でいられるよう努力していきますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願います。



【社協支部会議の様子】

みなさんの身近な相談相手

福祉委員研修会

熊野市では現在、256名の方が福祉委員として活躍されています。福祉委員の活動は、熊野市社会福祉協議会が掲げる「誰もが笑顔でくらするまちづくり」をもとに、より身近なところで地域の高齢者や要介護者などの相談相手となり、生活課題や悩み事の早期発見や解決策への支援を行っています。今回、福祉委員を対象として6月8日(日)文化交流センターで研修会を開催しましたのでご紹介いたします。

「住み慣れた地域で、自分らしく、暮らし続けられる地域の実現をめざして」と題して、全国コミュニケーションライフサポートセンター 理事長 池田昌弘氏にご講演いただきました。

講演では熊野市の人口推移にふれ、四十年後には人口の減少とともに高齢化が進み、このままだと大変な時代を迎える事になると予想されていました。その後、全国の様々な成功事例を紹介いただきました。移動販売車が地域のサロンの場を作っている事例や、ラジオ体操を使って地域のふれあいの場を作っている事例など、どれも少しの工夫があれば実現可能なものが多く、参加した福祉委員もしきりに講師の話に頷いていました。

また、「介護保険制度が始まり、各福祉施策の充実により、援助を必要とされている方々への支援は一見充実してきたといえるかも知れないが、それが逆に地域の福祉力低下を招いている一つの原因となっているのではないか」とも指摘されていました。

これからの地域づくりは、制度と地域の支え合いのもと、出来る限り在宅で生活出来るような取り組みが必要となってきます。今、私達たちが出来ることを精一杯行うことで、現在、支援を必要としている方はいまよりも少なく、私達、これから生まれてくる子供達にも住みよいまちづくりとなります。社協は、そんな地域の活動を応援させていただきます。



【福祉委員研修会の様子】

新社協支部長をご紹介します

健康で楽しく暮らせるように、
社協神川支部長 津本モト子

社協の私たちの努めは、「住み慣れた地域で健康で楽しく暮らし続けるようにお手伝いをしていくこと」だと思えます。

神川町は健康な暮らしをしていくのにぴったりの町です。山に囲まれ、春は1000本の桜に始まり、四季は木々がそれぞれの色を呈します。

空気がきれいです。中央にはきれいな川が流れ、夏には鮎が放流されます。朝は早くから小鳥のさえずりも聞かれます。環境が良いので元気な方が多く、80歳代でも現役で中心となっている方が多くいます。

田、畑の仕事に精を出しておいしい米、無農薬の野菜を作って都会の孫へ送ります。それはとても生き甲斐のある生活ですが、夜になると、時に囲いをして、猪、鹿、猿が出没し、井が出た時や収穫間際の野菜を食い荒らしてゆきま

す。無惨な畑を発見した時は、私達の心を傷つけてゆきます。それでもあきらめずに再挑戦している姿には頭が下がります。

動物よ出てこないで!! 祈ります。

自然豊かなこの町です。みんなが自分らしく過ごせること、地域の方々と協力して取り組んでいきたいと思えます。



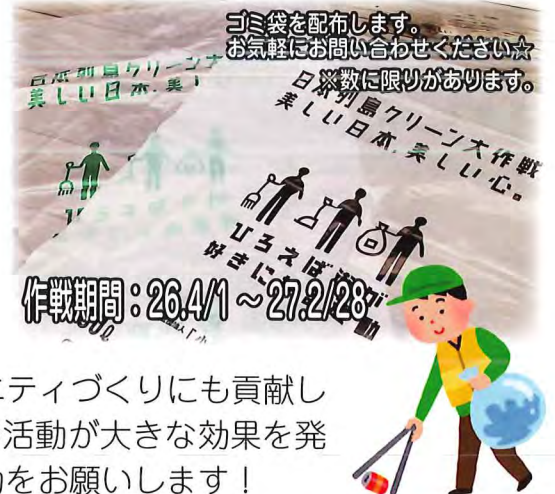
熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当：桑原 涼
住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
メール：r.kuwabara@k-shakyo.com

美しい日本、美しい心。
日本列島クリーン大作戦
全国各地で展開中!

日本列島クリーン大作戦は、「美しい日本、美しい心。」をスローガンに公益社団法人「小さな親切」運動本部が行っている全国で約32万人が参加する美化活動です。

美化活動を通じて、参加者の地域や環境・資源への関心を高めるとともに、助け合いの気持ちに支えられたコミュニティづくりにも貢献しています。「道に落ちているゴミを拾う」そんなちょっとした活動が大きな効果を発揮します。作戦成功には皆さんの力が欠かせません。ご協力をお願いします!



くまのちびっ子ボランティアグループとは、市内の小学生のボランティアグループです。主な活動は地域のイベントへの模擬店出店や募金などで、メンバー全員でどんなことをすれば良いか、賑やかに考えています。先日の社協ふれあいフェスタでもヨーヨー釣り、スーパーボールすくいの模擬店、県内のボランティア団体を支援している「(公財)三重ボランティア基金」の募金活動を行いました! 今後は11月に開催される市民健康スポーツ祭等での活動やお楽しみ会を企画しています。

熊野市ボランティアセンター行事予定

熊野市ボランティアセンターでは、各種講座を予定しています。詳細が決まり次第、新聞や熊野市社協ホームページ、フェイスブック等で発表いたしますので、お見逃しなく!

- ☆ボランティア養成講座
- ☆給食ボランティア体験
- ☆災害ボランティアコーディネーター養成講座
- ☆介護教室
- ☆小学生ボランティアスクール

助成金情報

第12回MPDドリーム助成金

応募資格…
三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ

助成内容…

- ①学習会・研修会の開催
- ②先駆的・モデル的活動
- ③器具・機材の購入 等

助成金額…1グループ20万円

応募締切…

平成26年8月20日(水)

※詳しくは、熊野市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

ひとこと

ボランティアの原則をご存知ですか?
一般的に、自主性・無償性・社会性・創造性の4つが原則といわれます。
ボランティアに決まった形はありません。いつでもどこでも自分にできることから無理のない範囲で活動していきましょう!

**熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数**

*団体数 22団体
(1,079名)
*個人 5名

平成26年5月31日現在



ふれあいいきいきサロン紹介

グループ名 すこやか飛鳥フレンド

代表者 竹平 巨嗣さん

会員数 30名

活動内容

健康増進のため、年4回の健康体操や健康講話の開催、週2回のグラウンドゴルフを行い、健康への呼びかけや情報交換をしながら親睦を深め、地域の活性化に努めています。

活動を始めたきっかけ

社協の広報を見て、いきいきサロンの助成を知りました。グラウンドゴルフも歩くことが多いですが、もっと健康のことを知ってもらうために、健康講話や体操を取り入れたいと思ったことがきっかけです。

今後の活動予定

大阪の老人会（百年会）にも話をもつていき、会員を広げていきたいと思っています。また、学校との関係作りのため、運動前の柔軟体操の方法などを先生に指導していただきたいと思っています。親睦の会として、地域の方々との交流が広がること、様々な取り組みを行うことでその関係者と知り合える。そんな人との出合いを大切にしていきたいと思っています。



連載 知ってください、社協の事業 その⑭

地域福祉権利擁護事業

「生活支援員を募集しています！」



判断能力の不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービスの利用援助などを行っている「地域福祉権利擁護事業」は、高齢化が進むこの地域で、住み慣れた場所で生活し続けていくために、重要な役割を果たしている事業です。

その中でも、生活支援員は利用者の直接支援をしていただくという大切な役割を担っていただいております。利用者と真剣に向き合い、責任感を持って援助してくれています。認知症や知的、精神障がいを持った方など、判断能力や理解力が不十分な方に支援を行う大変さがありますが、信頼を得られたときの嬉しさはとても大きなものがあります。

生活支援員はボランティア的な活動であり、多くの報酬を見込めるものではありませんが、認知症高齢者や障がいを持った方々を地域で支えることができるやりがいのある仕事です。私たちと一緒に地域福祉権利擁護事業に取り組んでみませんか？

経験や資格は問いません。ぜひご協力をお願いします！



担当：奥西

大好評につき、第2弾！

お笑いふくし川柳

前回は多数の応募があって嬉しかったの～好評につき第2弾をするぞい！

お題はわしが考えるから最後の5文字を答えてわしを楽しませてみよ！

わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。

お題は全部で3つあるぞい。自分が一番自信のある答えを1つ選ぶのじゃ。それでは問題じゃ！

- ①リサイクル・ふようひん さいどやくだつ ○○○○
- ②リサイクル・いらぬなら さがしてみよう ○○○○
- ③ボランティア・ひとのため ちいさなことの ○○○○

7月31日までに

はがきを選んだお題の番号と“おち”となる5文字の言葉住所、氏名、年齢、感想などを書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送り下され。待っとるぞい。



前回の作品紹介と当選者！

◆作品紹介(一部)

だいどころ	うしろすがたが	【おどってる】
ちいきのわ	わらってたのし	【たべまくり】
ボランティア	えがおもらって	【やるきます】

当選者は次の方々です。

津本敏子さま、波戸与七さま、津本巧さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

登録を募集中！

【譲ります】

「もう使わないけど、きれいだから捨てるのがもったいない…」ぜひご登録ください。

なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲りたい方へ】

「欲しいけど新品を買うのは…」登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 田坂



お知らせ①

7・8月の無料法律相談

◆開催日 7月15日(火)

(予約締切：7月14日(月) 15時)

8月19日(火)

(予約締切：8月18日(月) 15時)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。
※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 桑原



お知らせ②

非常勤介護／看護スタッフ募集

わたしたち熊野市社協が、大切な思いをこめて実施する介護サービス。あなたがもつ資格をいかして、お手伝いいただけませんか？

気軽にお電話ください。

募集スタッフ

通所介護事業所／介護

訪問介護事業所／登録ヘルパー

あゆみ事業所／看護・介護

担当 総務課 総務係



多額を寄付

山びこ愛好会(会長 須川雄次)様から、「地域福祉向上に役立ててください」と多額を寄付して頂きました。寄付者の意向に沿うよう、有効に活用させて頂きます。本当にありがとうございます。



お知らせ③

介護職員初任者研修の受講生募集

趣 旨…離職者等を対象に、就労支援と福祉人材の確保を目的とします。

研修期間…平成26年9月12日～平成26年11月12日

受講場所…三重県社会福祉会館ほか

応募要件…三重県に住民登録している満65未満の方。

募集定員…39名(応募者多数の場合は抽選)

募集期間…8月1日～29日(必着)

受講料…無料(教材費は実費負担) 問合せ先…三重県社会福祉協議会
Tel 059-227-15160

「福祉・介護・看護の就職フェア」

趣 旨…福祉・介護・看護のお仕事を探しの方を対象に就職セミナーと就職相談会を開催します。

日 時…平成26年7月13日(日)

午前10時30分～12時
午後1時～3時30分

会場…三重県総合文化センター
対象…一般・学生

※午前中のセミナーのみ申込が必要です。

問合せ…三重県社会福祉協議会
三重県福祉人材センター
Tel 059-227-15160

あとがき

だんだん暑くなってきました。暑いのが苦手な私には夏はつらいです。

梅雨のじめじめする暑さも嫌ですが、梅雨が明けてからの暑さも嫌ですね。これからも暑い日が続くので皆さん、熱中症など体調管理には十分注意し水分補給などしっかりとるようにしましょう。

最近、休みの日には中学生の部活動を指導しているのですが、なんと「教える」「伝える」ということが難しく下手で…。今までほとんど教える側ではなく、教えられる側だったものです。

「教える立場」というものは大変だなあ」と指導しだして常々思うようになりました。しかし少しでも教えたことが伝わり、生徒たちができるようになった時は嬉しいものがあります。もうすぐ大会です。生徒とともに悔いのないよう頑張りたいと思います。(おか)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,362世帯

人口 18,431人
(男8,449人／女9,982人)

65歳以上 7,320人
(男2,949人／女4,371人)

熊野市の高齢化率39.72%
(平成26年6月1日現在)

福祉

くまの



室谷 京美



南 由香



濱畑 弘昭



鍛冶本真介



杉浦 美里



榎本ちづる



岳野 香代



濱田 真咲



田中麻衣子



大和田 祐輔



松田あき絵



崎久保育子



大江 早百合



不破 利夫

CLICK

検索

熊野市社会福祉協議会



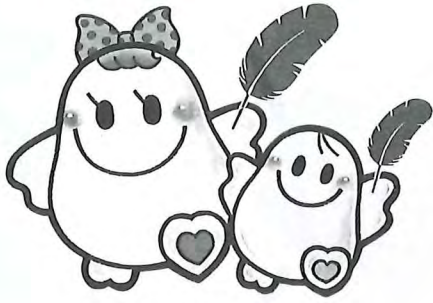
熊野市協イメーキキャラクター
「くまちゃん」

熊野市社会福祉協議会 井戸事業所の介護保険（ケアマネジャー、ヘルパー、
デイサービス、訪問入浴）の職員の面々です。見てくださいみんなの笑顔！
“いつも笑顔とまごころを”をモットーにこれからも質の高いサービスを提供
できるようにながらばりますので、どうぞよろしくお願ひします。

平成26年9月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

No. 54



～じぶんの町を良くするしくみ～ 赤い羽根共同募金運動が 10月1日スタートします！

熊野市共同募金委員会の今年の目標は **2,643,300円**です。

◆目標額とは？

「地域で行われる福祉活動に必要な額」をもとに、事前に使い道の計画を立てます。この計画に対し、「各市町で今年は地域福祉活動にこれだけの資金が必要」と決められ、それが目標額となり、運動が展開されます。

◆どんなことに使われるの？

募金の配分先は社協だけでなく、NPO法人などでも活用され、自分たちの町の地域福祉向上に活用されます。

今年は社協支部やボランティア団体などの高齢者、障がい者のための活動助成をはじめ、福祉啓発イベントや、ひとり親世帯へのランドセル購入のための一部助成などに活用する予定です。

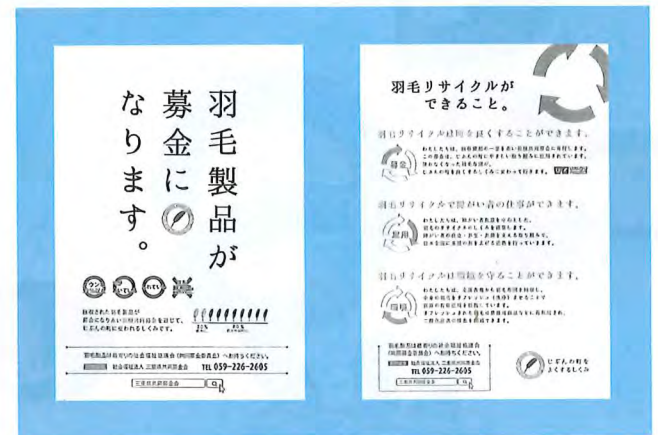
◆募金にはどんな種類が？

区、自治会や町内会、社協支部を通じて各家庭にお願いする戸別募金。職域、学校など生徒の皆さんにお願いする学校募金。社協の職員やボランティアにより皆さんに街頭でお願いする街頭募金などがあります。

◆羽毛布団も募金に！

この取り組みは全国各地から不要になった羽毛布団を回収し、羽毛をリフレッシュ(洗浄)することで資源の有効活用を目指し、その一部が赤い羽根共同募金を通じて、自分たちの町に配分されるといったシステムです。

ご家庭で不用となった衣類や布団がありましたら、ぜひご協力ください。



～皆様のあたたかいご協力をお願いします～

募金に関する
お問合せは…

熊野市共同募金委員会 TEL 0597-89-5000まで

ゆるキャラ

県内の社協で初!?

〜熊野市社協イメージキャラクター〜

みんなに親しまれる

存在に



ましゃんは平成18年に熊野市社会福祉協議会のイメージキャラクターとして誕生しました。

このイラストは当時中学生の尾鼻さやかさんが考えてくれたのですが、もっともっと皆さんに熊野市社協の活動や「くましゃん」を知ってもらいたいという思いから、着ぐるみを製作しました。



これから社協のイベントはもちろん、色々な場面に出没しますので、ぜひ末永くかわいがって、応援してあげてください。



- 「なまえ」 くましゃん
- 「性別」 女の子
- 「仕事」 熊野市社協のPR活動
- 「年齢」 8歳
- 「特技」 みんなを笑顔にすること
- 「身長」 ないしょ
- 「体重」 ないしょ

ふれレク

地域の

「つながりと助け合いの心」

7

月6日(日)有馬小学校体育館において「ふれあ

いレクリエーション大会in有馬」を開催し、大会史上最多となる68名の皆さんが参加されました。当日、クツ引きで分けられた各チーム。初対面で、前半では、自己紹介をしたり、握手を交わす姿に緊張気味なところも見られましたが、ゲームの進行とともに、「わあ〜」「やった〜」などの歓声が上がリ始め、順位表を気にかける一喜一憂したり、空き時間には、おしゃべりを楽しむ仲良しグループが出来たりと、とても和やかな雰囲気へと変わっていきまし

た。お互いにアドバイスしたり、時には真剣に作戦を練って共に悔しがったりする姿を目にするこ

とで、この大会を通して、地域の「つながり」や「助け合いの心」を実感することができました。

今大会にご参加いただいた有馬地区の皆さま、そして準備と大会の運営にご協力いただきました有馬支部役員の方々に、心よりお礼申し上げます。





熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 桑原 涼
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: r.kuwabara@k-shakyo.com

今年も
やります

ボランティア講座 開講決定!

ボランティア活動に興味がある人や実際に活動をやりたい人、やりたくてもきっかけがない人を対象に、ボランティア講座を開講します。

ボランティア活動をやったことがない人はもちろん、現在も活動している人も大歓迎!

今回の講座では、実際にボランティア活動を体験できるので、お申込みをお待ちしています♪



第1回 「『ボランティア』と聞いて、どんなコトを想像しますか？」

9月20日(土) 午後1時30分~午後3時 熊野市保健福祉センター

講師: 三重県ボランティアセンター ボランティアコーディネーター 北出 真由美氏

第2回 「ボランティアを体験してみよう!」【選択制】

9月下旬~10月の間で半日程度。

参加者と施設・団体と日程を調整した上で、ご案内いたします。

体験先分野(予定): ①子ども ②高齢者 ③障がい者

第3回 「体験の振り返り、講座のまとめ」

11月8日(土) 午前9時30分~正午 熊野市保健福祉センター

グループワーク等を行います。

参加費 各回無料
対象者 ボランティアに興味のある方で、できるだけ全講座通して参加できる方
※途中参加でも構いません。
申込締切 9月17日(水)
申込先 熊野市ボランティアセンター



ひとり暮らしのお年寄りの自宅へ手作りのお弁当を届けている給食ボランティアさんの活動を、新鹿町の小学生が体験しました。盛付から配達まで手際よく、とても頑張ってくれました♪ ご協力いただいた社協新鹿支部の皆様、ありがとうございました。

暖かいご支援、ありがとうございました!

社協ふれあいフェスタにおいて、くまのちびっ子ボランティアグループが募金活動を行いました。集まった募金は、三重ボランティア基金に寄付いたしました。

募金額: 15,722円

初開催! あったかいご教室。熊野市地域包括支援センター、特別養護老人ホームたちばな園の方々等、福祉の最前線で働く職員さんを講師にお迎えし、介護に関する知識や技術を学びました。実技では、真剣に、時には笑顔で楽しみながら取り組みました。



助成金情報

◎子どもたちの「こころを育む活動」
締切平成26年9月30日
応募できる活動①学校と関わりながら、地域、家庭、企業などいろいろな立場の人がともにおこなう活動 等
表彰全国大賞…賞金100万円(1件)
優秀賞…賞金30万円(若干数)
申込み(ネット上での申請となります。)
http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/
◎ゆうちょ財団金融相談等活動助成事業
締切平成27年1月31日
助成対象活動高齢者ならびに大規模災害の被災者等を対象とした金融相談 等
助成額一活動あたり10万円
※詳細については、熊野市ボランティアセンターもしくは、各助成事業実施団体までお問い合わせください。

ひとこと

ボランティアの原則①「自主性」について
ボランティアの原則のひとつ、「自主性」。当然ですが、自主的であれば何をしても良い訳ではありません。ボランティア活動を行う側・それを受け入れる側双方にとって、気持ちの良い活動を行っていききたいですね。



熊野市ボランティアセンター 登録ボランティア数

*団体数 25団体
(1,128名)
*個人 6名

平成26年7月31日現在

6月30日に社協会長が百歳のお祝いの為、新鹿町にお住まいの竹内としさんのご自宅を訪問しました。竹内さんは昔、体が弱かったそうですが、年を重ねるとにお元気になられたそうです。

昔から人に喜ばれることが好きで、道の掃除をして近所の方に「ありがと」と言われるのが嬉しく、生きが이었다そうです。本当に百歳とは思えないほど元気で、日中は椅子に座り、娘さんと好きな歌を歌って過ごされ、ご自身の事はほとんど自分でされるそうです。夜はベッドではなく、敷布団に寝ておられると聞いた時はビックリしました。記念品贈呈の際には涙を流し喜ばれていたのがとても印象的でした。

一世紀を生き抜いてこられた中では、悲しい事や嬉しい事、たくさん経験されたことでしょうか。
竹内さん、百歳おめでとございます。末永いご健康とご幸福を心よりお祈りいたします。



連載 知ってください、社協の事業 その⑮

熊野市ボランティアセンター

「ボランティア」と聞いてどんなコトを思い浮かべますか？一口にボランティアといっても、朝の散歩中のごみ拾いから、災害時の復旧作業まで、その活動の幅はとても広いものといえます。

ボランティアセンター（通称：ボラセン）では、情報提供をはじめ、ボランティアをしたい人・してほしい人との結びつけ、ボランティア活動保険への加入及び保険料の補助等を通して、ボランティアを実践する皆さんを応援しています。

また、ボラセンでは、ボランティアについて理解を深めるためのボランティア講座や、市内小学生を対象にしたボランティアスクール・くまのちびっ子ボランティアグループ活動、給食ボランティア体験、将来の介護に備える介護教室など様々な企画を実施しています。

ボランティアをやってる人はもちろん、ボランティアに興味がある人、やってみたいけど何から始めればいいのか分からない人、ぜひ一度ボラセンに足を運んでみてください。何か新しい発見ができるかも知れませんよ。



担当：桑原

大好評につき、第3弾！

お笑いふくし川柳

少しずつ応募してくれる方が増えてきてうれしいぞい。

好評につき第3弾をするぞい！

お題はわしが考えるから最後の5文字を答えてわしを楽しませてみよ！

わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。

お題は全部で3つあるぞい。自分が一番自信のある答えを1つ選ぶのじゃ。それでは問題じゃ！

- ①ゆるキャラ・にんきもの アイドルなみに ○○○○
- ②ちょうじゅ・ながいきの ひけつはなあに ○○○○
- ③たすけあい・ごきんじよと おたがいさまで ○○○○

9月30日までに

はがきに選んだお題の番号と“おち”となる5文字の言葉住所、氏名、年齢、感想などを書き
〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送り下され。待っとるぞい。



前回の作品紹介と当選者！

◆作品紹介(一部)

- ふようひん さいどやくだつ 【じじとくわ】
- ふようひん さいどやくだつ 【きみとほく】
- いらぬなら さがしてみよう 【おすそわけ】

当選者は次の方々です。

辻之内辰友さま、中村みち子さま、小畑小雪さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】9月16日(火) 締切
※申込みが重なった場合は、抽選になります。

①チャイルドシート



登録を募集中!

【譲ります】
「もう使わないけど、きれいだから捨てるのがもったいない!」「ぜひ登録ください。」

なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

「欲しいけど新品を買うのは…」登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲り合います。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

担当 地域福祉係 田坂

お知らせ①

9・10月の無料法律相談

◆開催日 9月16日(火)

(予約締切:9月15日(月) 15時)

10月21日(火)

(予約締切:10月20日(月) 15時)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター
1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。

担当 地域福祉係 桑原

在宅福祉の充実へ

この度、井戸町 故大桑増生様より訪問入浴車1台(600万円相当)を寄贈して頂き贈呈式を行いました。

贈呈式では奥様の慶子さんが「熊野市唯一の事業である訪問入浴事業で市の在宅福祉が少しでも充実すれば」とご挨拶。

当会では、

寄付者の意向に沿い、熊野市の在宅福祉向上のため有効に活用させて頂きます。

本当にありがとうございました。



お知らせ②

資格・免許活かして輝きを

介護資格や看護師免許をお持ちのみならず、その資格や免許を活かしていただける日を熊野市社会福祉協議会では、お待ちしております。

福祉、介護の3K(きつい、きたない、きけん)なんて言葉をよく耳にしますが、

気持ち次第です!今一度、ご覧ください。この「福祉くまの」の表紙に写った職員の方々を。どうですか?作り笑顔なんかじゃありませんよ。(…おそろしく)

(K) (K) (K)
きつと、昨日より、輝く、自分が発見できるはずですよ。

【随時募集中】

登録ヘルパー、看護スタッフ、デイサービス介護スタッフなど
まずは、総務課までお問い合わせください。

担当 総務課 総務係



あとがき

まだまだ暑い日が続きますね。そろそろ涼しくなってほしいものです。

毎年見ている熊野大花火も終わり、楽しみにしている甲子園も終わってしまいました。今年の甲子園はすごかったですね!三重高が一回戦勝った勢いをそのままに決勝まで行きました!惜しくも準優勝でしたが最後までいい試合でした。準優勝おめでとうです。そしてお疲れ様でした。

応援していたら野球したくなったので私も今から野球始めましょうかね。まずは地道にキャッチボールからかな。

…でももう少し涼しくなってきました。

今月の表紙どうでしょうか?みんな笑顔しているでしょう。この笑顔を撮るまでに何枚撮ったでしょうか?..

次回の表紙は飛鳥事業所の職員です。楽しみにしていてください。(おか)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,359世帯

人口 18,416人
(男8,430人/女9,986人)

65歳以上 7,345人
(男2,968人/女4,377人)

熊野市の高齢化率39.88%
(平成26年8月1日現在)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	

熊野市社会福祉協議会

検索

CLICK



熊野市社会福祉協議会
「くましゃん」



左手を大きく
拳げている人から
右回りに…

ケアマネジャー
山路 佳代
岡村 好美
岡田 裕紀子
デイサービス
山下 直子
柴田 和輝
平 裕見子
岩本 祐子
ヘルパー
今町 則子
井谷 貞子
西口 佐喜

私たち飛鳥事業所では、デイサービス、ヘルパー、ケアマネジャーと介護保険担当の職員が介護サービスを提供しています。住民の皆さんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、状況やご希望にあわせた支援を行っています。

皆さんが笑顔になれるよう、私たちも『笑顔』を忘れず頑張っています!!

平成26年11月5日発行 熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

祝95歳！ 高齢者慰問事業

この事業は、満95歳の方を対象として熊野市社会福祉協議会長、熊野市民生委員児童委員協議会長などが、ご自宅や福祉施設に訪問してご長寿のお祝いをさせていただきます。今年は大正8年生まれ34名のうち17名の方を訪問させていただきました。

当日は、ご家族総出でお祝いされるお宅や、ひ孫さんまで一緒にお祝いをしてくれたところなど、ご家族の温かみと、出迎えてくださる皆さんの笑顔がとても印象的でした。

そんな中で、皆さんにはたくさんのお話を聞かせていただきました。戦時中の過酷で壮大なドラマや、日課で散歩をしていること、晩酌は欠かさないこと、毎日好きな歌を歌うことなど。長生きの秘訣の一つは、好きなことをしてストレスを溜めないということかなと感じました。たくさんのお話をありがとうございました。

皆さんの今後益々のご長寿と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



ひ孫と一緒に祝い！



95歳おめでとうございます！



長寿を祝い盛大に 乾杯！



敬老会に華を咲かせるフラダンス

敬老会を開催！

今年も市内各地で開催された敬老会。来賓の方々からのお祝いの言葉に参加者は真剣に耳を傾け、また演芸の部では、その地域で工夫を凝らした様々な出し物で会場には笑いが溢れ、年1回のふれあいの場を皆さんで楽しめました。今年度は、そんな地域の力が集まる神川支部の敬老会に、準備の段階から関わらせていただくことができました。

今回、地元の方々と協同して作業を行えたことで、仕出しの手配や演芸の段取り、会場の準備にいたるまで、地元の方々の思いやる人情の厚さがぎゅーと詰まっていることが分かりました。

各地区の敬老会に関わってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

社協ふれあいミニフェスタin育生・神川

今年度は、社協育生・神川支部がタッグを組み、育生町を舞台とし、第8回目のふれあいミニフェスタを12月7日(日)旧育生小学校で開催します。

実はこの両支部、平成19年にも合同で開催した経緯があり、顔見知りの方が多く、両支部の役員や関係者で結成された実行委員会も和気あいあいの中で進められています。



育生町で初めてのミニフェスタ。福祉向上の起爆剤となるよう成功させたいと思います。

当日は身体を動かして楽しんで頂けるように催し物を準備して多くの方の参加をお待ちしています。

地区の事業や行事で忙しい中、この事業に関わってくださっているのは、少しでも地域の役に立ちたいという思いがあるからこそだと思います。そんな気持ちを大事にし、ミニフェスタで作る地域の輪となるように、社協も共に燃えていきたいと思えます。

第63回 三重県社会福祉大会

平成26年10月21日(火)、三重県総合文化センターにおいて、三重県社会福祉大会が開催されました。

式典では、社会福祉の発展に功績のあった方々に対して、三重県社会福祉協議会会長表彰が授与されました。熊野市からは、民生委員児童委員として3名の方々が受章され、過疎高齢化の進む本市において、地域の良き相談役として、地域の福祉の発展に永年ご尽力をいただいております。

受章された皆様には、これまでのご功績に敬意と感謝を申し上げますとともに、更なるご活躍をお願い致します。この度は、誠におめでとうござります。



受章されましたのは次の方々です。

二木島町 下地 通有
五郷町 西村 芳晴
育生町 下村 富一

(敬称略)

社協新支部長を紹介します!

私は、井戸町で生まれ育ち、昨年地元で定年退職をしました。

地元で長く住んでいても、社協活動の知識が何もないまま、今回このような大役を引き受けて頂くことになりました。社協支部役員、民生委員、福祉委員、給食ボランティア、沢山の方々が地域の活動に尽力されていたことに驚いています。支部の仕組みも徐々に教わり、根付いてきた事業を通して、地域の声に耳を傾け密着した活動を目指して微力ながら頑張りたいと思いますので、皆さんの応援と支部活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

社協井戸支部長 松田 明彦





ボランティアセンター情報誌 みんないっしょに大きくな~れ!

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当：桑原 涼
住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
メール：r.kuwabara@k-shakyo.com

ボランティアセンター
イメージキャラクター
いいな



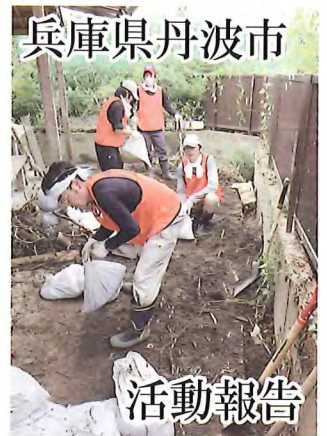
現在、丹波市災害ボランティアセンターは、「丹波市復興支援ボランティアセンター」に名前を変え、被災者の生活復興に向け活動しています。

今夏は各地で台風による大雨や洪水、また秋には噴火等の大規模な自然災害に襲われました。三重県でも初めて**大雨特別警報**が発令されたことは、まだ記憶に新しいと思います。

三重県下では、8月に発生した台風11号の被災地（主に兵庫県丹波市、京都府福知山市）支援のため、NPOや行政、社協等の多様な主体が連携・協力し、「**みえ災害ボランティア支援センター**」が設置され、県内各地からボランティアバスの運行も実施されました。また、東紀州地域からも多くのボランティアの方々が支援を行っており、今も暖かい支援の手が差し伸べられています。

崩れた山肌。流された田畑。丹波市で見たものは、3年前に紀伊半島を襲った台風12号の被害を思い起こさせるものでした。現地では、多くのボランティアが活躍され、徐々に復旧作業が進み始めていました。今後は、土砂撤去等の活動から被災者の生活支援に関する活動が必要になってくると考えられます。

災害が多発する昨近、災害時のボランティア活動はますます重要となっています。しかし、新たな災害が発生すると関心がそちらに向き、記憶が薄れていくこともあります。復旧・復興には多くの人手や資金、そして長い時間が必要です。被災地やその地域に住む人を忘れずに様々な支援を長く続けていけるよう、熊野市ボランティアセンターとしても、被災地へのボランティアバスの運行をはじめ、様々な支援を積極的に行っていきたいと思えます。



兵庫県丹波市

活動報告



平成26年度ボランティア養成講座
知ろう!活動ろう!創ろう!ボランティア講座
(ゆ)

9月20日、開講しました!

三重県ボランティアセンターの北出真由美さんをお招きし、各地で行われている活動や、自分に合ったボランティアのを見つけ方を教えていただきました。次回は、実際にボランティア活動を体験します!

熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
*団体数 30団体
(1,338名)
*個人 6名
平成26年9月30日現在
ボランティア活動保険加入者のみ



ひとこと

ボラの原則②「無償性」

ボラ活動は個人的な利益を目的とした活動ではありません。(活動を続けていくため、交通費等実費を受け取るグループもあります。)ボラ活動を通しての出会いや喜びを大切にしていきたいですね。

助成金情報

『助成金名』でウェブ検索!!

☆NPO法人地域精神保健機構 第11回リリー賞

《精神障がい・自立支援》 締切：平成26年12月31日
精神障がいの社会参加や自立に向けて取り組む個人や団体の活動を支援する助成金です。

※詳細は、助成実施団体または当センターまでお問い合わせください。

今年もやります！

もちつき大会

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されておりますが、熊野市共同募金委員会では、12月13日（土）11:00から保健福祉センター駐車場にて共同募金運動を盛り上げるイベントとして「もちつき大会」を開催します。

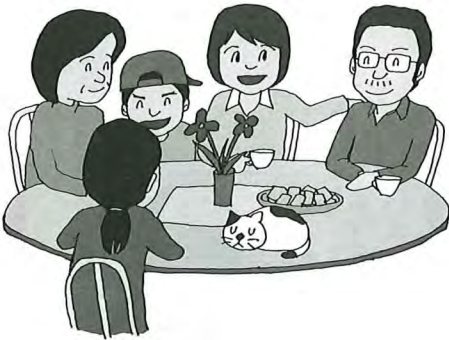
当日はもちつき体験の他、模擬店や抽選会などもご用意しておりますので、ぜひ皆さんでお越しください！



連載 知ってください、社協の事業 その⑯

生活介護事業(熊野市障害者自立支援施設あゆみ事業所)

熊野市社協の生活介護事業所「あゆみ事業所」は、何らかの介護が必要な障がいをお持ちの方に対し、送迎、排泄及び食事（お弁当は各自持参です）の介助や軽体操、レクリエーション、創作活動などをみんなで行う障害福祉施設です。（三重県指定第2411100130号）営業日は月曜日から金曜日（祝日及び12月29日から1月3日は除く）で、現在は毎日平均6名くらいの方が通所されています。毎日のプログラム以外にも、社会見学に出掛けたり（最近プリクラを撮ってきました！）警察署や消防署から職員の皆さんに来てもらって話を聞いたり（車両も見学させてもらいました！）その他季節の行事なども行っています。安全安心は当然のことですが、とにかく、誰もが（スタッフも含めて）一日楽しく生き生きと過ごせる、そんな事業所を目指しています。



まだまだ続くよ！第4弾！

ふくし川柳



好評につき第4弾をするぞい！

お題はわしが考えるから最後の5文字を答えてわしを楽しませてみよ！

わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。

お題は全部で3つあるぞい。自分が一番自信のある答えを1つ選ぶのじゃ。それでは問題じゃ！

- ①敬老会・にぎやかに たのしいかいに ○○○○
- ②もちつき・いきあわせ ちからをあわせ ○○○○
- ③食欲・まんぶくの おなかをさすり ○○○○

11月28日までに

はがきに選んだお題の番号と“おち”となる5文字の言葉住所、氏名、年齢、感想などを書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送り下され。待っとるぞい。

前回の作品紹介と当選者！

◆作品紹介(一部)

- ながいきの ひけつはなあに 【まごのせわ】
- ながいきの ひけつはなあに 【こうきしん】
- ごきんじよと おたがいさまで 【ごぜんさま】

当選者は次の方々です。

向井芳子さま、柿白鈴子さま、倭英生さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】11月18日(火) 締切

※申込みが重なった場合は、抽選になります。

- ① 赤ちゃん用歩行器
- ② 赤ちゃん用歩行器(プーさんハンドル部を支えるバンドが壊れています)
- ③ バンボ(赤ちゃん用椅子)
- ④ 介護用ベッド(電動)



登録を募集中!

【譲ります】

「捨てるのがもったいない…」そのような物があれば、ぜひ登録ください。

なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲ります】

登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。



担当
地域福祉係 田坂

11・12月の無料法律相談

◆開催日 11月18日(火)

(予約締切:11月17日(月) 15時)

12月16日(火)

(予約締切:12月15日(月) 15時)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要です。



担当
地域福祉係 桑原

生活福祉資金貸付制度 「教育支援資金」のご案内

低所得世帯(生活保護世帯を含む)に属する方が修学するのに必要な経費(授業料や入学金等)をお貸しします。

〈対象学校等〉高等学校・短期大学・専修学校・大学等

〈貸付限度額〉

高校3万5千円・短大等6万円・

大学6万5千円以内

(月額)就学支度費50万円以内

〈相談・申込窓口〉

熊野市社会福祉協議会

担当



担当
地域福祉係 岡本

新規採用職員紹介



総務課
総務係

森下 浩江
(もりした ひろえ)

私は高校を卒業して愛知県に就職していましたが、いつかは生まれた熊野で働きたいと思っていました。初めてのことであることも多く大変です。そして以前の職場より職員の人数も多く、皆さんの顔と名前を覚えるのも大変です。でも皆さん優しく接してくれるので毎日充実しています。愛知で働いた経験を生かして総務課の仕事に一杯努力して頑張っていきたいと思えます。迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いします。



福祉サービス事業課
井戸訪問介護事業所

和田 憲明
(わだ のりあき)

10月から熊野市社協でお世話になっております。坊主頭のいかついおっさんで恐縮しております。

大学を卒業後、家業である木材業をしておりましたが昨今の不況も重なり

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,349世帯

人口 18,378人
(男8,411人/女9,967人)

65歳以上 7,351人
(男2,975人/女4,376人)

熊野市の高齢化率40.00%
(平成26年10月1日現在)

あとがき

寒くなってきましたね。暑いより寒い方が私は好きですが…。これからますます寒くなってくると思うのでみなさん風邪ひかないように!

そして、この10月から2人新しい職員が入りました。慣れないところで毎日大変だと思います。私もまだ異動して半年でからないことがまだまだあります。一緒に頑張っていきましょう!

(おか)

福祉

くまの

明けまして
おめでとう
ござます

私たち社協紀和事業所は、
デイサービス、ヘルパー、ケ
アマネジャーが介護保険事業
に従事しています。

地域の皆さまが安心した生
活を送れるよう、心の通った
サービスを提供していきま
す。介護に関する相談等があ
りましたらお気軽にご相談く
ださい。

職員一同これからも元氣と
笑顔をもっとに頑張ってい
きますのでよろしくお願いい
たします。

平成27年1月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

CLICK

検索

くまのししやかい



熊野市社会福祉協議会「くまのししやかい」



デイサービス
寒作 昌人



デイサービス
小形 由美



ヘルパー
栗須 しぐれ



ケアマネ
久保 貴寛



デイサービス
森下 誉之



デイサービス
古田 美幸



ヘルパー
北 順子

新年のごあいさつ

熊野市社会福祉協議会

会長 濱田雅嗣



明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、熊野市社会福祉協議会の事業推進に多大なるご理解とご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、わが国におきましては、少子高齢化の急速な進展や核家族高齢者の一人暮らし家庭の増等、これまで以上に厳しい情勢が続く中、子育てや介護をめぐる問題、児童・高齢者虐待問題、生活困窮をはじめとする深刻な生活課題を抱えた方々への支援など、これまでの社会福祉制度の枠組みだけでは対応することが難しい課題が顕在化してきています。

また、昨年は8月の広島土砂災害、9月の御嶽山の噴火、11月の長野県での震災などにみられるように、全国各地で甚

大な被害をもたらす災害が発生し、今なお不自由な避難生活を余儀なくされておられる多くの方々に対し、継続した支援が求められています。この状況の中にあつて師走選挙が行われ、政治、経済の停滞を思わせます。

このような中、さまざまな課題解決に向け、地域福祉を推進する中核的な団体である社会福祉協議会が果たすべき役割は、ますます重要視されており、

当会におきましても、事業自体の見直しや、人件費をはじめとした経費削減に努めるなど、取り巻く状況は非常に厳しいものはありますが、ボランティアの育成、各社協支部を中心とした地域単位での事業展開、住民のニーズに応じた新たな事業展開、質の高い介護サービスなど、今後も社会福祉協議会としての責任と使命を果たすため「誰もが安心して健康で笑顔の絶えない福祉社会の実現」に向けて、市民の皆様とともに邁進する次第でございます。

年頭にあたり、各社協支部、民生委員・児童委員、社会福祉団体・施設、NPO法人並びにボランティアの方々をはじめ、市民の皆様に一層のご支援をお願いいたしますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願いたします

会長 濱田雅嗣

評議員

上地英志

社協須野甫母支部長

大岡甲吉

副会長

北孝三

大江文章

社協二木島支部長

川下博嗣

理事

濱田秀人

大久保純子

社協遊木支部長

野々村勇

喜田育男

大畑守枝

社協新鹿支部長

喜田裕一郎

佐田重臣

岡部忠澄

社協波田須支部長

喜田裕一郎

阪口任紀

川下博嗣

社協磯崎支部長

上地英志

下地通有

北本誠二

社協大泊支部長

米本佳功

新谷利雄

黒瀧一輝

社協木本支部長

北本誠二

田邊真弓

更家盛一郎

社協井戸支部長

松田明彦

西山ひろ子

清領地利夫

社協有馬支部長

和田博史

室谷隆也

滝爪 清

社協久生屋支部長

濱田秀人

和田博史

立嶋昌洪

社協金山支部長

久保十九生

森本 明

辻本寛子

社協育生支部長

下村富一

和田樹一郎

徳田靖児

社協神川支部長

津本モト子

西 章

野々村勇

社協五郷支部長

辻本吉則

樋口雄史

平谷 正

社協日進支部長

滝爪 清

福岡和子

松島弘子

社協小阪支部長

北 孝三

南三重子

向山兼司

社協両友支部長

北 孝三

森岡寛佳

山崎晏子

社協紀和支部長

新谷 進

山城 敏

米本佳功

社協紀和支部長

新谷 進

和田純子

和田純子

社協紀和支部長

新谷 進



※波田須、日進支部は調整中

平成二十七年 元旦

第5回 熊野市社会福祉大会

11月18日（火）熊野市民会館で、市内の福祉関係者が一堂に会し、第5回熊野市社会福祉大会が開催されました。

本大会では、社会福祉の発展に功績のあった方々への顕彰が行われ、併せて誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現のため、関係機関と地域住民が一体となって、「豊かな自然と歴史の中で人が輝く、活力と潤いのあるまち・熊野」を目指すための大会宣言（案）が読み上げられ、満場一致で採択されました。



☆熊野市社会福祉協議会会長表彰 『民生委員児童委員功労者』

有馬町	溝口 公司
木本町	北本 誠二
紀和町	山川 妙子
二木島町	中西 司
五郷町	徳田 靖児

『社会福祉功労者』

新鹿町	喜田 ヤス子
新鹿町	田岡 ヒロ子
井戸町	森岡 寛治
神川町	山城 勝子
木本町	山内 久子
磯崎町	上地 英志

☆熊野市社会福祉協議会会長感謝

育生町	田岡 豊子
育生町	和田 廣子
井戸町	和田 慶子
大桑	大桑 慶子
倉谷	倉谷 政弘
神川町	

*敬称略

第8回社協ふれあいミニフェスタ

in 育生・神川

育生町といえば、「どぶろく祭り」、神川町では「さくら祭り」が有名ですが、今回のミニフェスタは、それに負けないくらいの盛り上がりを見せてくれました。

実行委員会の時から笑いの絶えない雰囲気です。まさに「ひぐらし山を越えて手をつなごう」というテーマに合った本場に心温まるイベントとなりました。

ミニフェスタを通じて、地域の方々と顔をつなぐことができ、同じ目的に向かって協力し合えたことをうれしく思います。

今後この事業を通して、地域の方々に社協支部・社協を知ってもらい、より良い福祉のまちづくりを目指していきたいと思えます。

両地区の皆さんありがとうございました。



赤い羽根共同募金運動 もちつき大会

12月13日（土）に開催しました赤い羽根共同募金運動「もちつき大会」では、寒い中、子供からお年寄りまで多くの来場者で賑わいました。

もちつき体験では、子どもたちがお年寄りにもちのつき方を教わるなど、楽しみながら世代間の交流ができ、良い体験になったのではないかと思います。

模擬店でも、おでんやクレープなどが好評でした。抽選会では番号が読み上げられる度に歓声が上ががり、大いに盛り上がりました。

ご来場いただきました皆さま本当にありがとうございました。





熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 桑原 涼
住所: 熊野市井戸町1150番地
電話: 0597-89-5000
FAX: 0597-89-3068
メール: r.kuwabara@k-shakyo.com

ボランティアフォローアップ講座

けいちょう

「傾聴の技法」を開講します!

皆さんは「傾聴」という言葉をご存知ですか? 「話をただ聞くだけ」というイメージをお持ちの方もいるかも知れません。

聞くと聴くは何が違うのでしょうか。辞書を引くと、聞くは「音を感じ取る」、聴くは「注意して耳に入れる」とされています。コミュニケーションの基本は、相手の話を「聴く」ことだといわれます。今回の講座では、簡単そうに見えて奥が深い、傾聴の技法を学びます。ボランティア活動に活かしてもよし、日常生活に活かしてもよし。傾聴は様々な場面で活かせる技術です。皆さん、この機会にぜひ傾聴を学んでみましょう!

日時

平成27年1月31日(土)
13:30 ~ 15:00

会場

熊野市保健福祉センター
2階 多目的ホール

講師

NPO法人
四日市傾聴同好会
代表 開発 道代 氏

申込

平成27年1月22日(木)までに、
当センターへお申込みください。

参加費

無料



重要なお知らせ

来年度からボランティア活動保険の内容が改定されます。

①天災プランの保険料引き下げ

プラン名	旧	→	新
天災Aプラン	460円		430円
天災Bプラン	690円		650円

②基本及び天災プランの後遺障害保険金の改定

旧: 後遺障害等級に応じて1級(100%)~14級(4%)
↓ を支払う
新: 後遺障害等級に応じて1級(100%)~14級(2%)
を支払う

熊野市ボランティアセンター 登録ボランティア数

*団体数 32団体 平成26年11月30日現在
(1,603名) ボランティア活動保険
*個人 6名 加入者のみ

ひとこと

ボラの原則③「社会性」

引きこもりや買い物難民… 私たちの住む地域社会には、様々な課題が存在しています。そうした課題を発見し、改善していくためには、一人ひとりが考え、協力しながら行動することが大切になります。

助成金情報

『助成金名』でウェブ検索!!

☆住まいとコミュニティづくり活動助成

《地域・居住・コミュニティ》 締切: 平成27年1月20日
全国の市民主体による自発的な住まいづくりやまちづくり、地域づくりを支援する助成金です。

☆国立青少年教育振興機構子ども夢基金助成金 二次募集

《子ども・体験、読書活動》 締切: 平成27年6月24日
子どもの健全育成を進めるため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプなどの体験活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動等を支援する助成金です。

※詳細は、助成実施団体または当センターまでお問い合わせください。



なんでも講座

11月26日(水)に井戸小学校4年生を対象に「なんでも講座」を開催しました。

今回は、紀南視覚障害者福祉会中村昭義会長を講師に招き、1時限目は、点字の歴史、点字器の使い方等を教えていただき、2時限目は、思いやり駐車場への理解や、障がいをもった方にだけでなく、みんなに対して優しさをもってもらいたいと話されました。児童のみなさんも真剣に中村会長の話に耳を傾け、驚きや笑いの絶えない講座となりました。なんでも講座は、できるだけ皆さんの要望に沿った内容で開催しています。何か知りたいことや学びたいことがあれば、お気軽にご相談ください。



問合せ：熊野市社会福祉協議会
担当
地域福祉係 岡本



連載 知ってください、社協の事業 その⑱

通所介護(デイサービス) 事業

通所介護(デイサービス)とは、施設(デイサービスセンター)に通う介護及び支援が必要な方に対し、様々なプログラムを提供する在宅サービスです。特殊車両で送迎し、食事をとるお手伝いや、トイレへの誘導とお手伝い、ご自宅へ入浴が難しい方には、特殊浴槽で安心して入浴していただくこともできます。また、ゲームや軽体操では体を動かし(笑って)顔の筋肉も、頭の体操も行います。

通所介護は介護サービスですので、ご家族の介護負担軽減を大きな目的としています。入浴介護等で肉体的負担を、また、危険のない施設にすることで、精神的負担の軽減につながります。しかし同様に、利用されるご本人が、多くの人と関わり、時に喜び、時に適度な刺激を受けながら、安心して楽しく一日を過ごす「生きがいづくりの場所」にしていただけなら、大変嬉しく思います。ひとりで食べるご飯より、みんなで食べるご飯は何倍もおいしいですよ。

※詳しくは各事業所もしくは、担当のケアマネジャーにご相談ください。

熊野市社協では
：井戸、神川・育
生、新鹿、紀和、
飛鳥・五郷の5か
所の施設でデイ
サービスを行って
います。



まだまだ続くよ！第5弾！

ふくし川柳



好評につき第5弾をするぞい！

お題はわしが考えるから最後の5文字を答えてわしを楽しませてみよ！今回はお正月にちなんだお題じゃ！わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。お題は全部で3つあるぞい。自分が一番自信のある答えを1つ選ぶのじゃ。それでは問題じゃ！

- ①【はつゆめ】・なんのゆめ みたかわすれて ○○○○
- ②【おとしだま】・おしょうがつ こどもよろこび ○○○○
- ③【かきぞめ】・ふでをもち あたまをひねって ○○○○

1月30日までに

はがきに選んだお題の番号と“おち”となる5文字の言葉住所、氏名、年齢、感想などを書き
〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送り下され。待っとるぞい。

前回の作品紹介と当選者！

◆作品紹介(一部)

にぎやかに	たのしいかいに	【としわすれ】
まんぶくの	おなかをさすり	【たぬきじじ】
まんぶくの	おなかをさすり	【ためいきを】

当選者は次の方々です。

浦本美子さま、倉本善夫さま、日浦田満さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

リサイクル登録制度

「ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。」

登録を募集中！

【譲ります】

「もう使わないけど、綺麗だから捨てるのがもったいない…」

例えば… チャイルドシート・赤ちゃん用歩行器・ベビーベッド・介護用ベッド（電動）等々このような物があれば是非「登録」ください。

なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲り受けたい】

登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。



担当
地域福祉係 田坂

1・2月の無料法律相談

◆開催日 1月20日（火）

（予約締切：1月19日（月）15時）

2月17日（火）

（予約締切：2月16日（月）15時）

◆相談員 堂前美佐子 弁護士
◆会場 熊野市保健福祉センター
1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。
※事前に予約が必要です。



担当
地域福祉係 桑原

ひとり親世帯への ランドセル購入費助成事業

10月1日から赤い羽根共同募金運動が展開されています。

熊野市共同募金会では、各町内会での戸別募金や街頭啓発、様々なイベントでの運動で皆さまのご協力のもと、集まった募金の一部を、4月から市内の小学校へ入学されるお子さまがいるひとり親世帯に対し、ランドセルを購入する費用の一部を助成させていただく予定です。

【対象者】

①熊野市に在住し、平成27年4月1日に小学校へ入学されるお子さまと生計を一にするひとり親世帯。

②市民税非課税または国民年金減免世帯
※①・②の条件をともに満たす世帯を対象といたします。

社協会員加入のお願い

「皆様から頂いた会費が地域の福祉活動を支えています」

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法に基づき社会福祉法人で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を実現するために、住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する民間の社会福祉団体です。

社協会員制度は、これまでも皆様の温かいご理解と応援によって成り立っており、いただきました会費は、広報事業や無料法律相談、ふれあいサロンなどの地区事業などに活用させていただいております。

今後ともこれまで以上に地域の皆様に親しまれ、地域社会の絆を大切に皆様のニーズに応じた地域福祉事業を進めてまいりますので、ぜひとも組織と実施事業にご賛同いただき、会員加入をお願いいたします。

あとがき

明けましておめでとございませう。月日が経つのは早いもので、12月は何かと忙しくバタバタと時間に追われる毎日でした。気が付けばあつという間に2014年が過ぎ、新しい年を迎えていました。

そういえば、今年初めて「くまの駅伝大会」に出場します。昔から長距離が苦手な上に、普段あまり運動していないので体力に自信なんて全くないので心配です。（一緒に走ろう！とマラソンに誘ってくれた方の体力の方が心配ですが…）でもなんとか頑張って走りきり次の走者につなぎたいと思います。

今年も職員一同、地域の皆様のために頑張っていきたいと思っておりますので、熊野市社会福祉協議会、そして「福祉くまの」をよろしく願います。（おか）

平成25年度実績

会員数 158件
金額 1,013,000円

一般会員	1口	1,000円
特別会員	1口	3,000円
賛助会員	1口	5,000円

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,320世帯

人口 18,357人
(男8,414人/女9,943人)

65歳以上 7,366人
(男2,984人/女4,382人)

熊野市の高齢化率40.13%
(平成26年12月1日現在)

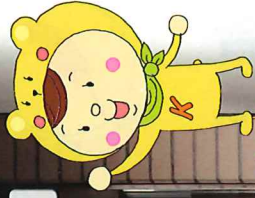
福祉

くまの

CLICK

くまのししやかい

横濱



熊野市社協イターシャヤクター
「くましゃん」



あなとの足元は
高さ 9.6m です
HEIGHT ABOVE 9.6m LEVEL
熊野市

私たち障がい支援系は、障がいをお持ちの方が自分らしく生活していけるよう、障がい者のための通所型サービス（あゆみ事業所）や、障がいを持った方々が様々な福祉サービスを受けられるよう計画、相談、調整を行い、その人それぞれに合う支援をしていきます！皆さん困ったことがあれば、熊野市社協の障がい支援系まで！

その他、高齢者の筋力低下予防のために「筋力向上トレーニング事業」や介護サービスの利用料請求等も担当しております。（仲）

右から
障がい支援系 係長 大久保 昌幸 仲 くに子
あゆみ事業所 西久保 喜保 平 千恵

平成27年3月5日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

No. 57



平成26年度 赤い羽根共同募金運動報告

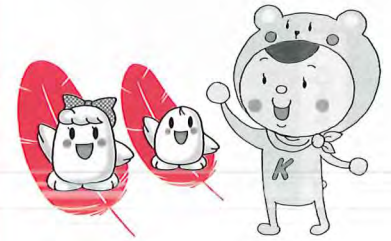
ご協力ありがとうございました。



平成26年10月1日から実施しておりました**赤い羽根共同募金運動**の平成27年2月1日現在の募金額を報告させていただきます。

市内外問わず地域住民の皆さまの温かいお気持ちによって多くの募金をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。

この寄せられた募金は来年度の福祉のまちづくりのため、熊野市内の地域福祉推進事業に活用させていただく予定となっております。



募金方法	金額	内容
戸別募金	2,062,404円	市内各世帯からの募金
街頭募金	76,353円	スーパー等店頭での募金
学校募金	6,158円	市内小中学校からの募金
職域募金	59,825円	市役所等職場での募金
イベント募金	247,190円	市内の運動会、イベントでの募金
個人募金	14,192円	個人で直接寄付していただいた募金
その他の募金	115,735円	募金箱、募金機能付自動販売機等
合計	2,581,857円	

※平成27年度 共同募金配分金使途予定

社協支部助成・福祉団体助成・ひとり親世帯ランドセル購入費助成・社協ふれあいフェスタ・ふれあいいきいきサロン等

今年度より歳末たすけあい募金運動を廃止、一般の募金運動のみとしたことにより、昨年度から行っておりました「もちつき大会」も一般の募金運動として開催させていただきました。当日は多数の来場者で賑わい、抽選会では市内業者の皆さまからたくさんの品物を景品としてご提供していただきました。ありがとうございました。



抽選会に景品提供していただいた皆さま

大崎商店様／オレンジ様／上古代折箱店様／駄菓子屋はなまる様／中谷商店様／森本魚店様



地域で支えよう

認知症講演会

2月5日(木)熊野市文化交流センターで、認知症の人と家族の会 三重県支部代表 下野和子さんをお招きして、認知症の方と向き合う方法を学びました。

「介護をしていた時、自分では正しいと思ってしていた事が、責めているように見えた」と友達に言われた事がある。その時に友達がやさしく声をかけてくれたことで救われた」と話され「見守りや声かけが必要な家族もいる、地域で支える環境づくりが必要」とその必要性を話されました。

介護が身近な問題として取り上げられる中、いかにして地域で認知症の人やその家族を支えられるか、介護でつながる絆づくりをみなさんと考えていきたいと思います。



みんなの笑顔はじけた！

「ふれあいレクリエーション大会 in 金山・久生屋」



今回は、2月22日(日)金山小学校体育館で金山・久生屋地区のみなさんと楽しみました。

この大会を開催するたびに、初めは緊張していても、人と人がふれあう楽しさを実感している姿を見ると、大変うれしい気持ちになります。これからも、地域に笑顔のもとを届けていきますので、みなさんのご協力をお願いします。



井戸小学校 手話講座



神上小中学校 目隠し歩行



神上小中学校 車イス体験



問合せ
熊野市社会福祉協議会
地域福祉係 岡本

知りたい思いに応えたい！

「社協なんでも講座」

1月13日は神上小中学校の全校生徒を対象に車イス体験と目隠し歩行、2月16日は、井戸小学校四年生が手話を体験しました。どちらの講座も、真剣に取り組んでいる生徒の姿が印象的で、体験を通じて学んだことを、これからは活かしてくれるのではないかと期待しています。

社協なんでも講座は、ご希望の内容に応じて開催いたします。ぜひ、ご活用ください。



NO.54

ボランティアセンター情報誌
みんないっしょに大きくな~れ!



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当：桑原 涼

住所：熊野市井戸町1150番地

電話：0597-89-5000

FAX：0597-89-3068

メール：r.kuwabara@k-shakyo.com

何かしたい子、

この指、と~まれっ!

くまのちびっ子ボランティアグループ 新たな仲間を募集中!

くまのちびっ子ボランティアグループでは、新年度からの新しい仲間を募集中です!今年度は、イベントに模擬店を出店したり、募金活動を行ったりと、いろいろな活動を実践してきました。来年度は、年間を通した活動ができれば!と考えています。



☆みんなでいっしょに熊野を盛り上げよう! ☆

☆対象者：平成27年4月1日から3年生以上になる市内の小学生

☆定員：15名程度

☆参加費：100円/年(保険代)

☆詳細は熊野市ボランティアセンターまで。

重要 平成27年度ボランティア活動保険の受付を開始しています。

3月末で平成26年度ボランティア活動保険の補償期間が満了します。

4月1日以降も引き続き、安心・安全に活動していただくためにも**早目の加入がおススメ**です。

※加入プランに関わらず保険料のうち200円/人を補助

※加入申込書は当センターで配布しています



熊野市ボランティアセンター登録ボランティア数

*団体数	32団体	平成27年1月31日現在
	(1,603名)	ボランティア活動保険
*個人	6名	加入者のみ

平成26年度ボランティア・フォローアップ講座

傾聴の技法

を開催しました!

平成27年1月31日(土)、熊野市保健福祉センターにおいて、



NPO法人四日市傾聴同好会 代表の開発道代さんを講師にお招きし、**傾聴の技法**講座を開催しました。

開発さんは、優しい口調で「傾聴は誰にでもできます。歳を重ねたことも失敗した経験もすべて活かします。」と話されました。講座では、実際に傾聴の実践練習も体験し、参加者の皆さんは理解を深められていました。

ひとこと

ボラの原則④「創造性」 課題に対して何が必要なんだろう?改善する為にはどうすればいいのだろう?

ボランティア活動では、今までの考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切に、活動していきます。

あなたの活動を応援します！

平成27年度「ふれあいいきいきサロン」
助成申し込み新規募集！

この事業は、市内で老若男女を問わず地域の方々
集るサロン活動を実施している、または、これから実
施する予定のグループに対して助成を行う事業です。

☆助成対象

- ①毎月1回から2回、定期的に活動を行うグループ
- ②地域の方々が集まり、自由な雰囲気の中で特殊な
趣味に偏ることのない活動
- ③現在、他の助成を受けていないグループ

☆募集期間

平成27年3月12日（木）
～平成27年3月25日（水）

☆応募手続

当会にて必要書類を揃え、期限までに提出してく
ださい。

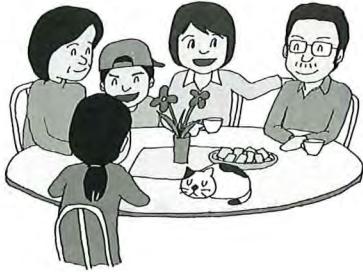
☆募集数 2グループ

☆助成額

初期準備金 五千元（初年度のみ）
活動費1回 二千元（月2回まで助成）

問合せ

熊野市社会福祉協議会
地域福祉係 岡本



連載 知ってください、社協の事業その⑱

特定相談支援事業・

障害児相談支援事業

（障害者（児）のケアマネジメント事業）

平成27年4月よ

り「計画相談支援」
及び「障害児相談
支援」が完全施行
されます。これは、
障がい者（児）が
自分らしくいきい
き暮らすために、
関係機関、事業所
が総合的に支援する仕組みです。



この仕組みは、さまざまなサービス等を組み合わ
せるためのサービス等利用計画が基本となり、その
作成と、マネジメントを担う者を相談支援専門員と
いいます。関係機関、事業所との話し合いにより作
成した計画をもとに市町が支給量（その人に応じた
福祉サービスの利用量）を決定し、それらに基づき、
当事者、関係機関、事業所、地域住民が一緒になっ
てその実現に向け取り組めます。（それまでも従来
通りのサービスを利用できますのでご安心くださ
い）現在、支給量の決定月（個別に違います）に合
わせて事前に訪問させていただき、計画等に関する
相談をさせていただいております。

熊野市社会福祉協議会では、平成26年10月から三
重県の指定を受けて事業所を開設しています。
熊社協井戸相談支援事業所

- 特定相談支援事業所 2431100235
- 障害児相談支援事業所 2471100046

今回で最後！ 第6弾！

ふくし川柳



みんな寂しいと思うかもしれないが
今回で最後になるぞい！わしはしばらく修行の旅に出掛けてくるのじゃ！
最後もたくさんの応募を楽しみにしとるぞい。
お題はわしが考えるから最後の5文字を答えてわしを
楽しませてみよ！わしが気に入った作品には褒美が出るぞい。
お題は全部で3つあるぞい。自分が一番自信のある答えを
1つ選ぶのじゃ。それでは問題じゃ！

- ①【そうだん】・おなやみを かいけつします ○○○○
- ②【おはなみ】・まんかいの さくらのしたで ○○○○
- ③【かふんしょう】・めとはなを とりはずしたい ○○○○

前回の作品紹介と当選者！

◆作品紹介(一部)

- なんのゆめ みたかわすれて 【ばばにきけ】
- なんのゆめ みたかわすれて 【つくるうん】
- なんのゆめ みたかわすれて 【のうトレよ】

当選者は次の方々です。

倉本清子さま、小畑恵史さま、小川信子さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

3月31日までに
はがきに選んだお題の番号と“おち”となる5文字の言葉
住所、氏名、年齢、感想などを書き
〒519-4324 熊野市井戸町1150
熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」行 までお送り下され。待つとるぞい。

リサイクル登録制度

「ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域でリサイクルしていただく制度です。」

【譲ります】 3月17日（火） 締切

※申込みが重なった場合は、抽選となります。

①子供用イス



登録を募集中！

【譲ります】

「もう使わないけど、綺麗だから捨てるのがもったいない…」

例えば…チャイルドシート・赤ちゃん用歩行器・ベビーベッド・介護用ベッド（電動）等々…。このような物があれば是非ご登録ください。

なお、登録期間は6か月で、物品は自宅保管となります。

【譲ってください】

登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲りします。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。



担当

地域福祉係 田坂

3・4月の無料法律相談

◆開催日 3月17日（火）

4月21日（火）

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分間で予約順です。

※事前に予約が必要で、

締切は前日の15時です。



担当

地域福祉係 桑原

名称が変わりました！

判断能力が不十分な方々の生活を支援する紀南地域権利擁護センターの名称が平成27年度から変更されます。

新名称

紀南日常生活自立支援センター

福祉サービスを利用するためのお手伝い、金銭の管理、書類等の預かりサービスなど、業務内容の変更はありません。これからも、支援を必要としている方々の声に応えていきたいと思っておりますので、お気軽にご相談ください。

「福祉くまの」

朗読ボランティア募集！

目の不自由な方や高齢者のために活躍する、朗読ボランティアという活動をご存知でしょうか？朗読ボランティアは、雑誌や広報紙などを読み上げて、音声ファイルやテープに録音し必要とされる方々に提供するという活動です。

熊野市社会福祉協議会では、2カ月に1度、「福祉くまの」という広報紙を発行しておりますが、その広報紙を朗読していただけるボランティアを募集しております。

本などが好きで朗読ボランティアに興味のある方がおられましたら、個人、グループは問いませんので、ぜひ1度ご連絡ください。

◆活動内容

「福祉くまの」の朗読

◆活動時間

2カ月に1度 2時間程度

◆活動場所

熊野市保健福祉センター

（自宅での活動も可能です）

問合せ



担当

総務係 岡鼻

あとがき

ついに来ました花粉の季節！去年までは自分ばならないと思っていましたが、ついに花粉症の仲間入り。目もかゆく、くしゃみや鼻水が止まりません。これからはしばらく目薬やティッシュを手放せなくなりそうです。少し周りの花粉症の方の気持ちかわかるようになったような…。つらい方も多いと思いますがお互い頑張ってください。この時期を乗り越えていきましょう。

そしてもうすぐ「福祉くまの」を担当させていただきます。つい最近異動してきたような…と思うくらい早い1年でした。この1年間の「福祉くまの」はどんな感じだったでしょうか？まだまだ慣れない作業で苦しんでおりますが、もっと頑張っていきたいと思っております。できれば読んでいただいている皆さまにたくさんのご意見やご感想をいただけると嬉しいです。

（おか）

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,302世帯

人口 18,308人
(男8,395人／女9,913人)

65歳以上 7,352人
(男2,975人／女4,377人)

熊野市の高齢化率40.16%
(平成27年2月1日現在)

福祉 くまの

くまのししゃかい

検索

CLICK



熊野市社協イメージキャラクター
「くまちゃん」

夢をかなえるために。新しい自分を見つけるために。

福祉くまの No.58 目次

- ★P2 平成27年度 熊野市社会福祉協議会 事業計画・予算
- ★P3 熊野市社協の介護保険サービス
- ★P4 いな
- ★P5 社協ふれあいフェスタ、福祉委員研修会、災害ボランティアコーディネーター養成講座
- ★P6 リサイクル登録制度、無料法律相談、非常勤職員募集、あとがき、人口と高齢化率

平成27年5月1日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

平成27年度 事業計画・予算

事業計画



社協（しゃきょう）は、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目指し、各種事業を展開しています。近年の少子・高齢化や核家族化の進行、厳しい経済情勢などを背景に、平成27年度は介護保険制度の改正、新会計基準への移行など組織にとって大きな変革の年となることが予想されますが、社協事業の柱である地域福祉活動を中心に次の目標を掲げ、住民の皆様から信頼と支持が得られる組織として事業の展開に取り組んでまいります。

★適正な労務管理と魅力ある職場づくり

新会計基準へのスムーズな移行と経営の透明性確保に努めます。また、福利厚生制度の充実を図り、魅力ある職場環境づくりに努めます。

★地域と共に進める地域福祉活動

高齢化などにより担い手不足が加速している中、社協と地域がより一体となって活動に取り組めるよう地区担当制を設けることも検討し、より身近な存在として、活動に取り組みます。

★法人後見への取り組み

判断能力が不十分な方々が地域で安定した生活がおくれるよう、社会福祉協議会が最後の受け皿となるべく、法人後見制度開始に向けた取り組みに力を入れます。

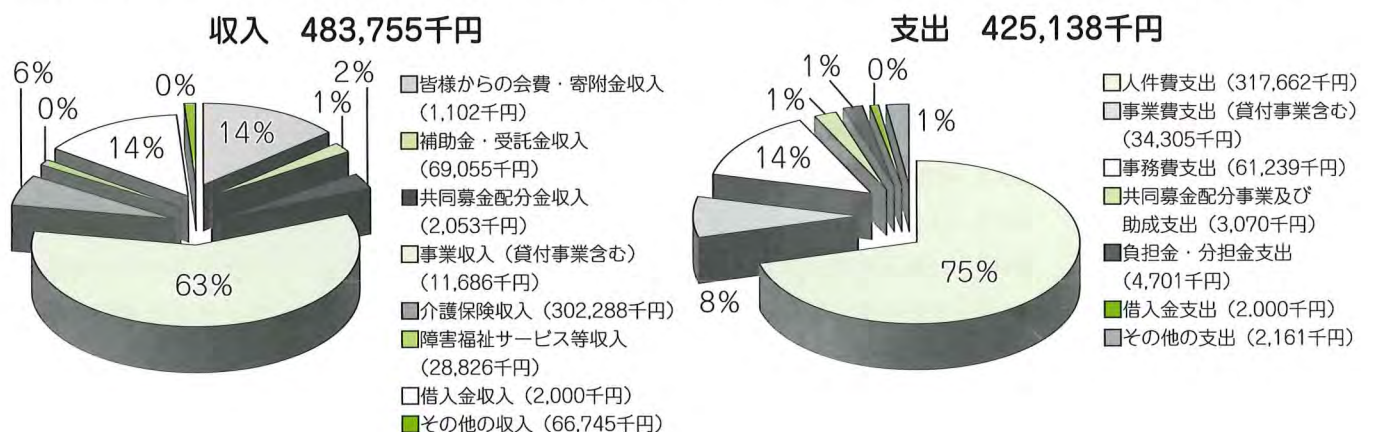
★望む暮らしの実現に向けた連携と選ばれる組織に

介護などの困りごとにいち早く対応し、いきいきと在宅生活を継続できるよう、また介護・支援が必要な方の生活水準を低下させないようその実現に向けて取り組みます。

予算



平成27年度予算は、介護保険制度改正による大幅な収入減が予想され、大変厳しい状況ではありますが、職員1人1人の質を上げ、皆様によりご満足いただけるサービスの提供に心掛け、住みよいまちづくりを目指します。



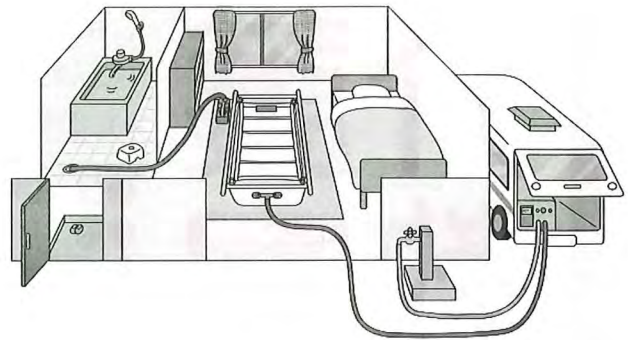
※その他の収入には前期末支払資金残高が含まれています。

知ってほしい

熊野市社協の介護保険サービス ～訪問入浴介護～

社協の本質は地域福祉を推進することといわれていますが、少子高齢化、過疎化が急速に進む地域では、介護保険事業においても、社協が担わなければならない社会的責任があると考えています。

移動に多くの時間をとられ、効率性が低くなってしまいう地域、利用される方の絶対数が少ない地域、利用される方は少ないけれども必要性の高いサービスなど、経営面のリスクや効率を度外視しなければならないサービスも、利用される方々のことを想い、社協がやらなければ！という気持ちで活動しています。



そういったサービスのひとつに「訪問入浴介護サービス」があります。ご自宅にボイラー及び浴槽を搭載した車両で訪問し、入浴のお手伝いをさせていただくサービスです。

利用される方に気持ち良く入浴してもらえるように、その都度浴槽を清掃消毒し、スタッフによる丁寧な介助によって、安心してご自宅で入浴できるように心掛けており、みなさんに喜ばれる必要性の高い事業です。

訪問入浴介護サービスは、特殊な車両が必要であり、広い熊野市を一台で対応するため、効率的な事業展開は望めないサービスです。実際に経営的には大きくマイナスですが、できる限りご自宅で生活したいというご本人やご家族の希望を叶えるために、少しでもお役に立てればという強い想いを持って、熊野市社会福祉協議会は活動を続けていきます。





ボランティアセンター情報誌 みんないっしょに大きくな〜れ!

ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当：桑原 涼
住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
メール：r.kuwabara@k-shakyo.com

平成二十七年
度

介護教室

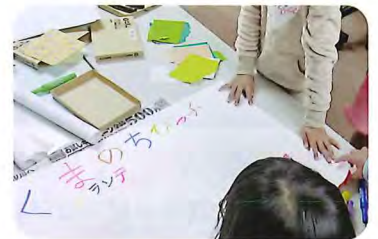
私たちの暮らす熊野市の高齢化率が40%を超えた今、介護は避けては通れない身近な課題となっています。学んでおいて損はない、介護技術。この機会にぜひ介護の技術を学んでみましょう!

- 日時 平成27年6月14日(日) 13:30~15:30
- 場所 熊野市保健福祉センター(井戸町1150)
- 講師 ユマニテク医療福祉大学校 介護福祉学科
学科長 伊藤 幾代 氏
- 内容 身体に負担の少ない介護技術全般を学びます。
- 対象 市内在住で介護やボランティアに興味のある方
- 参加費 無料
- 定員 20名程度
- 持物等 動きやすい服装、上履き、タオル など
- 申込み 平成27年6月8日(月)までに、お名前・ご住所・ご連絡先をそえて当センターへお申し込みください。



ボランティアセンターの看板を作りました!

くまのちびっ子ボランティアグループでは、平成26年度最後の活動として、ボランティアセンターの看板を作りました。熊野市保健福祉センターの正面入口付近に設置してあります。ボランティアに関する情報や助成金情報等のお役立ち情報を掲示していますので、ぜひご覧ください。



熊野市ボランティアセンター 平成26年度 登録ボランティア数

*団体数 32団体 平成27年3月末 現在
(1,603名) ボランティア活動保険
*個人 6名 加入者のみ

ひとこと

ボランティア活動保険って?



ボランティア活動中にケガをした!物を壊してしまった!...そんな時のため、当センターでは、ボランティア活動保険への加入をおススメしています。

対象となる活動や保険加入等についての
お問い合わせ・ご相談は当センターへ!

助成金情報

『助成金名』でウェブ検索!

☆三重ボランティア基金「ボランティア団体基盤強化助成」

◀ボランティア活動・器材> 締切:平成27年6月19日

明るく、生きがいのある生活をおくることができる福祉社会実現のため、ボランティア活動がいきいきと展開されるよう支援する助成金です。

☆MOW・明治安田生命保険相互会社

「地域支え合い活動 助成プログラム」

◀市民参加・活動資金> 締切:平成27年6月30日

高齢者福祉の観点で、市民が主体となって展開している地域福祉活動を支援する助成金です。

*詳細は、助成実施団体または当センターまでお問い合わせください。



一社協一大イベント

♪ 記念すべき第10回目の開催が決定♪

社協ふれあいフェスタ テーマ「クマノシあったかいんだから～」

社協が開催する事業の中で一番大きな啓発イベント、それが「社協ふれあいフェスタ」！
今年も、10回目を迎える節目の事業として、みなさんの思い出に残るような楽しく笑顔溢れるイベントになるように、関係機関・団体と力を合わせて精一杯取り組んで参りますので、お友達、ご家族等お誘い合わせの上、多数ご来場ください。



日時 平成27年6月28日(日)

午前10時～午後1時30分

場所 熊野市保健福祉センター全館

内容 ステージイベント・各種模擬店・福祉団体物品販売・展示コーナー・ゲームコーナー・福祉啓発コーナーなど

★充実する地域づくりを!!

福祉委員研修会

3月21日(土)に熊野市保健福祉センターで福祉委員研修会を開催しました。

「地域活動に役立つレクリエーション」と題して、三重県レクリエーション協会 事業部副部長 伊藤準康氏を講師に迎えました。伊藤氏は、「上手くレクリエーションを生活の中に取り入れ、余暇・基礎・社会生活を充実させることが生きがいにつながる」と話されていました。

参加された方々も講話や体験をとおして、笑って楽しさや大切さを実感し、地域活動のポイントを学ぶことができたのではないかと思います。

レクリエーションが生活の一部となり、笑顔溢れる地域づくりを福祉委員の皆様と協力して取り組んでいきたいと思っております。



★災害時に地域で協力を!

災害ボランティアコーディネーター養成講座

全4回にわたる講座が終了し、11名の方が災害ボランティアコーディネーター(以下、災害VCO)養成講座を受講し、災害に関する知識や体験を様々な角度から学んでいただきました。

災害VCOは、災害時に地域のニーズとボランティアを橋渡しする他にも、被災された方々に寄り添う重要な役割を担う人材となります。

今後とも、充実した内容のもと、新しい仲間を増やしなが、災害対策の充実に取り組みでいきたいと思っておりますので、災害VCO養成講座を開催する際には、是非、ご参加ください。



リサイクル登録制度

「ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品など、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域内でリサイクルしていただく制度です。」

【譲ります】 5月19日(火) 締切

※申込みが重なった場合は、抽選となります。
①折り畳みベッド



登録を募集中!
【譲ります】 「もう使わないけど、綺麗だから捨てるのがもったいない…」例えば介護用品や乳幼児用品など…。このような物があれば、是非ご登録ください。なお、登録期間は6か月で物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】 登録しておくと、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

5・6月の無料法律相談

◆開催日 5月19日(火)
6月16日(火)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター 1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分程度で予約順です。
※開催日前日の15時までに予約が必要ですよ。



リサイクル登録制度
無料法律相談
担当
地域福祉係 田坂

非常勤スタッフ募集!! 福祉のお仕事してみませんか?

熊野市社会福祉協議会では、非常勤スタッフを募集しています。笑顔と体力に自信のある方、福祉の仕事に興味をお持ちの方、フルタイムで働くのはちょっと…な方、ぜひともお力をお貸しください。

◆募集スタッフ

訪問介護事業/登録ヘルパー

◆問い合わせ

総務課
総務係



数字の謎を解け! ナンバープレイス

皆さん初めまして。僕の名前はシャローックマ・ホームズ! 今回から福祉くまのスペースを借りて問題を出しに来たよ。僕が出す数字の問題に挑戦してね! 右の空白に数字を埋めて★の付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば豪華? 景品を抽選で3名の方にプレゼント! たくさんの応募を待ってるよ!!

※ナンプレのルール

- 1 タテヨコ一列に1~6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2x3のブロックにも同じ数字は入らない。

5月29日までに、はがきに★のマスの合計となる答え、住所、氏名、年齢、感想を書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。

1	5	6	4		*
3			6	5	
	*		*		2
	2	5	*	1	6
				6	5
5	*		2	3	



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,199世帯

人口 18,068人
(男8,266人/女9,802人)

65歳以上 7,347人
(男2,973人/女4,374人)

熊野市の高齢化率40.66%
(平成27年4月1日現在)

あ と が き

今年度より、前回行っていた「ふくし川柳」に代わり、新しく「ナンバープレイス」を行います。ふくし川柳が終わる時には再開してほしいとの声もありましたが、こちらもおもしろいと思うのでみなさんは是非、挑戦してみてください! また「こんなのもやってほしい…」などの意見もお聞かせください。(おか)

前回のふくし川柳の作品と当選者

- ◆作品介绍(一部)
- まんかいの さくらのしたで 【さくらさく】
 - まんかいの さくらのしたで 【こしのぼし】
 - めとはなを とりはずしたい 【はるのらん】

当選者は次の方々です。
柿白鈴子さま、小川信子さま、浜口英子さま

※図書カードを贈呈させていただきます。

福祉

くまの

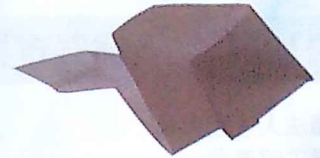
CLICK

くまのししゃかい

検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くまちゃん」



夢と希望を乗せて どこまでも

目次

- ★P2 平成26年度 熊野市社会福祉協議会 事業及び決算報告
- ★P3 熊野市社協の障がい福祉サービス
- ★P4 ボランティアセンター情報誌 いな
- ★P5 社協なんでも講座、介護教室、地区社協新会長あいさつ
- ★P6 リサイクル登録制度、無料法律相談、老人クラブ 趣味の作品展
ナンバープレース、あとがき、人口と高齢化率

No. 59

平成27年7月3日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

平成26年度 事業及び決算報告

平成26年度は新規職員の採用や介護保険サービスの収入減により、赤字経営となりました。しかしながら、これは、あくまでも将来を見据えた人材の確保が大きな要因であり、サービスの質を低下させないための前向きな投資が招いた結果といえます。

今後も、介護保険報酬の改正や新たな福祉課題など、経営的には厳しい状況が予想されますが、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域福祉事業をはじめ、あらゆる福祉サービス事業の推進に努めますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

H26年度 熊野市社協の主な事業

- 法人運営事業
- 広報事業
- 地域サロン事業
- 各種講座事業
- 福祉大会、フェスタ、敬老会事業
- 三世代交流ニュースポーツ事業
- 無料法律相談
- 共同募金配分事業
- 食事サービス事業
- 居宅介護支援事業(井戸、飛鳥、紀和)
- 通所介護事業(井戸、飛鳥、紀和)
- 訪問介護事業(井戸、飛鳥、紀和)
- 訪問入浴介護事業
- ボランティアセンター事業
- 生活介護事業(あゆみ事業所)
- 助け合い金庫、高額療養費貸付事業
- ふれあいセンター運営事業(賃貸含む)
- 地域福祉権利擁護事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 障がい者就業・生活支援事業
- 家族介護者交流支援事業
- 食の自立支援事業
- 元気見守り事業
- 高齢者生活福祉センター運営事業
- 福祉バス事業
- 高齢者筋力向上トレーニング事業
- 地域活動支援センター事業
- 障がい者各種事業(ヘルプ、社会参加事業など)
- 特定相談支援事業
- 福祉有償運送事業 など



H26年度 決算報告

【収入説明】

単位：千円

科目	金額	内容
介護保険・予防収入	293,473	訪問介護、通所介護、入浴介護、居宅介護支援事業の介護報酬や利用者負担金です。
補助金・受託金収入	60,387	地域福祉事業を行うにあたり熊野市、三重県、三重県社協からの補助金・受託金です。
会費・寄附金収入	8,754	皆様から頂きました賛助会費、寄付金です。
利用料収入	24,208	あゆみ事業所の利用料などです。
事業収入(貸付含)	2,717	介護保険以外のサービスに伴う利用料や事業の参加費収入などです。
共同募金配分金収入	1,653	赤い羽根共同募金の配分金です。
その他の収入	23,264	雑収入や会計区分間のやり取りに伴う収入などです。
合計	414,456	

【支出説明】

単位：千円

科目	金額	内容
人件費支出	315,553	全職員の人件費、諸手当、法定福利費などの支出です。
事務費支出	7,025	事務にかかる消耗品などの経費の支出です。
事業費・貸付事業支出	73,348	全事業にかかる経費の合計額及び貸付事業費の支出です。
助成金・負担金支出	5,665	各種団体などへの助成や会費などの経費の支出です。
その他の支出	17,603	減価償却費や会計区分間のやり取りに伴う支出です。
合計	419,194	

【収入合計】414,456千円－【支出合計】419,194千円＝△4,738千円

※事業計画、決算報告など詳細については、熊野市社協のHPでもご覧頂けます。



知ってほしい

熊野市社協の障がい福祉サービス

【特定相談支援事業】

相談支援専門員が、ご利用される方やご家族と相談しながら、ご本人に合ったサービス利用を計画し、安心して生活できるようにお手伝いしています。



担当 大久保 昌幸



担当 大和田 祐輔

【就業・生活支援事業】

この事業では、「障がい者総合相談支援センターあしすと」に常駐する相談員が希望を聞きながら就労先と調整し、継続した勤務ができるように支援しています。

この地域では、就労先や就業するための訓練を受ける施設が十分でないことが課題ですが、利用される方が安心して就労できるように日々奔走しています。

【生活介護事業】（あゆみ事業所）

あゆみ事業所では、スタッフとともにレクリエーションや創作、社会見学などを実施しています。日々の活動に刺激を受けながら、これからも一緒に楽しく活動を続けたいと思います。



羊の見学に行ってきました

熊野市社会福祉協議会は、すべての人たちが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動を続けます。
お問合せは、熊野市社会福祉協議会 障がい支援係まで



ボランティアセンター情報誌
みんないっしょに大きくな~れ!



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

担当: 桑原 涼

住所: 熊野市井戸町1150番地

電話: 0597-89-5000

FAX: 0597-89-3068

メール: r.kuwabara@k-shakyo.com



自分で作るおもしろさ

平成27年度

ボランティア養成講座

そば打ち教室

御浜町を中心に活動されている「そば打ちボランティアグループ」の皆さんを講師にお迎えし、そば打ち教室(全3回)を熊野市保健福祉センターにて開催しました。

初回では、出来上がったそばも太かったり、細かったりと様々でした

が、回を重ねるごとに、喉ごしの良いそばを打てるようになりました。講座後には、家族に美味しいと言って貰えた笑顔で話される方もおり、改めて食の力はスゴイと感じました。

「ボランティア」というと何だか特別なことのように思ってしまうこともあります。ふとしたきっかけで趣味の活動がボランティア活動につながることも。自分なりに出来る活動を考えてみませんか?



活動開始!

くまのちびっ子ボランティアグループ

6月14日、くまのちびっ子ボランティアグループでは、11名のメンバーで今年度の活動を始めました!

今年から地域のイベントへの参加という活動以外にも、1年を通しての活動として畑づくりを実践していきます。そこで収穫した野菜は、ボランティアさんや

地域の人と一緒に食べたり...色々な所で活用予定です。

ぜひ、グループ活動を応援してくださいね♪



熊野市ボランティアセンター 平成27年度 登録ボランティア数

*団体数 33団体 平成27年5月末 現在
(1,575名) ボランティア活動保険
*個人 4名 加入者のみ

ひとこと

ボランティア活動中の事故



事故が発生した場合は、応急措置等の必要な対応を行い、ボランティア保険の加入申込みを行った社協に、①氏名・住所・連絡先②事故発生の日時・場所・原因・状況③ケガの程度 等をご連絡ください。
事故が発生したら速やかに当センターへ!

助成金情報

『助成金名』でウェブ検索!

☆第50回「NHK障害福祉賞」

◀障害> 締切:平成27年7月31日(当日消印有効)

障害のある方、障害のある方と共に歩んでいる方から、「学校や施設での生活」、「自立や就労への挑戦」、「親子の成長記録」などの体験記を募集します。

※詳細は、助成実施団体または当センターまでお問い合わせください。

★あなたのお役に立ちます

社協なんでも講座

福祉への理解を深めることと、次世代の担い手育成を図ることを目的に社協なんでも講座を開催しています。

今年度から地域の方にも講師を務めていただくことになりました。

その第1弾は、入鹿中学校においての連鶴教室（全3回）と、高齢者疑似体験・車椅子体験。

戸惑いながらぎこちなく鶴を折り始めた生徒たちが、みごと連鶴を完成させた時には自分ごとのようなうれしさを感じました。

今回の講座のように地域の方々にも協力をいただく事で、つながりが広がり、また、さまざまな内容の講座が開催できると期待しています。

講座の受講を希望される方も、趣味や特技をいかせて講師を務めていただける方もお気軽にご相談ください。



担当

地域福祉係 岡本

身体に優しい介護を学びました！ 介護教室

6月14日（日）熊野市保健福祉センターにおいて、ユマニテック医療福祉大学 介護福祉学科長 伊藤幾代先生をお招きし、介護教室を開催しました。

当日は、定員を上回る24名の方が受講され、介護に対する関心の高さを感じました。

少しの気遣いや、やさしさが介護者・要介護者お互いの身体にやさしい介護になることと、介護において最も重要なことであることを、今回の教室を通して改めて感じました。

今後は、各地区で社協職員が講師となって、皆さまの今後の生活に役立つ教室を行う予定としております。

お住いの地区で開催される際には是非ご参加ください。



担当

地域福祉係 桑原



地区社協会長交代 新地区会長あいさつ

本本地区社協 戸嶋釜一氏

この度、北本誠二前支部長より、支部長の大役を引き継ぐ事となり、微力ではありますが、責任の重さを痛感しております。私は週一回本本地区元気づくり推進員として、ウォーキングに参加しております。和気あいあいと一時間程歩いています。健康のため身近で出来る事に参加し少しでも人との交流を大切にしたいと思っております。なお、名称を「熊野市社会福祉協議会本本支部」より「本本地区社会福祉協議会」と、変更いたしました。今後とも地域の皆さまには地区活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



磯崎地区社協 三岡則為氏

先日、全役員の自宅を役員継続の依頼の為に訪問したところ、ほぼ全員から高齢や持病、長期に渡る任期を理由に辞任の意思表示をうけました。もっともな理由ばかりでしたが、新米の私には先輩方の力と、知識がなければ何も出来ない……何とか、全役員に慰留を、条件付ながら受けていただきました。

そして初めての役員会議を開きました。年齢は83歳から71歳で全員が私（67歳）の先輩です。早速、議題にあがったのが24人でやっている給食ボランティア活動、年齢構成は役員とほぼ同じ、すでに辞意表明者数名辞退理由も役員とほぼ同じ。どこの支部、地区とも住民の高齢化に伴う条件は同じ様なものだと思います。私は磯崎地区の先輩方の力と知恵をお借りして、また熊野市社協のバックアップを頼りにボランティア、役員等が楽しく活動ができるような環境を作り、次の代にスムーズに移行できるように努力したいと思っています。



リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品など、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域内でリサイクルしていただく制度です。

【譲ります】 7月15日(水) 締切

※申込みが重なった場合は、抽選となります。

①折り畳みベッド



登録を募集中！

【譲ります】

「もう使わないけど、綺麗だから捨てるのがもったいない…」例えば介護ベッドやチャイルドシートなど…。このような物があれば、是非ご登録ください。なお、登録期間は6か月で物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次回の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

7・8月の無料法律相談

◆開催日 7月21日(火)

8月18日(火)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分程度で予約順です。

※開催日前日の15時までに予約が必要ですよ。



リサイクル登録制度
無料法律相談

担当

地域福祉係 田坂



熊野市老人クラブ連合会 「第10回 趣味の作品展」

熊野市老人クラブ連合会会員の皆さまが、培われた経験と技術をいかして制作した絵画、手工芸、写真、書などが多数展示されます。多数のみなさまにお立ち寄りいただき、ご観覧いただければと思います。

◆展示期間

7月15日(水)

13時から

17日(金)

12時まで

◆展示場所

熊野市民会館

1階ラウンジ



数字の謎を解け！ ナンバープレイス

たくさんの応募ありがとうございます。簡単だったかな？難しかったかな？まだまだ出題するから僕が出す数字の問題に挑戦してね！右の空白に数字を埋めてA～Eのアルファベットが付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば景品を抽選で3名の方にプレゼント！たくさんの応募を待ってるよー！！

※ナンプレのルール

- 1 タテヨコ一列に1～6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2×3のブロックにも同じ数字は入らない。

7月31日までに、はがきにA～Eのマスの合計となる答え住所、氏名、年齢、感想を書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。

	2	3	D		6
1	A		2	5	
C				4	2
	4	E		6	
3	1	6			B
4		2	6		



熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,258世帯

人口 18,100人
(男8,315人/女9,785人)

65歳以上 7,338人
(男2,973人/女4,365人)

熊野市の高齢化率40.54%
(平成27年6月1日現在)

今年も暑い季節がやってきました。なんとなく去年より暑くないような？気のせいかな。
最近、運動不足になりがちで、食べてばかり。久しぶりに体重を計ると大変なこと…。
よし！そろそろ運動しなければ！7月から頑張ってみようと思います。サボった分頑張るぞー！ (おか)

あ と が き

前回のナンバープレイスの答えと当選者

◆答え 赤い数字の合計

18

当選者は次の方々です。

大久保 賢 さま
笹本 夢果 さま
水上 次生 さま

1	5	6	4	2	3
3	4	2	6	5	1
6	1	3	5	4	2
4	2	5	3	1	6
2	3	4	1	6	5
5	6	1	2	3	4

※図書カードを贈呈させていただきます。

福祉 くまの



はじめの一步を踏み出そう。

CLICK

熊野市社会福祉協議会

検索



熊野市社協イメージキャラクター
「くましゅん」

目次

- ★P2 平成27年度共同募金運動 配分予定など
- ★P3 熊野市社協の福祉サービス
- ★P4 ボランティアセンター情報誌 いな
- ★P5 福祉委員研修会、満百歳記念事業、地区社協新会長あいさつ
- ★P6 リサイクル登録制度、無料法律相談、お知らせ
ナンバープレース、あとがき、人口と高齢化率

No. 60

平成27年9月4日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

平成27年度 赤い羽根共同募金運動



10月1日より全国一斉に
赤い羽根共同募金運動が展開されます。
熊野市共同募金委員会の今年の目標募金額は

2,533,200円 となっています。



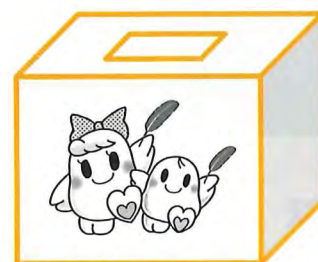
今年度も市内各世帯への戸別募金のお願いや、イベント会場での募金活動、公共施設・大型店舗への募金箱設置、羽毛製品の回収などの方法により募金運動を実施いたします。

自治会や区、町内会、婦人会、社協支部・地区社協等の皆様をはじめ、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の配分予定

皆様から寄せられた募金は、市社協や配分申請のあったNPO法人などに配分され、地域の福祉活動や備品の購入などの設備資金に役立てられます。また募金の一部を災害が起きた時に備える準備金として三重県共同募金会が積み立てています。

団体名	事業名	配分予定額
熊野市社会福祉協議会	ふれあいいきいきサロン	300,000円
	社協支部・地区社協助成	800,000円
	ふれあいフェスタ	200,000円
	ランドセル購入費助成	160,000円
	福祉団体助成	40,000円
NPO法人 子どもステーション くまの	備品購入費用	300,000円
合計		1,800,000円



◆皆様のあたたかいご理解とご協力をお願いいたします◆



お問い合わせ・・・熊野市共同募金委員会 まで

TEL 0597-89-5000

熊野市社協の福祉サービス

飛鳥・五郷デイサービスセンター 第2回ひなた祭を開催します！

飛鳥・五郷デイサービスセンターでは、平成27年10月24日（土）第2回ひなた祭の開催を予定しています。

ひなた祭とは、飛鳥事業所の職員が中心となって、飛鳥・五郷地域の方々やご利用者様、そのご家族ともっと交流を深め、地域に根ざした施設でありたいという想いから、平成22年に第1回を開催した企画です。



*イメージキャラクター「ひなた」は、「いつも陽のあたる温かい雰囲気」の事業所を目指すという意味で名づけられました。



飛鳥事業所 頑張ります!!

しかし、その翌年、紀伊半島を襲った大水害により、センターが被災したこともあって休止となっていましたが、「ひなた祭を復活させたい！」という職員の強い想いによって、企画を進めているところです。

これから、さらに内容を固めていく必要があり、地域の皆さんにご協力をお願いすることも出てくると思います。

地域の行事の一つとして、ぜひ「ひなた祭」への参加をよろしく願います。

研修でスキルアップ

熊野市社会福祉協議会の介護保険事業所では、職員のスキルアップを図るため、研修会への参加や自主研修の開催を行っています。

介護技術はもちろん、救急救命講習から接遇研修まで、介護保険サービスを利用される方々だけでなく、地域の方々のお役に立てるよう日々頑張っています。



救急救命講習
「もしもし、大丈夫ですか！」

ご家庭で活用できる介護技術や介護保険についてわからないことなど、ご相談いただければ、職員が懇切丁寧にお答えします！



ボランティアセンター情報誌 みんないっしょに大きくな〜れ!



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)
担当：桑原 涼
住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
メール：r.kuwabara@k-shakyo.com

ボランティアさん、 活躍しています!



熊野市では、たくさんのボランティアさんが日々、活躍されています。6月28日(日)に開催された「社協ふれあいフェスタ」でも、福祉団体・関係者の皆さんをはじめ、ボランティアさんにも大きなご協力をいただきました。ご来場していただいた皆さんは気づきましたか? 駐車場の案内、館内での受付…いろいろな場面でボランティアさんがいたんですよ!

今回は、そんなボランティアの皆さんの活動を一部紹介します。



社協ふれあいフェスタにおいて、ちびっ子ボランティアグループの協力のもと、三重ボランティア基金の募金活動を行ったところ、14,867円もの善意をいただくことができました。

熊野市保健福祉センター内に、引き続き募金箱を設置しておりますので、今後ともご協力をお願いします。

☆三重ボランティア基金とは…

福祉活動を推進し、ボランティア活動の定着と発展を図ることを目的とした団体です。



今回は、駄菓子屋さん募金活動を実践! 事前にどんなことができるか、みんな考えて決めました。当日は、元気な声でたくさんのお客さんを惹きつけることができました☆

フェスタ初登場! 最近できたグループなので、今回は、先輩の御浜町のボランティアさんに助けて貰いながらの活動でした。今後、練習を重ねて上達していきます! 乞うご期待!



ひとこと

大災害発生時のボラ活動保険



近頃、大被害をもたらす災害が多発し、それに伴い災害ボラも重要な役割を果たしています。▼ボランティア活動保険は通常、加入手続き終了後、翌日から補償開始ですが、大災害時には手続き完了後すぐに補償開始になる場合があります。▼災害ボラに行く前に、ぜひ確認してみてくださいね!

助成金情報

『助成金名』でウェブ検索!

☆第13回 読売福祉文化賞

《高齢・障がい》 締切：平成27年9月30日(当日消印有効)
障がい者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援等の推進に貢献している団体・個人を励まし、豊かな福祉社会づくりの一助とすることを目的とした表彰です。

※詳細は、助成実施団体または当センターまでお問い合わせください。

未来のために学びました

平成27年度 福祉委員研修会

7月12日(日)に熊野市保健福祉センターで福祉委員研修会を開催しました。今年は、日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 原田 正樹氏を講師に迎え、「地域福祉活動の進め方」と題して講演をいただきました。

二〇二五年問題(団塊の世代が75歳以上になることで介護を必要とする人たちが増加することにより起こる諸問題)を目前に、何を準備しておけばよいのかなど、事例を通じてお話いただきました。

全国的に地方では過疎・少子高齢化が進んでおり、人間関係の希薄化や育児・介護への課題、限界集落の増加など、集落の存続自体が危ふまれている地域が少なくない状況です。そんな中、住民の方々が話し合える場を大切にし、それぞれの方々に役割や居場所があるまらづくりを進めていくことが地域のつよみに繋がっていくということをお話することができました。

社協としても、地域の方々と意見を交わせる場所を大切に、これからの地域福祉をみなさんと協力しあいながら進めていきたいと考えています。



祝長寿!



満百歳記念事業



満百歳を迎えられた長寿のお祝いに、7月27日に金山町にお住まいの「榎本いしゑ」様のお宅を訪問しました。

年齢を感じさせない足腰の強さで、取材陣をはじめ皆が驚くほどでした。このように元気な榎本様は、いまだ一人暮らしをされています。夕食は息子さん夫妻が訪れて、一緒に食事をとられているそう。魚を好んで食べ、体の事を考えて野菜もしっかり摂っているとのこと。歌やテレビが好きで、相撲や野球などのスポーツ番組をよく観ているそうです。

インタビューの中での「長寿の秘訣は?」との問いに、「勝手気まま、好きそうろう」と笑顔で答えていただきました。一世紀を生き抜いてこられた中では、悲しい事や嬉しい事など多くの経験をされてきたことでしょう。榎本様、百歳おめでとうございます。末永いご健康とご幸福を心よりお祈りいたします。



地域高齢社会に進んで協力し

感謝される社協へ

地区社協会長交代

新地区社協会長あいさつ

五郷地区社協会長 橋本 茂己

この度、五郷地区社協総会において、はからずも永年地域の会長として貢献されてきた辻本吉則前会長から大役をバトンタッチされました。今までは全て金魚のフンのごとく徳田事務局長について行けばよかったのですが、今からは地域の福祉社会に進んで協力し、感謝される会作りを想うと重責に身の引き締まる想いです。高齢化が益々進み、支えてもらうばかりでなく元気で明るい高齢社会となるよう皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。微力ですが皆さんのご指導と地域の方々のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



リサイクル登録制度

ご家庭で使わなくなった**介護用品**や**乳幼児用品**など、または譲って欲しい品物を登録し、お互いに譲り合い、地域内でリサイクルしていただく制度です。
登録を募集中!

【譲ります】

「もう使わないけど、綺麗だから捨てるのがもったいない…」例えば**介護ベッド**や**チャイルドシート**など…。このような物があれば、是非登録ください。なお、登録期間は6か月で物品は自宅保管となります。

【譲っていただく】

登録しておくことで、物品が提供された場合、優先的に譲ります。なお、次回の福祉くまのが発行された時点で登録解除となります。

9・10月の無料法律相談

◆開催日 9月15日(火)
10月20日(火)

◆相談員 堂前美佐子 弁護士

◆会場 熊野市保健福祉センター
1階 相談室

◆時間 13時から

※相談は一人10分程度で予約順です。

※開催日前日の15時までに予約が必要です。



リサイクル登録制度
無料法律相談
担当
地域福祉係 田坂

生活困窮者支援 緊急食糧提供事業が開始

7月16日より、三重県社会福祉協議会とNPO法人「セカンドハーベスト名古屋」が提携し、生活に困窮している低所得の方が、その日の食べ物にも困るなど切羽詰った状態で、緊急的な食糧支援が必要と判断された場合に、自立支援を目的として食糧提供を行う事業が開始されました。カセットコンロや水、おむつなど緊急物品の購入助成事業も併せて実施されています。

お申し込みについては、熊野市社会福祉協議会への相談が必要となります。事業の詳細に関するお問い合わせにも応じてさせていただきます。



担当
地域福祉係

「シニア生き生きチャレンジ教室」 シニア世代介護職場就労支援事業研修

概ね75歳未満の高齢者で、地域での社会貢献活動や介護職場でフルタイムや週2〜3回のパートタイムで働く意欲を持つて見える方を対象に開催します。

日時 平成27年10月8日(木)、15日(木)、16日(金)、23日(金)

10時〜16時(※体験学習 10/17〜10/22の間の2日間)

会場 三重県熊野庁舎1階 101会議室
熊野市井戸町371番地

TEL 0597-89-6105

※予約制 9/28(月)締切

【申込み・お問い合わせ】

三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材部
TEL 0597-27-15160

数字の謎を解け! ナンバープレイス

みんな応募ありがとう。簡単だったかな?難しかったかな?まだまだ出題するから僕が出す数字の問題に挑戦してね!右の空白に数字を埋めてA~Eのアルファベットが付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば景品を抽選で3名の方にプレゼント!たくさんの応募を待ってるよ!!

※ナンプレのルール

- 1 タテヨコ一列に1~6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2x3のブロックにも同じ数字は入らない。

9月30日までに、はがきにA~Eのマスの合計となる答え住所、氏名、年齢、感想を書き
〒519-4324 熊野市井戸町1150
熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。



E				C	
	6	2	5		3
	5	1	2		
6		3			1
	B	5		6	4
A			D		5

前回のナンバープレイスの答えと当選者

◆答え 赤い数字の合計

21

当選者は次の方々です。

平子 せつ子 さま
畑中 康子 さま
宮澤 康 さま

5	2	3	4	1	6
1	6	4	2	5	3
6	3	5	1	4	2
2	4	1	3	6	5
3	1	6	5	2	4
4	5	2	6	3	1

※図書カードを贈呈させていただきます。

あとがき

なにかと忙しかった8月も終わりました。今年は花火大会の日程がずれたことで久しぶりに見る事ができず。花火も終わり甲子園も終わり夏が終わった気分。まだ暑いですが・・・。
今年の9月は大型連休(シルバーウィーク)がありますね!皆さんお出かけ予定はありますか?私は特に予定もありません。(おか)

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,250世帯

人口 18,083人
(男8,318人/女9,765人)

65歳以上 7,338人
(男2,984人/女4,361人)

熊野市の高齢化率40.62%
(平成27年8月1日現在)